SONY

4-663-727-**01** (1)

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ノートブックコンピューター

PCG-U1 Series

Microsoft® Windows® XP Home Edition

搭載モデル

i™ S400 MG™

© 2002 Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

7〜13ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定及び技術的条件適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-1A1N

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
この取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）
*充電されたバッテリ使用時には、無停電電源装置等は不要です。

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

目次

⚠警告・⚠危険・⚠注意 7
付属品を確かめる 14
このマニュアルの使いかた 16
こんなことができます 20
各部のなまえ 24

準備する

電源を入れる 32
Windowsを準備する 36
電源を切る 41
カスタマー登録する 43
「ヘルプとサポートセンター」について 49

基本的な使いかた

電源を用意する 52
ポインティング・デバイスを使う 58
キーボードを使う 60
ジョグダイヤルを使う 67
ジョグダイヤルでソフトウェアを起動する 70
ジョグダイヤルでソフトウェアを操作する 71
ジョグダイヤルの設定をする 73
“メモリースティック”を使う 76
フロッピーディスクを使う 84
CDなどのディスクを使う 90

インターネットに接続する

インターネットとは 98
インターネット接続に必要なものは 99
インターネット上のトラブルについて 100
インターネットに接続する 102
ホームページを見る 105
電子メールをやりとりする 110
外出先でインターネットにアクセスする 114

VAIOを楽しむ

「ThumbPhrase」ソフトウェアで文字を入力する 116
「FlyingPointer」ソフトウェアでファイルをコピーする 133
便利な機能を使う 139

拡張する

他の機器とデータをやりとりする

ネットワーク経由でデータをやりとりする 142
i.LINK対応機器とデータをやりとりする 143
“メモリースティック”を使ってデータをやりとりする 148

周辺機器を接続する

USB機器をつなぐ 149
プリンタをつなぐ 150
外部ディスプレイをつなぐ 151
液晶プロジェクタをつなぐ 152
外部スピーカーをつなぐ 153
マイクをつなぐ 154

本体を拡張する

メモリを増設する 155
PCカードを使う 160

設定を変更する

本機の使用環境を設定する

本機のシステム情報を確認する 164
メガベースの設定を変更する 165
起動時の設定を変更する 166
パスワードを登録する 167
工場出荷時の設定に戻す 170

バッテリの消費電力を節約する

「PowerPanel」を起動する ... 171
本機の動作モードを設定する（プロファイル） 172
プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する 174
省電力動作モードについて 175

画面表示の設定を変更する

ディスプレイの設定を変更する 178
表示するディスプレイを選ぶ 179
2つのディスプレイを使って仮想デスクトップを構築する（デュアルディスプレイ） 181
ウィンドウのデザインを変更する 185

本機を再セットアップする

リカバリ CDで本機を再セットアップする 186
パーティションサイズを変更する 192

困ったときは

トラブルを解決するには 196
VAIOカスタマーリンク お問い合わせ先 197
主なトラブルとその解決方法 199

付属ソフトウェア一覧

付属ソフトウェアをお使いになる前のご注意 228

クリエーション

DigitalPrint Version 1.1 229
DVgate Version 2.5 230
MovieShaker Version 3.3 ... 231
PictureGear Version 5.1 232
PictureToy Version 1.1 232
VAIO Edit Components 233

オーディオ&ビジュアル

Beatnik Player Version 2.0 234
PicoPlayer Version 5.0 235
QuickTime 5 236
RealJukebox 2 Basic 237
RealPlayer 8 Basic 239
SonicStage Version 1.1 for VAIO 240
Windows Media™ Player 8 241

エンターテインメント

MusicShaker Version 1.4 ... 242

次のページにつづく

コミュニケーション

Microsoft® Internet Explorer 6 243
Microsoft® Outlook Express 6 243
Q-ze Talk（キュゼ・トーク）Version 1.1 244
Smart Capture Version 4.2 244
URecSight Version 2.1 245

リファレンスツール

Adobe® Acrobat® Reader 5.0J 246
Adobe® Acrobat® eBook Reader™ 247
MapCutter Version 2.0 247
Navin' You Version 5.5 248
Navin' You専用 グルメ＆ドライブスポット327 by Walkerplus.com 248
Navin' You専用マップ2サンプル版 249
乗換案内 時刻表対応版 249

ユーティリティー

FlyingPointer（フライングポインター） ... 250
Jog Dial Navigator 250
Norton AntiVirus 2002 251
PowerPanel 253
Sony Notebook Setup 253
ThumbPhrase（サムフレーズ）Version 1.0 254
VisualFlow Version 2.1 254

カスタマーサポートツール

VAIOハードウェア診断ツール 255

その他

UI Design Selector 256
VAIOオンラインカスタマー登録 256
VAIO＋AirH"で快適モバイル 257
オンラインサービスご紹介 258
リカバリ CD-ROM 259

その他

使用上のご注意 262
お手入れ 269
保証書とアフターサービス 270
主な仕様 272
索引 275

⚠警告

火災　感電

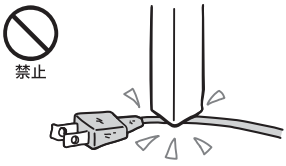
下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口に交換をご依頼ください。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口に点検・修理をご依頼ください。

内部をむやみに開けない

- 本体および付属の機器（ケーブル含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリを増設する」（155ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

次のページにつづく

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本体の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

運転者は走行中に操作しない

本機を車両走行中には使用しないでください。
わき見運転により事故の原因となります。
また、歩きながらお使いになるときは、周囲の状況に気を配り、安全にお使いください。

本機は日本国内専用です

本機は国内専用です。
海外などで使用すると、故障・火災・感電の原因となります。

NETWORK（ネットワーク）コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機の NETWORK（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、職場などで NETWORK（ネットワーク）コネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間つづけて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやポインティング・デバイス、ジョグダイヤルなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやポインティング・デバイス、ジョグダイヤルを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

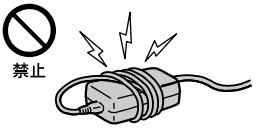
ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

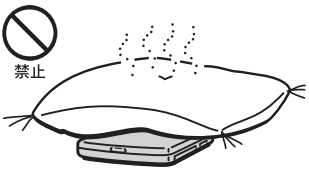
断線や故障の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。



通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

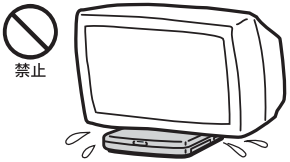
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

雷が鳴りだしたら、本機を使用しない

落雷のおそれがあるときは、電源プラグなどを抜いてください。
落雷により本機が破壊され、故障の原因となります。

次のページにつづく

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

コネクタはきちんと接続する

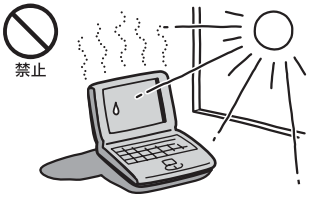
- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本体に付属または指定された別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

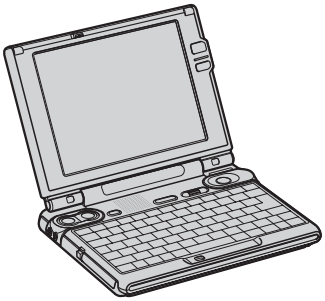
本体やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

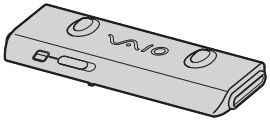
付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
❑ マークにチェックしながら確認すると便利です。
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

❑ **パソコン本体 (1)**

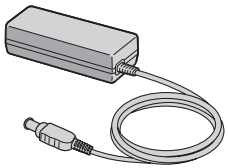


❑ **バッテリ (1)**

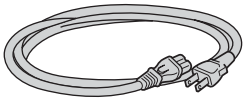


❑ **予備用キャップ (ワイドスティック用、2)**

❑ **ACアダプタ (1)**



❑ **電源コード (1)**



説明書およびCD-ROM

❑ 取扱説明書（1）

❑「Microsoft® Windows® XP Home Edition*」ファーストステップガイド（1）

* 以降、Windows XPと略します。特に必要な場合は正式名称を記載します。

❑ リカバリ CD-ROM パッケージ（1）

ご注意

リカバリ CD-ROMを使うには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

– CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
– DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
– CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

その他

❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）

❑ VAIOサービス・サポートのご案内（1）

❑ VAIOカルテ（1）

❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）

❑ その他パンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェア一覧」（227ページ）をご覧ください。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものと異なる場合があります。特に指示のない限り、本文中の説明図にはPCG-U1を使用しています。

このマニュアルの使いかた

この説明書は、以下の章で構成されています。

本機には、この説明書の内容を画面上でも見られる電子マニュアル（PDFファイル）があらかじめインストールされています。電子マニュアルの見かたについては、「電子マニュアルを見るには」（18ページ）をご覧ください。

❑ 準備する

本機を初めてお使いになるときに必要な準備について説明しています。

❑ 基本的な使いかた

本機を初めてお使いになるときは、お読みください。特にコンピュータを初めてお使いになる方は、「ポインティング・デバイスを使う」（58ページ）や「キーボードを使う」（60ページ）を読んで、コンピュータの基本的な使いかたをマスターすることをおすすめします。

❑ インターネットに接続する

インターネットに接続するために必要な準備などについて説明しています。

❑ VAIOを楽しむ

携帯電話のような文字入力方法（「ThumbPhrase」ソフトウェアで文字を入力する」（116ページ））や簡単なファイルコピーのしかた（「FlyingPointer」ソフトウェアでファイルをコピーする」（133ページ））など、本機の特長である機能を説明しています。

❑ 拡張する

プリンタなどの周辺機器のつなぎかたや、PCカードの使いかたなどについて説明しています。

❑ 設定を変更する

本機をお使いになる状況や好みに合わせて、本機の設定を変更できます。ここでは、付属のソフトウェアを使った設定のしかたを説明しています。

❑ 困ったときは

本機がうまく動作しないときのトラブルの解決方法について説明しています。

❑ 付属ソフトウェア一覧

本機に付属しているソフトウェアについて説明しています。

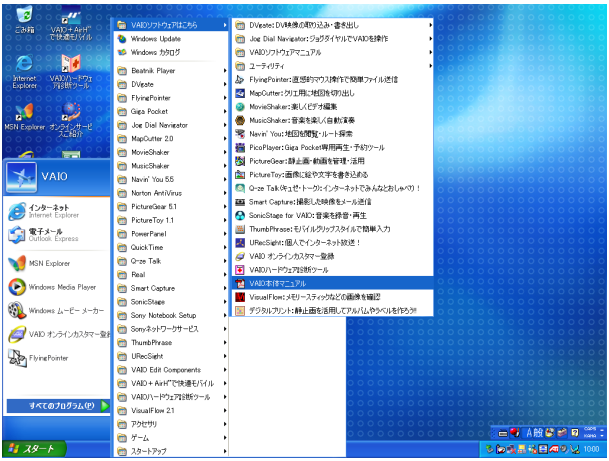
❑ その他

本機をご使用になる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

電子マニュアルを見るには

電子マニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、次のように操作します。

［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［VAIO本体マニュアル］を順にクリックする。



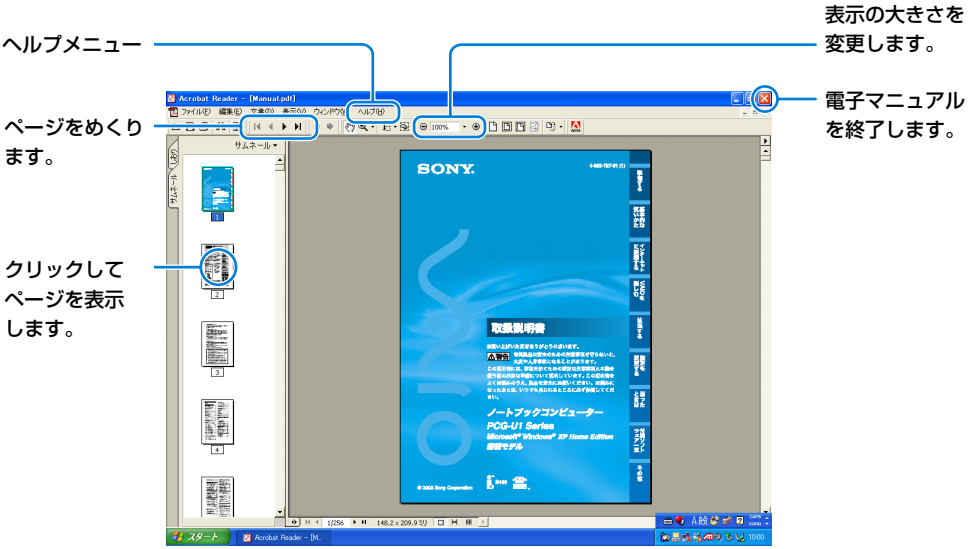
本機に付属の「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動し、電子マニュアルが表示されます。

「Adobe Acrobat Reader」を初めて起動したときは

「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、［同意する］をクリックしてください。

電子マニュアルの見かた

サムネール（縮小表示）やしおりを見たいときは、 をクリックし、それぞれのタブをクリックします。詳しくは、「Adobe Acrobat Reader」のヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。



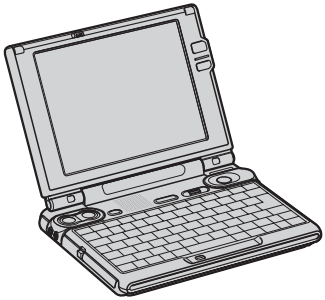
こんなことができます

本機のスタイルについて

本機には使用する目的に応じた2種類の「スタイル」があります。

PCスタイル

本機をノートブックコンピュータとして机の上などで使用するときのスタイルです。



モバイルグリップスタイル

本機を両手で持って操作するスタイルです。付属の「ThumbPhrase」ソフトウェアを使って、携帯電話のように簡単に文字入力ができます。（116ページ）

ご注意

- 本機前面や後面の通風孔（25、27ページ）を指などでふさがないようにご注意ください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、低温やけどや火災、故障の原因となります。
- 本機の故障の原因となるため、以下の項目にご注意ください。
  - 本機は片手で持たず、必ず両手でしっかりと持ち、落とさないようにしてください。
  - 本機に強い衝撃や振動を与えないようにしてください。
- 使用状況によっては、本機底面が熱くなる場合があります。そのまま長時間使用すると、低温やけどの原因となるおそれがありますのでご注意ください。

本機の主な特長

本機は、出張や旅行はもちろんのこと、日々のアクティブな環境のなかで、いつでもどこでも気軽に使うことができる、ソニーならではのノートブックコンピュータです。
超小型ボディにWindows XPを搭載し、本格的なモバイルコンピューティングを可能にします。
ここでは本機でできることの例をご紹介します。

簡単に文字を入力する

付属の「ThumbPhrase」ソフトウェアを使って、携帯電話のように簡単に文字入力ができます。本機を両手に持った状態（モバイルグリップスタイル）で入力できるので、屋外でもお気軽にご使用になれます。（116ページ）
また、予測変換入力により変換候補を予測して表示するので、少ない操作ですばやく文字を入力することができます。

パソコン間で簡単にファイルを交換する

本機とVAIOまたは他社製パソコンをネットワークでつなぎ、付属の「FlyingPointer」ソフトウェアを使うと、お互いのファイルをドラッグアンドドロップするだけで簡単にコピーすることができます。（133ページ）

次のページにつづく

消費電力を節約する

スタンバイボタンを押すだけで簡単に省電力動作モードになります。再度スタンバイボタンを押すとすばやく起動し、電源を切った場合よりも早く通常の動作モードに復帰できます。外出先などでの少しの合間に、起動時間を待つことなく電子メールやインターネットにアクセスできるので、消費電力を節約しながら有効的に使用できます。（140ページ）

画面を拡大する

ディスプレイに表示される文字が小さいときなど、ZOOM IN（ズームイン）ボタンを押すだけで画面を拡大することができます。（139ページ）

ジョグダイヤルを便利に使う

ジョグダイヤルを回したり押したりするだけで、ポインタを動かさずにアクティブウィンドウを上下にスクロールしたり、［スタート］メニューやアクティブウィンドウのメニューから項目を選択するなど、さまざまな操作が簡単にできます。（67ページ）

バッテリを上手に使う

付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って、バッテリでの使用時間を優先する動作環境に設定したり、バッテリの残量などを簡単に把握することができます。（171ページ）

ネットワークを利用する

本機はネットワークコネクタを装着しているので、ADSLモデムや、家庭内、オフィスなどのLAN（Local Area Network）に直接接続することができます。（142ページ）

“マジックゲートメモリースティック”で音楽を楽しむ

付属の「SonicStage」ソフトウェアを使ってインターネットから配信された音楽データや、音楽CDの曲を本機に取り込んで再生することができます。また、取り込んだ音楽ファイルを本機のマジックゲート対応メモリースティックスロット（以降、メモリースティックスロットと略します。）に挿入した“マジックゲートメモリースティック”に転送（チェックアウト）し、対応のポータブルプレーヤーなどに曲の移動をしたり、再生したりすることができます。（80ページ）

画像を取り込む

“メモリースティック”対応のソニー製デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーで“メモリースティック”に画像を取り込んで、その“メモリースティック”を本機のメモリースティックスロットに挿入するだけで、画像データファイルを取り込むことができます。
また、本機のi.LINKコネクタにつないだi.LINK（IEEE1394）インターフェイスを持つデジタルビデオカメラレコーダーなどから、デジタル信号のままで美しい画像を取り込むこともできます。

取り込んだ画像を活用する

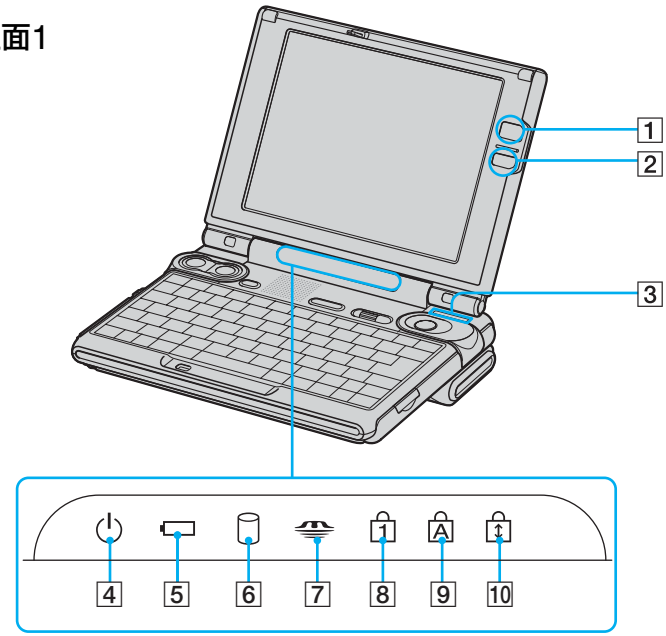
「MovieShaker」や「DVgate」ソフトウェアを使えば、取り込んだ動画を使ってビデオ編集ができます。
また、付属の「PictureToy」ソフトウェアを使えば、静止画を下敷きとしてその上に重ねてお絵かきができます。加工した静止画を使って、付属の「DigitalPrint」ソフトウェアでオリジナルのフォトアルバムやCDやMDのラベル作りを楽しむこともできます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、「Windowsを準備する」（36ページ）の手順に沿って本機を使えるよう準備を行う必要があります。
また、それぞれの操作について詳しくは、各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

各部のなまえ

詳しい説明は、（ ）内のページをご覧ください。

本機正面1



1 ⏻（パワー）ボタン（34ページ）

2 ZOOM IN（ズームイン）ボタン（139ページ）
画面を拡大します。

3 IDラベル（197、271ページ）
型名が記載されています。

4 ⏻（パワー）ランプ（34ページ）
電源が入ると緑色に点灯します。

5 （バッテリ）ランプ（54ページ）
本機に取り付けたバッテリの状態を表示します。

6 （ハードディスク）ランプ
ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

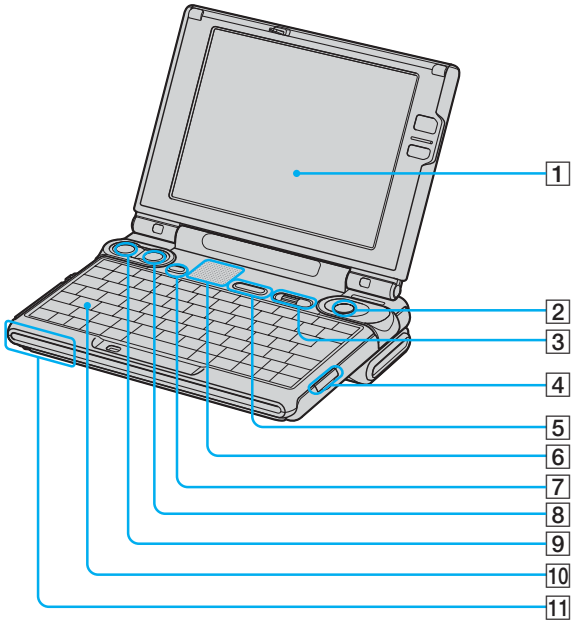
7 （メモリースティック）ランプ（79ページ）
“メモリースティック”にアクセスしているときに点灯します。

8 （Num Lock）ランプ（62、63、203、210、224ページ）
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

9 （Caps Lock）ランプ（62、203ページ）
Caps Lkキーを有効にすると点灯します。

10 （Scroll Lock）ランプ（66ページ）

本機正面2



1 **液晶ディスプレイ（207、262ページ）**

2 **ワイドスティック（58ページ）**
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

3 **ジョグダイヤル（67、118ページ）**
ウィンドウのスクロールや項目の選択など、各ソフトウェアの操作の一部を行うことができます。

BACKボタン（67、118ページ）
ジョグダイヤルの操作中にひとつ前の階層に戻したいときや、「ThumbPhrase」ソフトウェアの操作中に文字を消去するときなどに使います。

4 **（マジックゲート対応メモリースティック）スロット（78ページ）**
“メモリースティック”を挿入します。

5 **スタンバイボタン（140ページ）**
省電力動作モードにします。

6 **内蔵スピーカー（217ページ）**

7 **ThumbPhrase（サムフレーズ）ボタン（116ページ）**
「ThumbPhrase」ソフトウェアを起動します。

8 **右ボタン（58ページ）**
マウスの右ボタンに相当します。

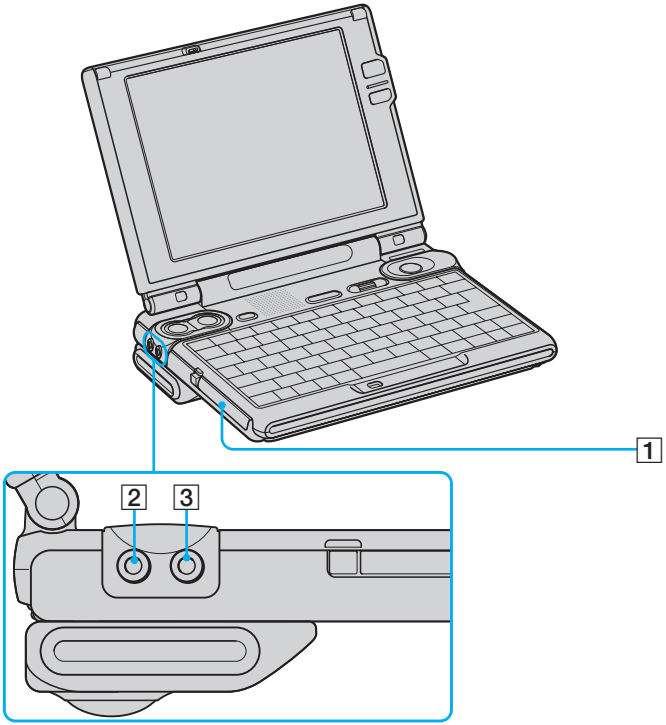
9 **左ボタン（58ページ）**
マウスの左ボタンに相当します。

10 **キーボード（60ページ）**

11 **通風孔**

次のページにつづく

本機左側面

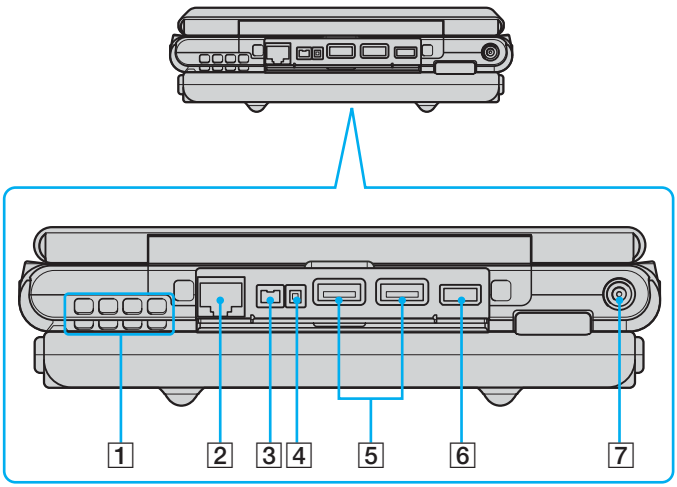


1 PCカードスロット（92、160、189ページ）

2 （マイク）コネクタ（154ページ）
マイクをつなぎます。
マイクコネクタの上部に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

3 （ヘッドホン）コネクタ（153ページ）
ヘッドホンやスピーカーをつなぎます。

本機後面



1 通風孔

2 NETWORK（ネットワーク）コネクタ（102、136、142ページ）
LANケーブルをつなぎます。

3 S400（i.LINK）コネクタ（135、144ページ）
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

4 バイオ関連製品専用DC OUT（電源供給）コネクタ*（92、188ページ）
VAIOノート専用ドライブのみ接続してください。VAIOノート専用ドライブ以外のドライブを接続すると、本機の故障の原因となる場合があります。接続のしかたや使いかたについて詳しくは、ドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。

* 以降、専用DC OUTコネクタと略します。

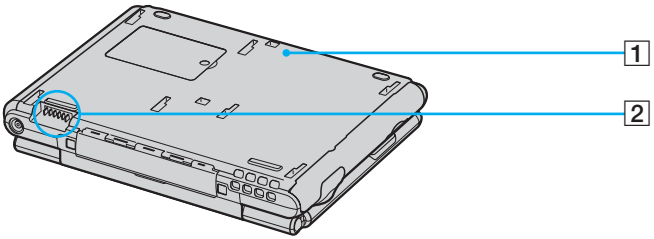
5 USBコネクタ（149、150ページ）
USB規格に対応した機器をつなぎます。

6 MONITORコネクタ（151、152ページ）
外部ディスプレイをつなぎます。

7 DC INコネクタ（33、56ページ）
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

次のページにつづく

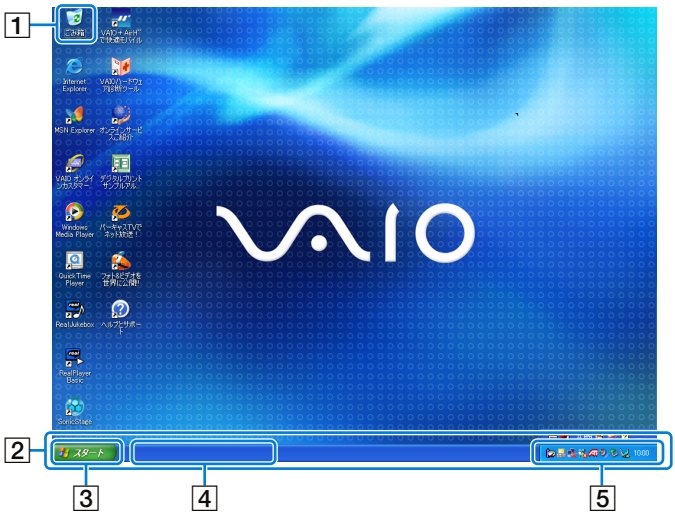
本機底面



1 リセットスイッチ
（200、202ページ）

2 バッテリコネクタ
（32、52ページ）
バッテリコネクタ部には、クリップなどの金属物を接触させないようご注意ください。

デスクトップ画面



1 ごみ箱

いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱を空にするまでごみ箱の中に残っています。

2 タスクバー

本機に搭載されたソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく3領域があり、それぞれ［スタート］ボタン、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windowsに関連する機能を表示しておく通知領域に分かれます。

3 ［スタート］ボタン

ここをクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

［スタート］メニューの左側には、最近よく使用したファイルやソフトウェアのアイコンが表示されます。

次のページにつづく

4 ウィンドウのボタン表示

使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

5 通知領域

本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindowsの機能がここに表示されます。

準備する

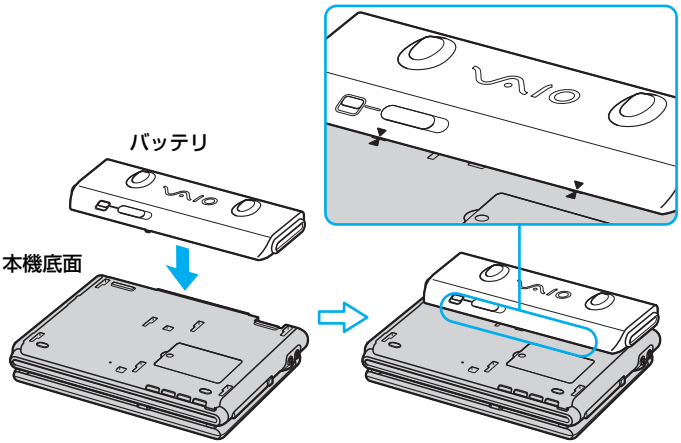
電源を入れる

以下の手順に従って、本機の電源を入れてください。

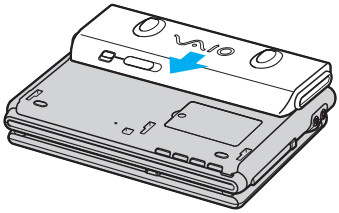
1 **バッテリを取り付ける。**

停電や誤ってACアダプタがはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

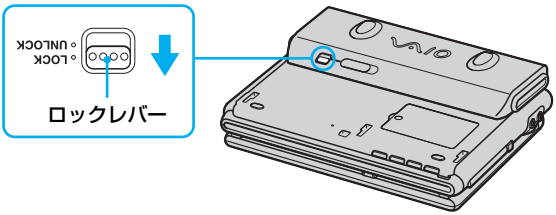
① 本機底面の △▽ とバッテリの ▽ をあわせ、本機底面の穴にバッテリのツメが入るように取り付ける。



② バッテリを「カチッ」と音がするまでスライドさせて固定する。



③ ロックレバーをLOCK側にずらして、バッテリを固定する。



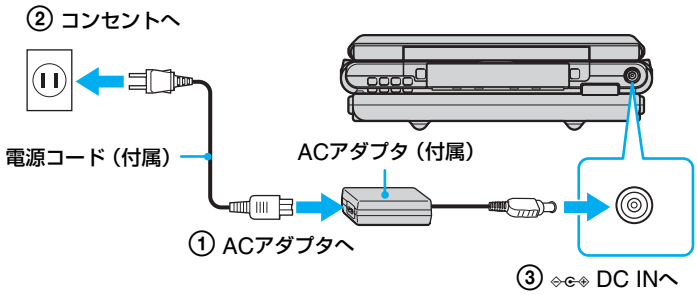
ご注意

バッテリが不意にはずれないよう、バッテリ装着中は常にロックレバーをLOCK側にずらしてお使いください。
バッテリがはずれると、作業中のデータが失われたり、バッテリ破損の原因となります。

2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

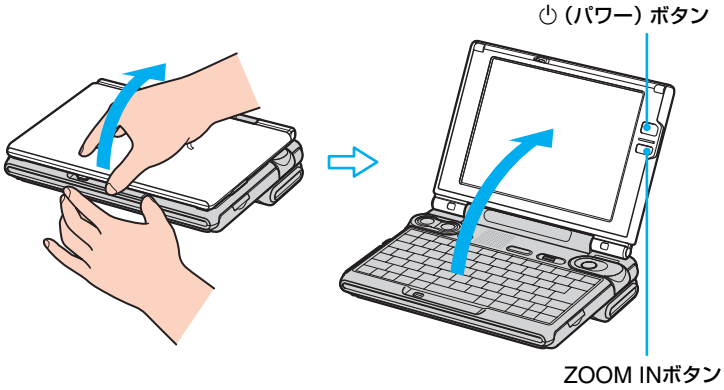
① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。
② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
③ ACアダプタのプラグを、本機後面の ⟐⊂⟐ DC INに差し込む。



次のページにつづく

3 **ディスプレイパネルを開く。**

本機の下側をしっかりと押さえて開いてください。そのとき、⏻（パワー）ボタンやZOOM INボタンを誤って指などで押さないようご注意ください。

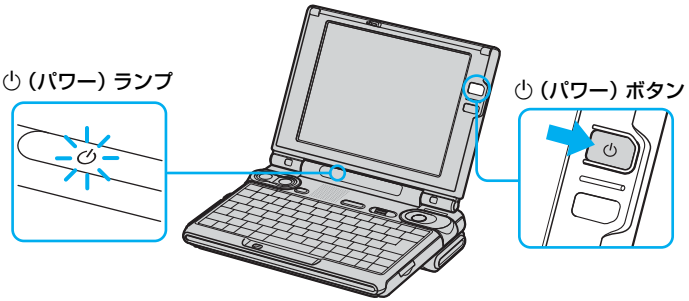


4 **⏻（パワー）ボタンを押して、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。**

電源が入ると、⏻（パワー）ランプが緑色に点灯し、Windowsのロゴの画面が表示され、本機が起動します。

ご注意

- ⏻（パワー）ボタンを4 秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。



本機の2回目の起動時か、「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

本機の電源を初めて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでの間は（ポインタ）だけが表示されていますが、そのままお待ちください。

途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、「Windowsを準備する」（36ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*1）。ワイドスティックに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*1またはスタンバイ*1）。

さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります（休止状態*1）。

元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻（パワー）ランプがグリーンで点灯（LCD/Videoスタンバイ）
  ワイドスティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す
- ⏻（パワー）ランプがアンバー（赤褐色）で点滅（スタンバイ）
  スタンバイボタンまたはキーボードのいずれかのキー、⏻（パワー）ボタンを押す *2。
- ⏻（パワー）ランプが消灯（休止状態または電源オフ）
  スタンバイボタンまたは⏻（パワー）ボタンを押す*2。

*1 詳しくは、「省電力動作モードについて」（175ページ）をご覧ください。

*2 ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。
Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、以下の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては「電源を入れる」の手順1（32ページ）をご覧ください。
- 「ポインティング・デバイスを使う」（58ページ）や「キーボードを使う」（60ページ）では、ポインティング・デバイスやキーボードの使いかたについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら（35ページ）、画面右下にある［次へ］をクリックする。

ワイドスティックを指で押し、［次へ］の上までポインタを移動して左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。（58ページ）

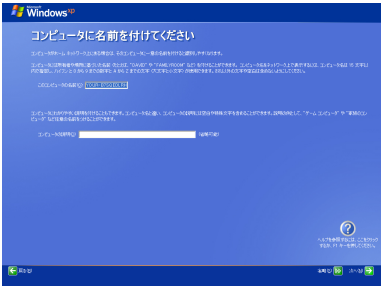
「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。

ご注意

［同意しません］の ◯ をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。



3 必要な場合はコンピュータ名を変更し、［次へ］をクリックする。

コンピュータ名は、本機をネットワークに接続して使用する場合にコンピュータを識別するために必要です。「このコンピュータの名前」の欄に自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

また、コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。その場合は「コンピュータの説明」欄に入力してから［次へ］をクリックしてください。

Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合は、手順6へ進んでください。

次のページにつづく

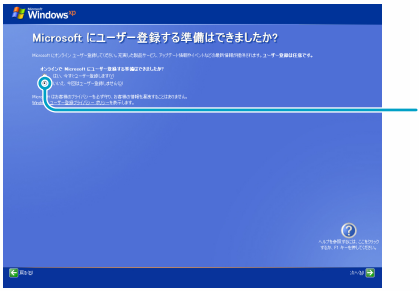
4 「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」の欄にパスワードを入力し、［次へ］をクリックする。

5 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示されたら、ネットワーク環境に合わせて設定し、［次へ］をクリックする。

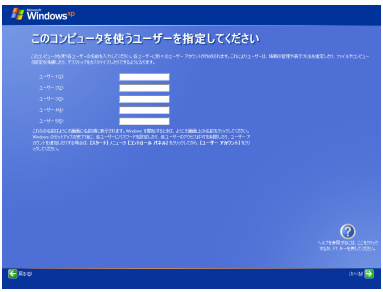
6 「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

7 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の ○ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。



「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。



「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面で、［はい、今すぐユーザー登録します］を選んで［次へ］をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機の NETWORK（ネットワーク）コネクタや別売りのモデムカード、PHSカードなどを使ってあらかじめインターネットに接続しておく必要があります。
インターネットに接続するための設定について詳しくは、「インターネットに接続する」（102ページ）をご覧ください。

8 ユーザーの名前を入力し、［次へ］をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。
Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。
Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。
「設定が完了しました」画面が表示されます。

9 ［完了］をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

次のページにつづく

ご注意

- 本機に付属のOS（Operating System）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定の期間使用しないと自動的にデスクトップ画面上から削除されるものがあります。Windowsの初回起動時から一週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
  その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  – CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
  – DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
  – CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A
  上記以外のドライブを使用しての本機の再セットアップの動作保証はいたしかねます。

電源を切る

以下の手順に従って、本機の電源を切ります。

ご注意

必ず以下の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 **［スタート］ボタンをクリックする。**

［スタート］メニューが表示されます。

2 **メニューの［終了オプション］をクリックする。**

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

次のページにつづく

3 **［電源を切る］をクリックする。**

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。

液晶ディスプレイパネルを閉じるときは、⏻（パワー）ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。引き続きいろいろな操作をするためには、「基本的な使いかた」（51ページ）以降をご覧ください。

スタンバイボタンを押すと、作業中の状態を保持したまま一時的に省電力状態にできます。再度スタンバイボタンを押すと、すぐに起動するので、電源を切った場合より早く復帰できます。詳しくは140ページをご覧ください。

再起動する

本機の設定を変更したり、ソフトウェアをインストールしたときなどは、本機を再起動する必要があります。

1 **［スタート］ボタンをクリックする。**

［スタート］メニューが表示されます。

2 **メニューの［終了オプション］をクリックする。**

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

3 **［再起動］をクリックする。**

数秒後に本機が再起動します。

カスタマー登録する

ご注意

- カスタマー登録するには、あらかじめインターネットに接続できる環境が必要です。詳しくは、「インターネットに接続する」（102ページ）をご覧ください。
- 本機は内蔵モデムを搭載しておりません。VAIOオンラインカスタマーご登録をご利用いただくには、本機の 品 NETWORK（ネットワーク）コネクタや別売りのモデムカード、PHSカードなどを使ってあらかじめインターネットに接続していることが必要です。
- オンラインカスタマーご登録は、管理者権限（Administrators）のユーザーのみ行うことができます。

VAIOカスタマーご登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）はVAIOをご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサポート・サービスをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。
ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクから、お買い上げ日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします（すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません）。
なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（270ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先

ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク
電話番号：03-5977-7255
受付時間：月～金 10時～18時（土日祝日、年末年始を除く）

VAIOカスタマーご登録の方法

インターネットに接続して手軽にご登録を行えます。

- 付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでもご登録を行えます。
- 下記の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。

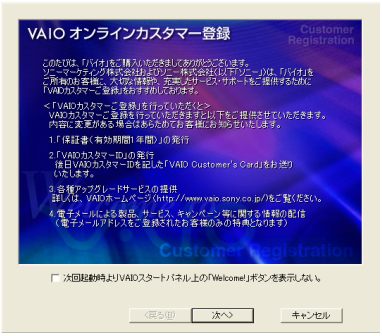
  ① お客様が、別途ご案内する「Upgrade Area」および「バイオネットワークサービス」を利用する場合には、これらのサービスの運営会社のソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社もお客様の情報を利用いたします。

  ② VAIOカスタマーご登録制度の運営に必要な場合、ソニーは業務を委託する協力会社に開示することがあります。
  （ソニーは、協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。）

  ③ 法的義務を伴う要請を受けた場合、司法機関または行政機関に開示することがあります。
- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp/）のページ上で、変更手続きが行えます。
- 12才までのおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとうろくしてください。

1 デスクトップ画面上の をダブルクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。



2 **［次へ］をクリックする。**

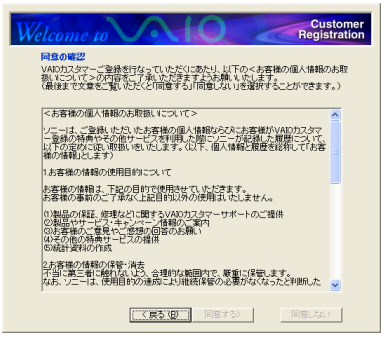
「VAIOカスタマーID VAIOカスタマーパスワード」画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリックする。**

「VAIOカスタマーご登録を行っていただくときのご注意」画面が表示されます。

4 **［次へ］をクリックする。**

「同意の確認」画面が表示されます。



5 **スクロールバーの ▲ または ▼ をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは［同意する］をクリックする。**

「登録種別の選択」画面が表示されます。

ご注意

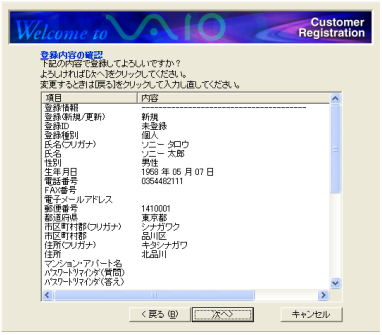
［同意しない］をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージが表示されます。［終了］をクリックすると、「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

次のページにつづく

6 **「新規」の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ] をクリックする。**

「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

画面の指示に従って操作してください。入力が完了すると、「登録内容の確認」画面が表示されます。



- 本機を含めてVAIOをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- 「お客様氏名の入力」画面の「本機を登録される方」で「法人・団体」を選んだときは、法人、団体用の情報を入力する画面が表示されます。
  画面の指示に従って情報を入力してください。
- 「パスワードリマインダー」画面の質問と答えは必ずしも入力する必要はありません。必要がない場合は、何も入力せずに［次へ］をクリックしてください。
  パスワードリマインダーは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行える便利な機能です。

7 **ご登録いただく内容をご確認の上で、[次へ] をクリックする。**

「接続方法の選択」画面が表示されます。

8 **「インターネット経由」の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ] をクリックする。**

「インターネット経由の接続設定」画面が表示されます。

ご注意

- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- 本機は内蔵モデムを搭載しておりません。「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」をご利用になるには、別売りのモデムカード、PHSカードなどが必要です。
- 外線発信（0発信）はできません。

［次へ］をクリックすると、手順9に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、［次へ］をクリックしてください。

9 **画面の指示に従って入力し、［次へ］をクリックする。**

「登録確認」画面が表示されます。

LANの環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者におたずねください。

10 **［登録］をクリックする。**

登録内容が送信されます。送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。

オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のIDとパスワードです。正規のIDとパスワードは後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。

なお、次の手順11、12の操作を行い、仮のIDとパスワードの情報をファイルとして保存しておくことをおすすめします。

11 **［ID、パスワードをファイルに保存］をクリックする。**

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

次のページにつづく

12 **ファイルに任意の名前を付け、［保存］をクリックする。**

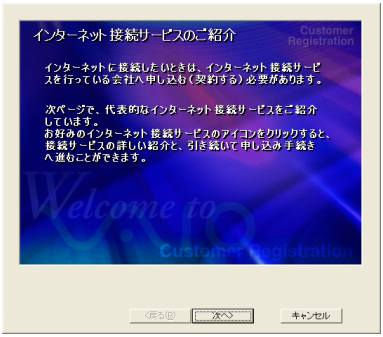
お客様のカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

13 **［OK］をクリックする。**

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。



VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ画面上に が表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、VAIOに関するサービス・サポート情報やVAIOホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

これでオンラインカスタマーご登録は終了です。

「ヘルプとサポートセンター」について

「ヘルプとサポートセンター」は、WindowsやVAIOの使いかたのFAQ（よくある質問とその回答）の検索、最新情報の入手など、サポートに関する情報の入り口です。困ったときは、まず「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには

デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして、表示されるメニューから［ヘルプとサポート］をクリックする。
「ヘルプとサポートセンター」画面が表示されます。

デスクトップ画面上の をダブルクリックしても表示できます。

① **ナビゲーションバー**
よく使用するページを登録したり、開いたページの履歴を参照することができます。

② **検索**
WindowsやVAIOで調べたいことをキーワード検索できます。

③ **Windows XPのヘルプ**
WindowsやVAIOの使いかたのFAQ（よくある質問とその回答）を見ることができます

次のページにつづく

④ **VAIOの情報はこちら**

本機の電子マニュアル（PDFファイル）や、VAIOカスタマーリンクのホームページなどを見ることができます。

⑤ **サポートツール**

困ったとき、設定を変更したいとき、Windowsの操作を学習するときなどに役に立つソフトウェアを起動したり、関連する情報を見ることができます。

⑥ **最新サポート情報**

WindowsやVAIOの最新サポート情報を見ることができます。

「ヘルプとサポートセンター」の情報の中には、インターネットに接続することによって、最新の情報に更新されるものがあります。インターネットに接続するための設定について詳しくは、「インターネットに接続する」（97ページ）をご覧ください。

基本的な使いかた

電源を用意する

充電したバッテリを本機に装着していると、ACアダプタにつながずに外出先などで本機を使えます。「バッテリを上手に使うヒント」（56ページ）や「バッテリについてのご注意」（57ページ）をご覧のうえ、快適にお使いください。

バッテリを取り付ける／取りはずす

ご注意

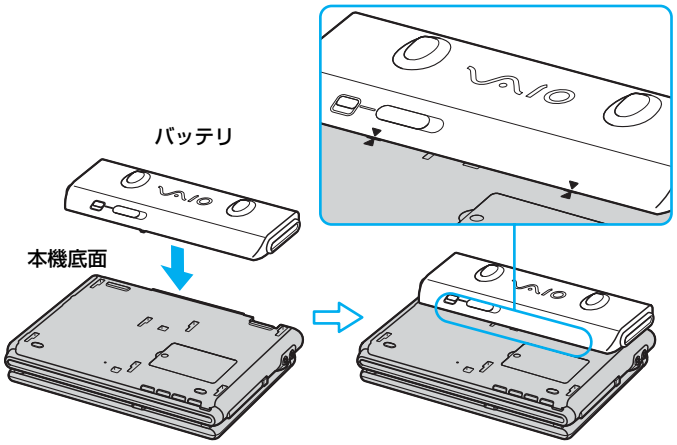
- 付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときから消耗していることがあります。
- バッテリを取り付け／取りはずすときは、本機の液晶ディスプレイを閉じてから行ってください。

AC電源につないでいるときは、本機の電源を切らなくてもバッテリの取り付け／取りはずしができます。

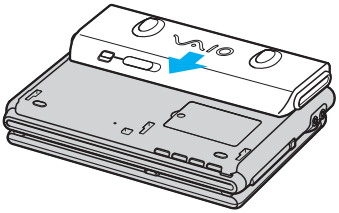
バッテリを取り付けるには

本機底面にバッテリを取り付けます。

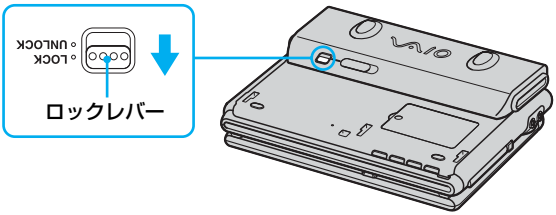
1 本機底面の △ とバッテリの ▽ をあわせ、本機底面の穴にバッテリのツメが入るように取り付ける。



2 バッテリを「カチッ」と音がするまでスライドさせて固定する。



3 ロックレバーをLOCK側へずらして、バッテリを固定する。



ご注意

バッテリが不意にはずれないよう、バッテリ装着中は、常にロックレバーをLOCK側にずらしてお使いください。
バッテリがはずれると、作業中のデータが失われたり、バッテリ破損の原因となります。

バッテリを取りはずすには

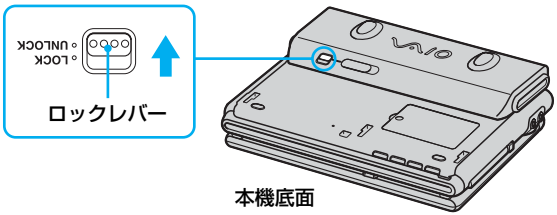
ご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。
- バッテリを取りはずす際は、必ずロックレバーをUNLOCK側にずらしてから、取りはずしレバーを ▷ の方向にずらして取りはずしてください。
  ロックレバーがLOCK側になったまま取り外しレバーをずらそうとすると、バッテリの破損の原因となります。
- バッテリコネクタ部には、クリップなどの金属物を接触させないようご注意ください。

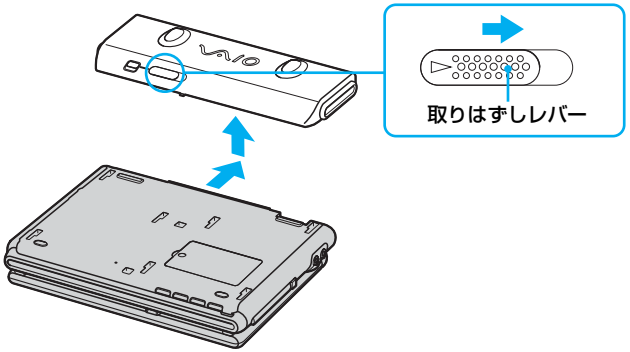
1 本機の電源を切り、液晶ディスプレイを閉じる。

次のページにつづく

2 ロックレバーをUNLOCK側へずらす。



3 取りはずしレバーを ▷ の方向にずらして、バッテリを取りはずす。



バッテリを充電する

本機をAC電源につないでいれば、本機を使っていてもバッテリは充電されます。充電中は、▭（バッテリ）ランプが2度連続で点滅します。
付属の標準バッテリの場合、バッテリの残量が空の状態から充電されるまでに約2時間かかります（約85 %充電、使用状況による）。
バッテリが約85 %まで充電されると、▭（バッテリ）ランプは消灯します。
約85%まで充電されたバッテリは、約30分後に完全に充電され、「バッテリの充電が完了しました」のメッセージが流れます。本機に付属の「PowerPanel」ソフトウェアで、完全に充電されるまでの予測時間を確認できます。

（バッテリ）ランプについて

本機の動作状態を示します。

点灯	バッテリ動作中
⏻（パワー）ランプと一緒に点滅	バッテリの残量が少ない状態
2度連続点滅	バッテリ充電中
消灯	バッテリ切れ、またはAC電源で動作中

- 完全に充電した付属のバッテリで本機を約2.5～4時間使用できます。
  バッテリの使用可能時間は、使用状況や設定などにより異なる場合があります。
  バッテリの使用時間について詳しくは、「バッテリ残量を確認する」をご覧ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。

バッテリ残量を確認する

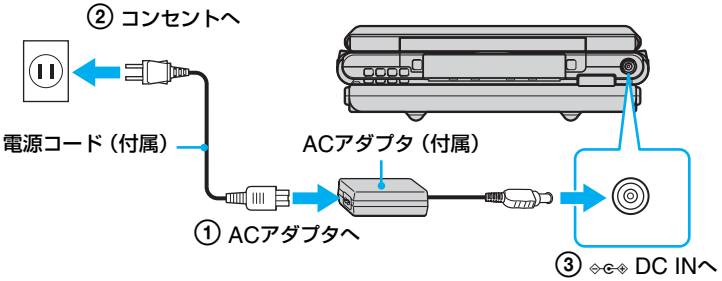
バッテリ残量を確認するには

本機の電源を入れると、「PowerPanel」ソフトウェアが起動し、 がデスクトップ画面右下の通知領域に表示されます。
通知領域の を右クリックして［バッテリ情報］を選択すると「バッテリ情報」画面が表示され、バッテリの放電予測時間や完全に充電されるまでの予測時間を確認できます。また、「バッテリ」タブ内の［詳細］をクリックするとバッテリの製品情報などを確認できます。

「PowerPanel」の初期設定で用意されている警告表示や警告音を変更したりすることができます。
詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

電源コンセントにつないで使う

本機をご使用になるときは、必ずバッテリを取り付けてください。



バッテリを上手に使うヒント

長時間使うには

一時的に使わないときなど、スタンバイボタンを押して、こまめにスタンバイモードにすることで、バッテリをより長時間使うことができます。（140ページ）

また、付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って本機の動作モードを「スタミナ」プロファイルや「スーパースタミナ」プロファイルに変更することで、バッテリの使用時間をのばすことができます。（172ページ）

工場出荷時の設定では、バッテリ使用時には自動的に「スタミナ」プロファイルになります。

残量を確認するには

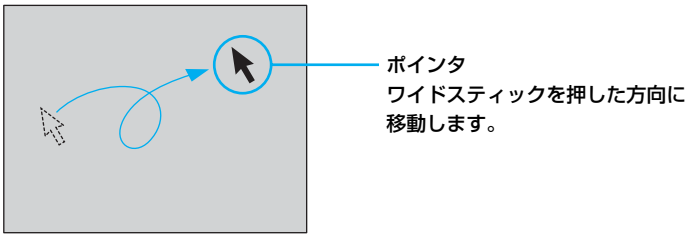
付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って、バッテリの残量と放電予想時間を確認できます。（55ページ）

バッテリについてのご注意

- 付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。
- 付属のバッテリは本機専用です。
- スタンバイ（175ページ）時にバッテリが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
  なお休止状態（176ページ）では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。
- 本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるよう工場出荷時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
  長時間席をはずされるときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
  バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイ（175ページ）のときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

ポインティング・デバイスを使う

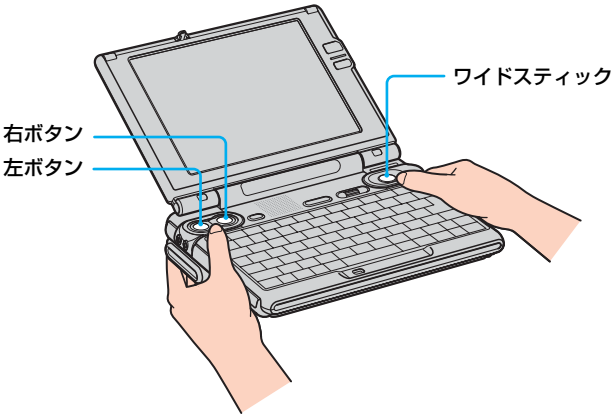
ワイドスティックを指で押すと、画面上のポインタは押した方向に移動します。



ご注意

ポインタが自然に動くことがまれにありますが、故障ではありません。しばらくワイドスティックから指を離していればポインタは止まります。

ポインタを目的の位置まで動かして左ボタンまたは右ボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。



クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを1回押します。
［OK］や［キャンセル］などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

ドラッグする

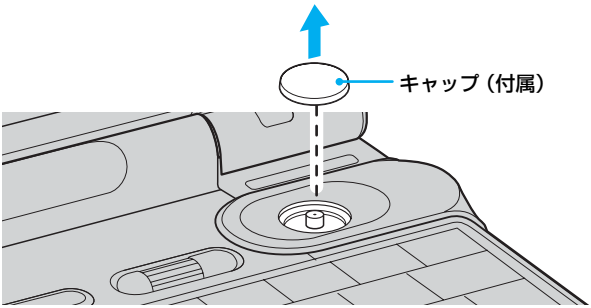
ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、ワイドスティックを押し、希望の位置でボタンを離します。
ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときに使います。

ワイドスティックのキャップを交換するには

ワイドスティックの先についているキャップは消耗品です。着脱式ですので、使いにくくなった場合は付属の予備キャップと交換することができます。



ご注意

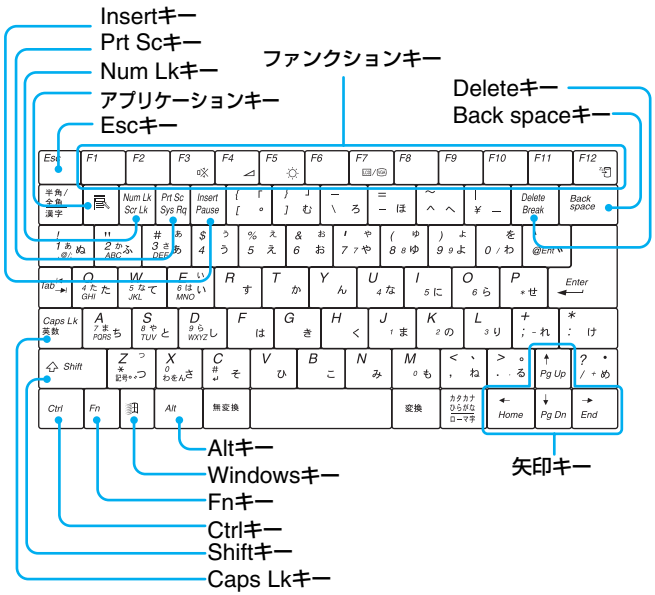
キャップはしっかりとはめてください。正しく取りつけられていないと、ディスプレイパネルを閉じたときにキャップがぶつかり、液晶などに傷がつくおそれがあります。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、コンピュータへ命令を送ることができます。ここでは、主なキーのなまえと機能を紹介します。
使用するソフトウェアによって働きが異なるものもあります。各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

ご注意

- キートップがはずれてしまったら、元の位置に戻してカチッと音がするまで押し込んでください。Enterキーやスペースキー、Shiftキーがはずれたときは、「困ったときは」の「キートップがはずれた」（211ページ）をご覧ください。
- キートップを故意にはずしたり、取り付けるときに無理に力を加えると故障や破損の原因となります。取り扱いにはご注意ください。

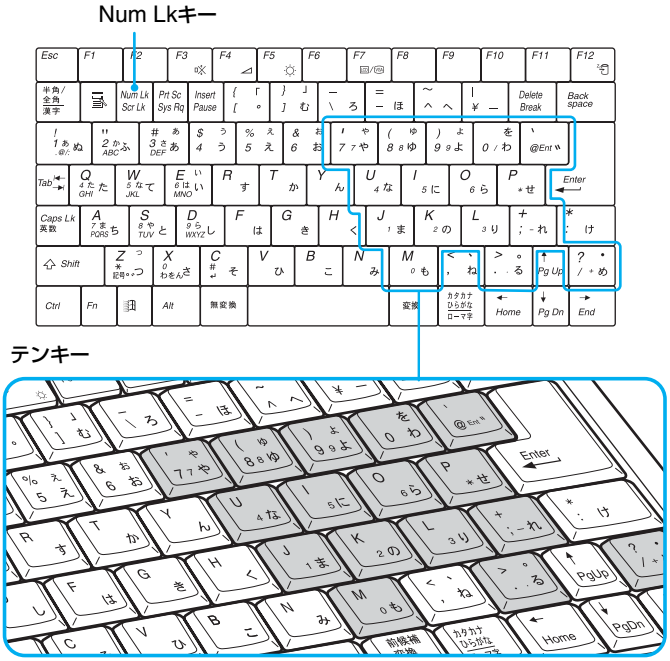


なまえ	機能
Esc（エスケープ）キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。 Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（65ページ）をご覧ください。
Back space （バックスペース）キー	カーソルの左側の文字を消します。
Delete（デリート）キー	カーソルの右側の文字を消します。
Shift（シフト）キー	文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。
矢印キー	カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。
Alt（オルト）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Windows （ウィンドウズ）キー 	Windowsの［スタート］メニューが表示されます。 他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプおよび「Windowsキーとの組み合わせ」（64ページ）をご覧ください。
Fn（エフエヌ）キー	キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（65ページ）をご覧ください。
Ctrl（コントロール）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。 メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

次のページにつづく

なまえ	機能
Caps Lk （キャプスロック）キー	Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、Ⓐ(Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。 もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、Ⓐランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。
Insert（インサート）キー	文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとに、カーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。
Prt Sc（プリントスクリーン）キー	表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。
Num Lk（ナムロック）キー	テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、⓵(Num Lock）ランプが点灯します。 もう1度、Num Lkキーを押すと消灯します。 詳しくは、「Num Lkキーの機能」（63ページ）をご覧ください。
アプリケーションキー 	ポインティング・デバイスの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

Num Lkキーの機能



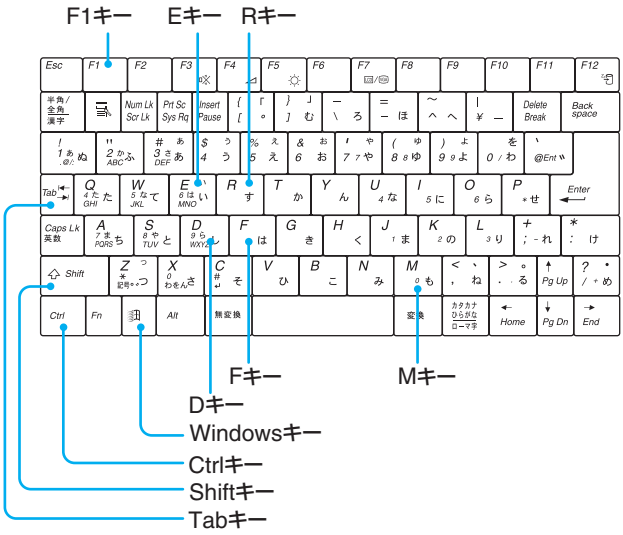
なまえ	機能
テンキー	Num Lkキーを押し、(Num Lock) ランプが点灯しているときにこれらのキーを押すと、キー上に茶色で表示されている数字を入力できます。 例) Uキーを押す。 「4」が入力されます。

「ThumbPhrase」ソフトウェアを起動させたときは、1、2、3キーとオレンジ色で表記されているキーでの入力が有効になります。また、キーによっては使えるものと使えないものがあります。詳しくは117ページをご覧ください。

キーボードショートカット

メニューを開かなくても、キーボードから各種コマンドを実行できます。

Windowsキーとの組み合わせ

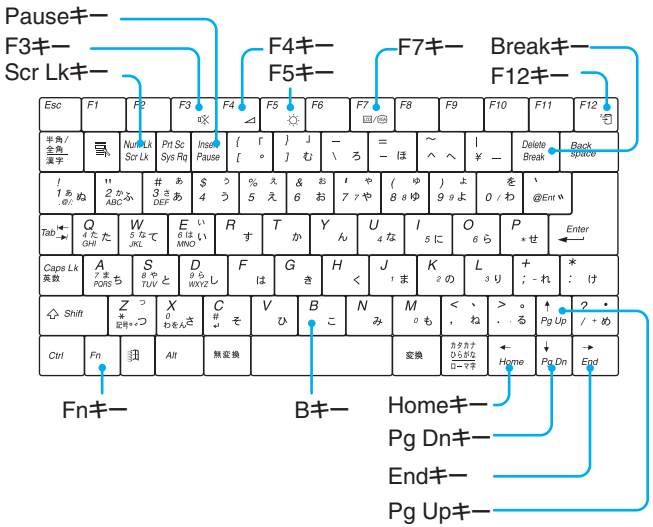


キー操作の表記

例： ⊞ +F ➡ Windowsキーを押しながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
⊞ +F1	Windowsのヘルプを表示します。
⊞ +E	「マイコンピュータ」画面を表示します。
⊞ +R	「ファイル名を指定して実行」を表示します。 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行…］を選んだときと同じです。
⊞ +D	デスクトップを表示します。
⊞ +F	検索画面を表示します。 ［スタート］メニューから［検索］の［ファイルやフォルダ…］を選んだときと同じです。
⊞ +Ctrl+F	コンピュータの検索画面を表示します。
⊞ +M	表示されているすべてのウィンドウを最小化します。
⊞ +Shift +M	最小化したウィンドウを元のサイズに戻します。
⊞ +Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。

Fnキーとの組み合わせ



キー操作の表記

例：Fn + 🔇 (F3) ➡ Fnキーを押しながらF3キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn+🔇 (F3)	本機の内蔵スピーカーの音声を入／切します。
Fn+🔉 (F4)	本機の内蔵スピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。↑または→キーを押すと大きくなり、←または↓キーを押すと小さくなります。
Fn+☼ (F5)	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。↑または→キーを押すと明るい画像になり、←または↓キーを押すと暗い画像になります。
Fn+LCD/VGA (F7)	MONITORコネクタに接続した外部ディスプレイと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→… **ご注意** 動画再生中には、ディスプレイの切り替えは行わないでください。

次のページにつづく

組み合わせ	機能
Fn+ (F12)	本機の液晶ディスプレイやCPUだけでなく、ほとんどの電源供給を停止します（休止状態）。使用環境はハードディスクに書き込まれるので復帰後もそのまま作業ができ、電源オフからの起動よりも早く本機を使用できます。
Fn+Scr Lk（スクロールロック）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+Pause（ポーズ）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+Break（ブレイク）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn＋Pg Up（ページアップ）キー	現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn＋End（エンド）キー	行の最後にカーソルを移動します。
Fn＋Pg Dn（ページダウン）キー	現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn＋Home（ホーム）キー	行の先頭にカーソルを移動します。
Fn＋B*	メガベース（高低音増幅機能）のオン／オフを切り替えます。（165ページ）

Fnキーを5回押して「固定Fnキー機能」画面を表示し、［固定Fnキー機能を使用する］をチェックしてから［OK］をクリックすると、同時に2つのキーを押さずに、Fnキーと他のキーをそれぞれ押して上記の操作を行うことができます。
Fnキーの固定を解除するには、通知領域の を右クリックし、［固定Fnキー機能を無効にする］をクリックします。

ご注意

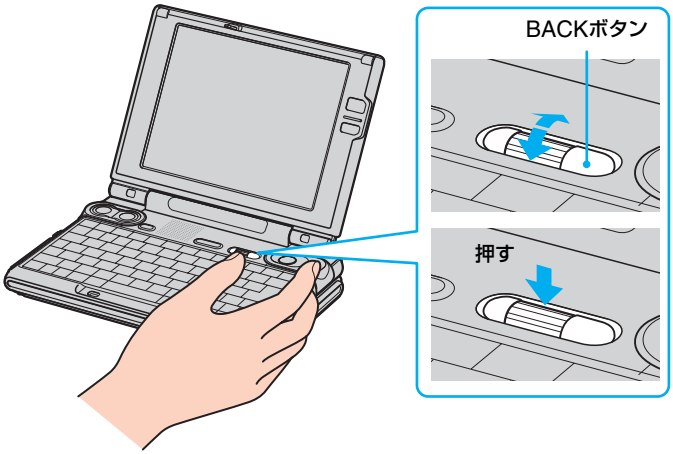
Windows起動後でないと作動しないものがあります。

ジョグダイヤルを使う

ジョグダイヤルを回すことで、ホイール付きマウスのようにさまざまなソフトウェアのウィンドウをスクロールすることができます。また、ジョグダイヤルを押すことで、それぞれのソフトウェアのよく使う機能をピックアップして、より直感的でわかりやすく操作することができます。さらに、［スタート］メニューが表示されているときには、ジョグダイヤルを回すと［スタート］メニュー内の項目を選択することができ、ジョグダイヤルを押すと選択した項目を実行できます。
また、BACKボタンを押すことにより、ひとつ前の階層に戻ることもできます。

「ThumbPhrase」ソフトウェアで携帯電話のように文字入力をする場合、ジョグダイヤルを使うとより快適に操作できます。詳しくは「「ThumbPhrase」ソフトウェアで文字を入力する」（116ページ）をご覧ください。

ここではジョグダイヤルの使いかたやジョグダイヤルでできる操作について説明します。



「Jog Dial Navigator」ソフトウェアは、インジケートウィンドウとジョグダイヤルウィンドウの2つのウィンドウがあり、通常はインジケートウィンドウが表示されています。
ソフトウェアの操作中にジョグダイヤルを押すと、ジョグダイヤルで操作できる機能が表示され、その表示のとおりに操作すれば、とても便利で簡単に操作できます。

インジケートウィンドウ

本機が起動している状態でジョグダイヤルを回すと、デスクトップ画面上にインジケートウィンドウが表示されます。

ランチャーボタン

ここをクリックすると、ジョグダイヤルランチャーを起動することができます。（70ページ）

モードボタン

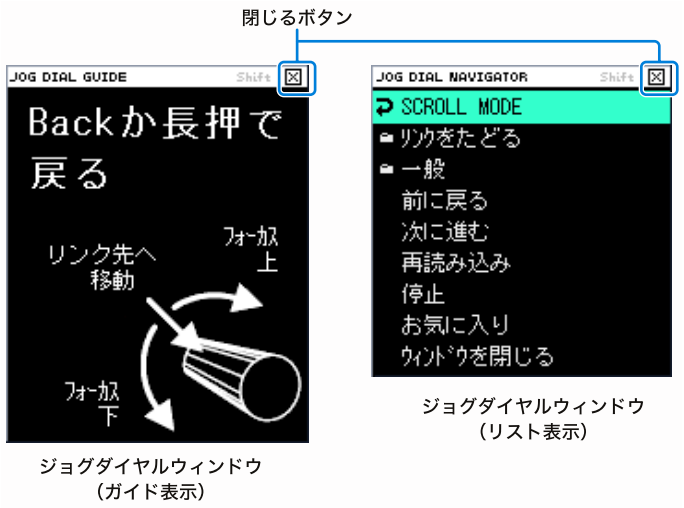
「Jog Dial Navigator」ソフトウェアには、スクロールモードとアプリケーションモードがあり、どのモードになっているかを表示します。
「SCROLL」が点灯しているとき（スクロールモード）にジョグダイヤルを回すと、画面をスクロールすることができます。
ソニー製ソフトウェアを起動したり、ソフトウェアを使用中にジョグダイヤルを押すと「APPS」が点灯し（アプリケーションモード）、ジョグダイヤルウィンドウが表示されます。（69ページ）
「SCROLL」や「APPS」の上にポインタ合わせ、クリックしてもモードを切り替えることもできます。

閉じるボタン

ここをクリックするとインジケートウィンドウを閉じることができます。
閉じてしまったインジケートウィンドウを表示させるには、デスクトップ画面右下の通知領域にあるまたはを右クリックし、［インジケートウィンドウの表示］をクリックします。

ジョグダイヤルウィンドウ

ソニー製ソフトウェアを起動したり、その他のソフトウェアをご使用中にジョグダイヤルを押すと、ジョグダイヤルウィンドウが表示されます。
ジョグダイヤルウィンドウの表示は、ソフトウェアに応じてガイド表示とリスト表示に切り替わります。
ジョグダイヤルウィンドウが表示されているときは、スクロール操作に代わって、ジョグダイヤルウィンドウに表示されている操作をジョグダイヤルで行うことができます。Shiftキーを押すことで、表示が切り替わり別の操作を行うこともできます。



ジョグダイヤルウィンドウ（ガイド表示）

ジョグダイヤルウィンドウ（リスト表示）

閉じるボタン

ここをクリックするとジョグダイヤルウィンドウを閉じることができます。
ジョグダイヤルウィンドウを閉じるとスクロールモードに切り替わります。

ジョグダイヤルでソフトウェアを起動する

Ctrlキーを押しながらジョグダイヤルを押すと、ジョグダイヤルランチャーを起動することができます。
アクティブなウィンドウがない状態（ポインタをデスクトップの上で1回クリックした状態）では、ジョグダイヤルを押しただけでも起動できます。
また、インジケートウィンドウの （ランチャーボタン）をクリックしても起動できます。
詳しくは、「Jog Dial Navigator」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ジョグダイヤルランチャーには、［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［VAIOソフトウェアはこちら］を順にクリックして表示される項目がリスト状に並んでいます。
ジョグダイヤルを回して項目を選択して押すことで、選んだソフトウェアを起動することができます。
表示されている項目の中には、1つ下の階層をもつものがあります。その項目を選択した場合には、さらに選択できる項目がリスト上に表示されます。ひとつ前の階層に戻るには、BACKボタンを押します。

ジョグダイヤルでソフトウェアを操作する

ソニー製またはその他のソフトウェアやプログラムの使用中にジョグダイヤルを回すと、画面をスクロールすることができます。また、ジョグダイヤルを押すことでジョグダイヤルウィンドウが表示され、ソフトウェアに適した操作を行うことができます。
ソニー製ソフトウェアの場合は、ソフトウェア起動時に自動的にジョグダイヤルウィンドウが表示され、各ソフトウェアに応じた操作ができます。例えば、「SonicStage」ソフトウェアでは、ジョグダイヤルを使って曲の選択や再生などができます。さらにShiftキーを押すことで表示が切り替わり、音量の調整を行うことができます。
また、「Adobe® eBook® Reader」ソフトウェアではページをめくったり、「Microsoft® Internet Explorer」ソフトウェアでは、リンク（アンカー）の選択や次ページへ進んだり、前ページへ戻ったり、お気に入りの項目を選んだりすることができます。
操作について詳しくは、「Jog Dial Navigator」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Microsoft® Internet Explorer

項目	操作と機能
SCROLL MODE	ジョグダイヤルを回すとスクロールする状態に戻ります。
リンクをたどる	リンク先の選択をひとつずつ切り替えます。
一般	一般的なメニュー項目を表示します。
前に戻る	前のページを表示します。
次に進む	次のページを表示します。
再読み込み	表示中のページを再度表示し直します。
お気に入り	お気に入りのメニューを開きます。
ウィンドウを閉じる	ウィンドウを閉じます。

❑ 音楽や映像を再生するソフトウェア

「SonicStage」や「Windows Media Player」などの音楽や映像を再生するソフトウェアの操作です。ただし、ソフトウェアによっては多少の違いがあります。

項目	操作と機能
ジョグダイヤルを上に回す	前の曲（トラック）に移動します。
ジョグダイヤルを下に回す	次の曲（トラック）に移動します。
ジョグダイヤルを押す	CDやDVDの再生を一時停止します。
BACKボタンを押す	その他の操作リストを表示します。
Shiftキーを押しながら ジョグダイヤルを上に回す	音量を大きくします。
Shiftキーを押しながら ジョグダイヤルを下に回す	音量を小さくします。
Shiftキーを押しながら ジョグダイヤルを押す	消音します。もう1度押すと元の音量に戻ります。
Shiftキーを押しながら BACKボタンを押す	その他のリストを表示します。

❑ その他の一般的なソフトウェア

項目	操作と機能
SCROLL MODE	ジョグダイヤルを押すとスクロールする状態に戻ります。
最大化	選択されているウィンドウが最大化します。
最小化	選択されているウィンドウが最小化します。
ウィンドウを閉じる	ウィンドウを閉じます。

上記で紹介したもの以外の項目が用意されているソフトウェアなどもあり、それぞれに応じた操作をすることができます。

ジョグダイヤルの設定をする

お好みに応じてジョグダイヤルのスクロール量や、ジョグダイヤルウィンドウの透過度（背景の透ける度合い）などの設定を行うことができます。
ジョグダイヤルの設定について詳しくは、「Jog Dial Navigator」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ジョグダイヤルのスクロール量を設定するには

ジョグダイヤルをスクロールに使う際に、ジョグダイヤルの回転に対して、画面をどれだけスクロールさせるかを設定できます。設定には次の2つの設定方法があります。

メニューから直接設定する

1 **インジケートウィンドウまたはデスクトップ画面右下の通知領域にある または を右クリックし、[scroll量の調節] にポインタを合わせ、スクロール量を選ぶ。**

「ジョグダイヤル設定」画面で設定する

1 **インジケートウィンドウまたはデスクトップ画面右下の通知領域にある または を右クリックし、[ジョグダイヤル設定] をクリックする。**
「ジョグダイヤル設定」画面が表示されます。

2 **[動作設定] タブをクリックする。**

3 **「スクロール時の動作」の「スクロール量」スライドバーを左右に動かして、スクロール量を調節する。**

4 **[OK] をクリックする。**

ジョグダイヤルウィンドウの移動アニメーションを設定するには

ジョグダイヤルウィンドウに切り替えた際に、ソフトウェアのウィンドウまでジョグダイヤルウィンドウが移動する際の動作をアニメーション表示させるかどうかを設定できます。
工場出荷時には、アニメーション表示が有効になっています。

1 インジケートウィンドウまたはデスクトップ画面右下の通知領域にある または を右クリックし、［ジョグダイヤル設定］をクリックする。
「ジョグダイヤル設定」画面が表示されます。

2 ［表示・サウンド］タブをクリックする。

3 「ジョグダイヤルウィンドウの設定」の［移動アニメーションを有効にする］のチェックボックスをクリックし、チェックをはずす。
アニメーションを有効にする場合は、［移動アニメーションを有効にする］のチェックボックスをクリックし、チェックしてください。

4 ［OK］をクリックする。

ジョグダイヤルウィンドウの透過度を設定するには

ジョグダイヤルウィンドウの背景の透過度を設定できます。

1 **インジケートウィンドウまたはデスクトップ画面右下の通知領域にある または を右クリックし、［ジョグダイヤル設定］をクリックする。**

「ジョグダイヤル設定」画面が表示されます。

2 **［表示・サウンド］タブをクリックする。**

3 **「ジョグダイヤルウィンドウの設定」の「透過度」スライドバーを左右に動かして、透過度を調節する。**

4 **［OK］をクリックする。**

ご注意

「ジョグダイヤル設定」画面の［動作モード］タブまたは［動作設定］タブの「ジョグダイヤルでメニューやダイヤログボックスを操作する」の項目を変更した場合は、本機を再起動する必要があります。

“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でのデータをやりとりするのに便利なだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータを保存するときもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、著作権保護技術（MagicGate）を搭載した“マジックゲート メモリースティック”（以降、“MGメモリースティック”と略します）と、搭載していない一般の“メモリースティック”の2種類があります。本機では、“MGメモリースティック”と一般の“メモリースティック”のどちらもご使用いただけます。

音楽などの著作権保護が必要なデータは、“MGメモリースティック”と本機などマジックゲート対応機器の組み合わせで記録や再生ができます。1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記憶することも可能です。例えば、音楽データが入っている“MGメモリースティック”の空き部分に、画像データを記録することもできます。

“MGメモリースティック”をご購入の際は下記1のマークのついた“MGメモリースティック”を、一般の“メモリースティック”をご購入の際は、下記2のマークのついた“メモリースティック”をお買い求めください。

1

2

MagicGate（マジックゲート）とは？

マジックゲートは、“MGメモリースティック”と対応機器（本機など）に搭載している著作権保護技術です。対応機器と“MGメモリースティックの間でお互いが著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

ご注意

“メモリースティック”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “メモリースティック”の端子部に手や金属で触れないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- メモリースティックランプが点灯中に“メモリースティック”を抜かないでください。
- マジックゲートによって著作権保護されたデータは、“MGメモリースティック”以外では扱えません。
- 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリースティックランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

OpenMGでの著作権の保護について

OpenMGとは、音楽コンテンツの著作権保護の仕組みとして、ソニーが開発した著作権保護技術です。

著作権保護された音楽コンテンツをコンピュータで取り扱うために、OpenMGは高度な暗号化技術を用いています。

付属の「SonicStage」ソフトウェアは、SDMI(Secure Digital Music Initiative)の規格にも準拠しており、著作権保護が必要なデジタル音楽コンテンツを、OpenMG特有の方式で暗号化されたファイルで管理しています。

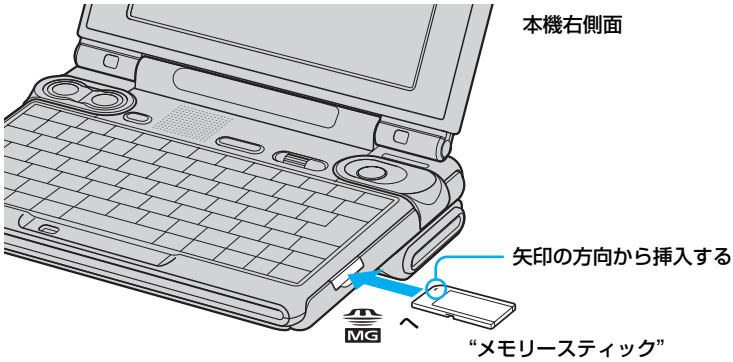
このため、従来の音楽の楽しみかたと少し性質が異なる部分もありますが、デジタルネットワーク時代に対応した音楽の新しい楽しみかたを発見していただけることでしょう。

詳しくは、「SonicStage」のヘルプを開き、「概要」の「OpenMGとは」をご覧ください。

“メモリースティック”を入れる／取り出す

“メモリースティック”を入れるには

“メモリースティック”を本機右側面の（メモリースティック）スロットに差し込みます。正しく挿入するとカチッと音がしてスロット内のコネクタに接続されます。



“メモリースティック”を挿入すると、「Sony MemoryStick-MG（＊:）」と表示されます。表示されない場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［マイ コンピュータ］をクリックして、「Sony MemoryStick-MG（＊:）」と表示されていることを確認してください。［Sony MemoryStick-MG（＊:）］をダブルクリックすると、“メモリースティック”の内容が表示されます。

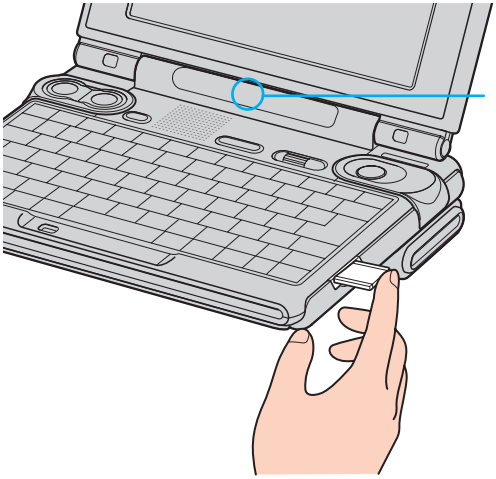
＊ここに表示される“メモリースティック”のドライブ文字は、本機の使用環境に応じて変わる場合があります。

ご注意

- 差し込む際は、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体が破損する恐れがあります。
- 「PowerPanel」でプロファイルのパワーマネージメント設定項目の「メモリースティックポート節電」を「オン」に設定しているときは、ドライブの認識にしばらく時間がかかります。（174ページ）
  また、“メモリースティック”を取り出すとドライブのアイコンが表示されなくなりますが、再度挿入すると表示されます。

“メモリースティック”を取り出すには

使用中の“メモリースティック”のファイルを閉じ (メモリースティック) ランプが点灯していないことを確認してから“メモリースティック”を奥まで押し込みます。いったん手を離し、“メモリースティック”を引き抜いてください。



ご注意

- (メモリースティック) ランプが点灯しているときに“メモリースティック”を取り出さないでください。データが失われるおそれがあります。画像ファイルなどの大容量データの読み出しに時間がかかる場合がありますので、“メモリースティック”を取り出す際はご注意ください。
- “メモリースティック”が取り出せないときは、もう1度奥まで押し込んでいったん離し、“メモリースティック”を取り出してください。

“MGメモリースティック”を使う

本機に付属の「SonicStage」ソフトウェアを使うことで、著作権保護された音楽データなどを“MGメモリースティック”に転送（チェックアウト）することや移動することができます。
チェックアウトしたデータは、ソニー製メモリースティックウォークマンなどの“MGメモリースティック”に対応したポータブルプレーヤーで再生することができます。
また、他のコンピュータでチェックアウトした音楽データを、本機で再生することもできます。
「SonicStage」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」のヘルプをご覧ください。

チェックイン／チェックアウトとは？

「SonicStage」などOpenMG対応ソフトウェアで管理している音楽データを、コンピュータからポータブルプレーヤー（“MGメモリースティック”やメモリースティックウォークマンなど）に転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データをもとのコンピュータに戻すことを「チェックイン」と言います。
（チェックアウトしたデータを他のコンピュータにチェックインすることはできません。）1度チェックアウトしたデータをチェックインによりコンピュータに戻したあと、再びチェックアウトすることも可能です。
特別に利用方法に関する条件が付加された音楽データを除き、SDMI（Secure Digital Music Initiative）の基本ルールでは音楽データは1回のコピーで4部まで作成可能なため、1部はコンピュータ内部に保存され、残りの3部はポータブルプレーヤーへチェックアウトできます。

曲の移動とは？

コンピュータと“MGメモリースティック”との間で、音楽データ（曲）を移すことを言います。

その際は、音楽データだけでなく、付加された権利情報やさまざまな曲情報も一緒に移されます。

“MGメモリーティック”対応の機器で、“MGメモリースティック”に直接取り込んだ曲を、お使いのコンピュータの「SonicStage」ソフトウェアに移したいときなどに利用します。

音楽データのチェックイン／チェックアウトが「権利情報で決められた利用条件の範囲内で、曲データのコピーなどを行う」のに対し、曲の移動では、曲に関するすべての情報が移動元から移動先へと移ります。曲の移動元には、曲に関する情報が残りません。

また、音楽配信サービスなどを利用して“MGメモリースティック”に直接取り込んだ曲を、「SonicStage」に移動することもできます。

曲の移動後は、移動前にチェックアウトした分の権利を元に戻せなくなります。そのため、曲の移動前にはあらかじめチェックインを行い、残りチェックアウト回数を元に戻しておくことをおすすめします。

ご注意

- 著作権保護された音楽データを“MGメモリースティック”以外の“メモリースティック”にチェックアウトすることはできません。
- 「SonicStage」から“MGメモリースティック”にチェックアウトしたデータは、「Hifiフォルダ」というフォルダにまとまって入っています。
  Hifiフォルダは、エクスプローラなど「SonicStage」以外では絶対に編集しないでください。編集したデータは再生やチェックインができません。また、編集した場合に損失したデータの補償はいたしかねます。
- 「SonicStage」と「RealJukebox」を同時に起動しないでください。本機や外部機器、“MGメモリースティック”内に収録された音楽ファイルが壊れ、正常に再生できなくなる場合があります。
- すでにデータが書き込まれている“MGメモリースティック”をフォーマットすると、音楽データも含めすべてのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようご注意ください。なお、フォーマットによって損失した音楽データの補償はいたしかねます。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機および“MGメモリースティック”などの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償はいたしかねます。

次のページにつづく

- 付属のリカバリ CDを使って本機を再セットアップした場合やシステムクラッシュなどの問題が起きた場合、修理・交換対応した場合には、取り込んだ音楽ファイルが失われることがあります。音楽ファイルはバックアップが可能です。バックアップについて詳しくは、「SonicStage」のヘルプをご覧ください。
- 「RealJukebox」は、“MGメモリースティック”や外部機器に収録された「曲の移動 *」に対応した音楽ファイルを、本機のハードディスクに移動する機能には対応していません。
  「RealJukebox」を使って、“MGメモリースティック”や外部機器に収録された「曲の移動」に対応した音楽ファイルを削除してしまうと、データが完全に消去されてしまいますので、ご注意ください。
  「曲の移動」に対応した音楽ファイルを操作する場合は、「SonicStage」をお使いください。
  * 「曲の移動」について詳しくは、「SonicStage」のヘルプを開き、「外部機器・メディアの曲を操作する」の「MGメモリースティックからコンピュータに曲を移動する」をご覧ください。
- 「RealJukebox」は、OpenMGに対応した音楽配信サービスからダウンロードされた音楽ファイルを本機で再生することは可能ですが、外部機器やメディアへチェックアウトすることはできません。
  音楽配信サービスをお使いになる場合には、「SonicStage」をお使いください。

データを書き込み禁止にする

大切なデータを誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを動かして、“メモリースティック”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

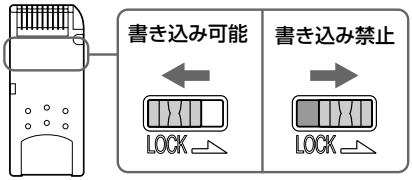
❑ 書き込み可能

データの書き込みが可能な状態です。

❑ 書き込み禁止

タブを矢印方向にスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。
データの読み出しはできますが、書き込みはできません。
“メモリースティック”の種類によっては、タブの形状が異なる場合があります。

“メモリースティック”裏面



“メモリースティック”を初期化する

“メモリースティック”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。
フォーマット（初期化）が必要な場合は、必ず“メモリースティック”専用機器で行ってください。
本機で“メモリースティック”を再フォーマットするときは、下記の手順に従って行ってください。
なお、“メモリースティック”のフォーマットは、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみが行えます。

ご注意

- すでにデータが書き込まれている“メモリースティック”をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようにご注意ください。
- 「PowerPanel」でプロファイルのパワーマネージメント設定項目の「メモリースティックポート節電」を「オン」に設定しているときは、ドライブの認識にしばらく時間がかかります。（174ページ）
  また、“メモリースティック”を取り出すとドライブのアイコンが表示されなくなりますが、再度挿入すると表示されます。

1 フォーマットしたい“メモリースティック”をメモリースティックスロットに入れる。
入れかたについては78ページをご覧ください。

2 [Sony MemoryStick-MG（＊:)] を右クリックし、[フォーマット] をクリックする。
フォーマットの画面が表示されます。

3 [開始] をクリックする。

4 [OK] をクリックする。
“メモリースティック”がフォーマットされます。

5 フォーマットが完了したら、[OK] をクリックする。

6 [閉じる] をクリックする。

＊ ここに表示される“メモリースティック”のドライブ文字は、本機の使用環境に応じて変わる場合があります。

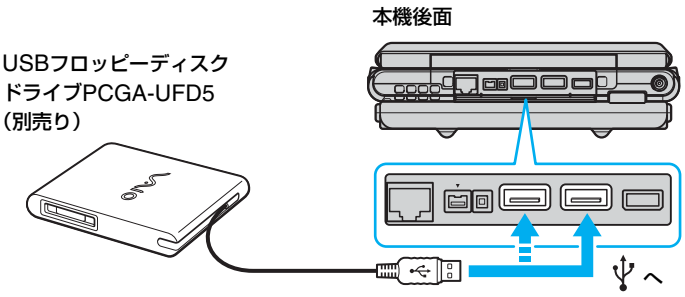
フロッピーディスクを使う

本機には、本機専用のUSBフロッピーディスクドライブ PCGA-UFD5（別売り）をつなぐことができます。
USBフロッピーディスクドライブは、本機の電源を入れたままで取り付け／取りはずすことができます。
ただし取りはずす際は、「フロッピーディスクドライブを取りはずすには」（85ページ）の手順に従って操作してください。

フロッピーディスクドライブを取り付ける／取りはずす

フロッピーディスクドライブを取り付けるには

別売りのUSBフロッピーディスクドライブを本機の（USB）コネクタに接続します。



接続すると、USBフロッピーディスクドライブは自動的に認識されます。

ご注意

USBコネクタ部に力が加わると本機故障の原因となります。
USBフロッピーディスクドライブをお使いになるときは、USBコネクタ部に力が加わらないようにドライブを設置してください。

フロッピーディスクドライブを取りはずすには

ご注意

- 本機の電源が入っているときにUSBフロッピーディスクドライブを取りはずすときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取りはずしかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、そのまま本機のコネクタからUSBフロッピーディスクドライブを抜いてください。
- 使用中のフロッピーディスクのファイルを閉じ、USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプ（86ページ）が点滅していないことを確認してから、取りはずしてください。

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。**

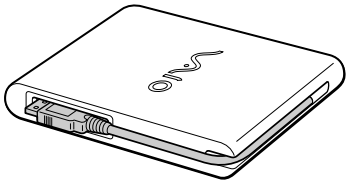
2 **リストから［Y-E Data USB Floppy］を選び、［停止］をクリックする。**

3 **確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［OK］をクリックする。**

4 **通知領域に「……は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、本機のコネクタからUSBフロッピーディスクドライブを抜く。**

フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときは

取りはずしたあとは、ケーブルをUSBフロッピーディスクドライブ側面にはめ込むと、ケーブルが邪魔になりません。



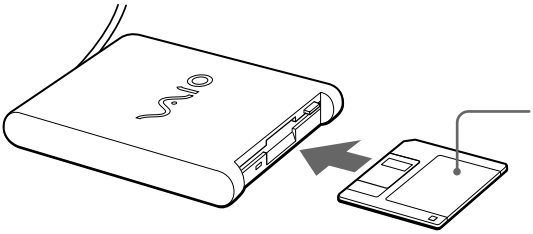
フロッピーディスクを入れる／取り出す

フロッピーディスクを入れるには

本機で使うフロッピーディスクは、あらかじめ初期化しておく必要があります。詳しくは、「フロッピーディスクを初期化する」（88ページ）をご覧ください。市販の「DOS/V 1.44MB フォーマット済」フロッピーディスクの場合は、あらかじめ初期化されているので、すぐに使うことができます。その他、本機で使えるフロッピーディスクについて詳しくは、「使用できるフロッピーディスク」（89ページ）をご覧ください。

1 **フロッピーディスクドライブを取り付ける。**
取り付けかたについては84ページをご覧ください。

2 **フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに入れる。**

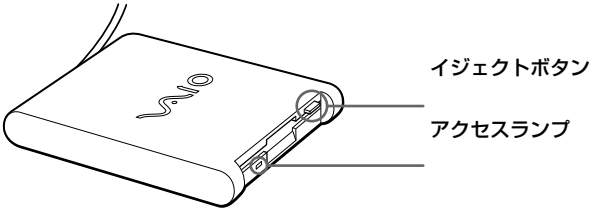


フロッピーディスクを取り出すには

使用中のフロッピーディスクのファイルを閉じ、USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯していないことを確認してから、イジェクトボタンを押します。

ご注意

アクセスランプが点灯しているときにイジェクトボタンを押すと、ディスクおよびデータの破損の原因となります。



イジェクトボタンを押してもフロッピーディスクが取り出せないときは

USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

フロッピーディスクにデータを保存する

フロッピーディスクに文書ファイルなどのデータを保存するには、以下の手順に従ってください。

1 **フロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブに入れる。**
入れかたについては86ページをご覧ください。

2 **［スタート］ボタンをクリックして［マイコンピュータ］をクリックする。**
「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

3 **［3.5インチFD（A:)］をダブルクリックする。**
「3.5インチFD（A:)」画面が表示されます。

4 **フロッピーディスクに保存したいデータのアイコンを、「3.5インチFD（A:)」画面にドラッグアンドドロップする。**

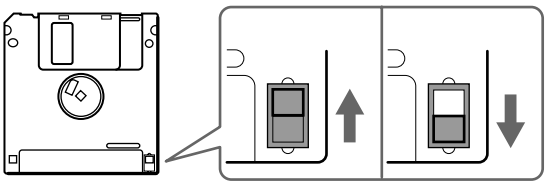
フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする

フロッピーディスクには書き込み禁止のタブがついています。このタブを上下に動かして、フロッピーディスクを書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

❑ 書き込み可能
データの書き込みが可能な状態です。

❑ 書き込み禁止
穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。データの読み出しはできますが、書き込みはできません。

フロッピーディスク裏面



書き込み可能　書き込み禁止

フロッピーディスクを初期化する

新しいフロッピーディスクを使うには、「初期化」（「フォーマット」ともいう）という作業が必要です。
「DOS/V 1.44 MBフォーマット済」などと書かれた、すでに初期化されたフロッピーディスクも市販されているので、これをお買い求めになれば、すぐに使うことができます。

ご注意

すでにデータが書き込まれているフロッピーディスクを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようご注意ください。

1 **初期化したいフロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブに入れる。**
入れかたについては86ページをご覧ください。

2 **［スタート］ボタンをクリックして［マイコンピュータ］をクリックする。**
「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

3 **［3.5インチFD（A:）］を右クリックし、［フォーマット］をクリックする。**
フォーマットの画面が表示されます。

4 **［開始］をクリックする。**

5 **［OK］をクリックする。**
フロッピーディスクが初期化されます。

6 **初期化が完了したら、［OK］をクリックする。**

7 **［閉じる］をクリックする。**

使用できるフロッピーディスク

DOS/V 3.5 型フロッピーディスクには、2HD（両面高密度）タイプと2DD（両面倍密度倍トラック）タイプのものがあり、フォーマットによって2HD 1.44 Mバイト、2DD 720 Kバイトの2種類に分けることができます。本機はこれらのフロッピーディスクに対応しています。

種類	本機でできること
2HD 1.44 Mバイト	フォーマット、読み書きともに可。
2DD 720 Kバイト	読み書きともに可。

ご注意

- データを保存するときは、2HD 1.44 Mバイトまたは2DD 720 Kバイトタイプのフロッピーディスクをご使用ください。
- コンピュータのフロッピーディスクドライブの種類によって、使えるフロッピーディスクが異なります。他のコンピュータとデータのやりとりをする場合は、下記のフロッピーディスクをご使用ください。

データをやりとりしたいコンピュータのフロッピーディスクドライブの種類	使用するフロッピーディスク
1.44 Mバイトのフロッピーディスクドライブ	2HD 1.44 Mバイトまたは2DD 720 Kバイト
1.2 Mバイトのフロッピーディスクドライブ	2DD 720 Kバイト

CDなどのディスクを使う

本機には、下記のいずれかの専用ドライブをつなぐことができます。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブによっては、ソフトウェアのインストールが必要なものもあります。詳しくはお使いになる専用ドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。

- CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

ご注意

- 接続のしかたや使いかたは、お使いになる専用ドライブによって異なります。詳しくは、専用ドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 上記の専用ドライブ以外では本機で使用できないものもあります。詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご確認ください。
- 本機で音楽CDを聞くには、上記の専用ドライブが必要です。
- コンピュータは常にi.LINKの接続状態を監視しており、i.LINK対応機器の接続、取りはずし、電源の入／切が行われると、優先的にこれに対応した処理（バスリセット）を行います。そのため、データの読み書きを行っているときにバスリセットが行われると、データが破損したり、消去されることがあります。i.LINK接続のドライブの取り付け／取りはずしを行うときは、起動中のソフトウェアを終了させてから行ってください。
- i.LINK接続のドライブとPCカード接続のドライブを同時に接続してご使用にならないでください。本機の故障の原因になります。

CD-ROMドライブなどを取り付ける

ドライブはi.LINKまたはPCカードを使って本機とやりとりします。
i.LINK接続のドライブをお使いの場合は「i.LINK接続のドライブを取り付けるには」、PCカード接続のドライブをお使いの場合は「PCカード接続のドライブを取り付けるには」（92ページ）をご覧ください。

i.LINK接続のドライブを取り付けるには

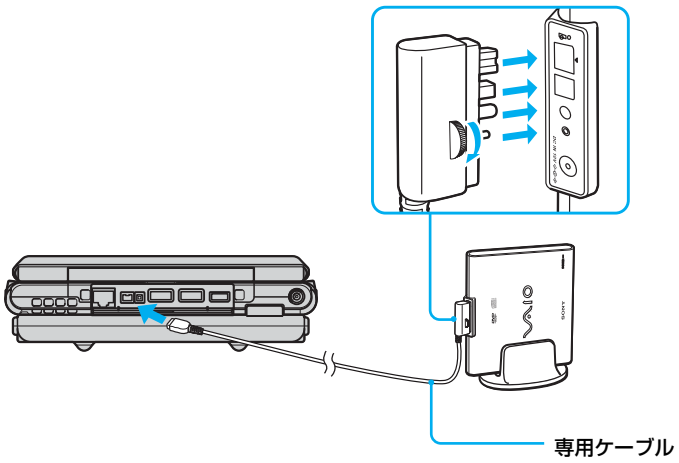
ご注意

- 本機に始めてドライブを接続したときは、ドライブを認識するまでにしばらく時間がかかります。
- 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、PCGA-CRWD1などのi.LINK接続のドライブは使用できません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。（172ページ）

1 ドライブに付属のバイオ関連製品専用ケーブル（80cm）*のL字型側にある突起部を、ドライブ後面のコネクタ類の穴に合わせて差し込み、ネジを回して固定する。

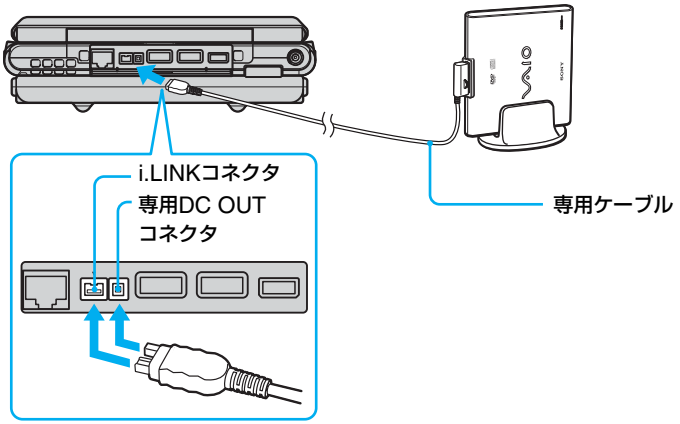
ネジは、止まるまで回してください。

* 以降、専用ケーブルと略します。



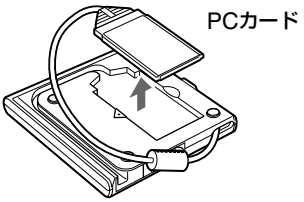
次のページにつづく

2 ドライブに付属の専用ケーブルのストレート型側を、本機の i.LINKコネクタと専用DC OUTコネクタに合わせて差し込む。



PCカード接続のドライブを取り付けるには

1 ドライブの底面からPCカードをはずす。

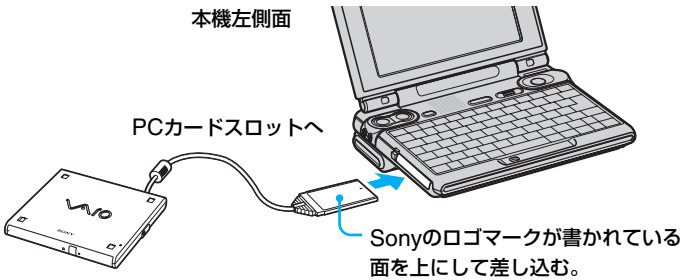


2 PCカードを本機に取り付ける。

PCカードのSonyのロゴマークが書かれている面を上にして取り付けます。スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。

カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。

「マイ コンピュータ」画面内にドライブのアイコンが表示されます。



CD-ROMドライブなどを取りはずす

i.LINK接続のドライブを取りはずすには

ドライブのトレイが閉じていることや起動中のソフトウェアがないこと、ドライブにOSやソフトウェアがアクセスしていないことを確認して、専用ケーブルを抜いてください。

PCカード接続のドライブを取りはずすには

「PCカードを取り出す」（161ページ）の手順に従ってPCカードを取り出します。

ご注意

- ドライブのトレイにディスクが入っていないことを確認してから取りはずしてください。
- イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せないときは、ドライブ底面のピンをマニュアルイジェクト穴に押し込んでください。詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

音楽CDを再生する

ここでは「SonicStage」ソフトウェアで音楽CDを再生する方法を簡単に説明します。

音楽CDの再生のしかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

なお、本機で音楽CDを再生するには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは「CD-ROMドライブなどを取り付ける」（91ページ）および、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

制限ユーザーでご使用中の場合は「SonicStage」ソフトウェアを起動することはできません。

次のページにつづく

1 **再生したい音楽CDをドライブに入れる。**

音楽CDを再生するソフトウェアを選ぶ画面が表示されます。

2 **「オーディオCDの再生 SonicStage使用」を選んで、[OK] をクリックする。**

「SonicStage」ソフトウェアが起動し、CD再生画面が表示されます。

- [常に選択した動作を行う] をクリックしてチェックすると、次回音楽CDを入れたときに「SonicStage」ソフトウェアが自動的に起動します。
- 「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを再生するときは、「SonicStage 再生設定の確認」画面が表示されます。[はい] をクリックし、「CDドライブチェック」画面で [チェック開始] をクリックすると、CDドライブのチェックが始まります。CD録音や再生を正しく行うために、必ずチェックを行ってください。

3 **CD再生画面の をクリックする。**

音楽CDの1曲目から再生が始まります。

すでにCDを挿入しているときなど、自動的にCD再生画面が表示されない場合は、デスクトップ画面左下の [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [SonicStage] → [SonicStage] を順にクリックしてください。「SonicStage」画面の をクリックすると、CD再生画面が表示されます。

再生を中止するには

CD再生画面の をクリックする。

再生を一時停止にするには

CD再生画面の をクリックする。

再生を再開したいときは、もう1度 をクリックするか、 をクリックします。

本機には音楽ファイル管理再生ソフトウェアとして、「Windows Media Player」、「RealJukebox」、「SonicStage」の3種類が付属しています。
どのソフトウェアでも、音楽CDや音楽ファイルの再生が可能です。それぞれのソフトウェアには次のような特長があります。

- Windows Media Player
  音楽・動画再生ソフトウェアです。音楽CDを手軽に再生するときなどに便利です。WMA、MP3、MIDIなど、さまざまな形式の音楽ファイルの再生にも対応しています。
  また、インターネットを利用してストリーミング動画配信サービスを楽しむためにも適しているソフトウェアです。
- RealJukebox
  音楽CDをハードディスクに取り込んで管理したり、音楽CDに関する音楽情報を見るのに適しているソフトウェアです。
- SonicStage
  音楽CDの再生はもちろんのこと、音楽CDをハードディスクに録音する機能や、EMD（インターネットによる音楽配信）サービスを利用して、インターネットからダウンロードした音楽データを本機で再生したり、OpenMGに対応したソニー製のポータブルプレーヤーに音楽ファイルを転送（チェックアウト）して楽しむのに適したソフトウェアです。
  「SonicStage」上で蓄積した音楽データは、「MusicShaker」など、他のソニー製ソフトウェアでさまざまに活用することができます。

ご注意

- 「RealJukebox」ソフトウェアで音楽CDをお使いになるときは、「RealJukebox」を起動する前にあらかじめ下記のいずれかの専用ドライブを取り付けておいてください。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。
  専用ドライブの使いかたについて詳しくは、ドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。
  また、「RealJukebox」の起動中はドライブの着脱を行わないでください。
  「RealJukebox」が不正に終了することがあります。
  – CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
  – DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
  – CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

次のページにつづく

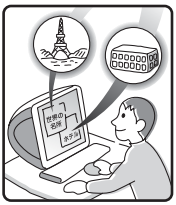
- CD-ROMドライブPCGA-CD51/Aをお使いの場合、音楽CDを再生すると、音飛びが発生する場合があります。
  そのときは、下記手順をお試しください。
  - 「Windows Media Player」の場合
    ①「ツール」メニューから［オプション］を選ぶ。
    ②［デバイス］タブをクリックして、「デバイス」欄にある［お使いのドライブ］をダブルクリックする。
    ③「再生」欄の［エラー訂正を使う］チェックボックスをクリックしてチェックする。
    ④［OK］をクリックする。
  - 「SonicStage」の場合
    ①「ツール」メニューから［設定］を選ぶ。
    ②［CD録音/再生2］タブをクリックして、「CD再生方式」の右にある［設定］をクリックする。
    ③［MCI］をクリックしてチェックする。
    ④［OK］をクリックする。

インターネットに接続する

インターネットとは

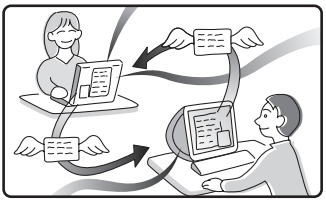
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。ここではインターネットでできることを簡単に紹介します。

ホームページを見る



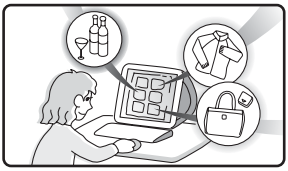
世界の景色を見る。
ホテルや乗物の予約をする。
調べたい情報を検索する。
趣味の仲間をさがす。
すべてが地球規模です。

電子メールをやりとりする



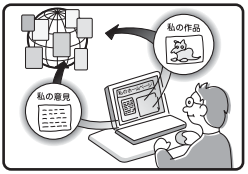
世界各国に時間を
気にすることなく
好きなときに、
電子メールを送れます。

オンラインショッピングをする



食べ物や衣類など、
家に居ながら遠く離れた外国でも
行きつけのお店の感覚で
買い物ができます。

情報を発信する



自分の意見を発言する。
趣味の仲間をつのる。
絵や文芸作品を発表する。
仕事の広告を出す。
世界中が読者です。

インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには以下のものが必要です。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア（「ウェブブラウザ」と言います。）が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には以下のソフトウェアが付属しています。

❑ ウェブブラウザ

Microsoft Internet Explorer

❑ 電子メールソフトウェア

Outlook Express

これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「付属ソフトウェア一覧」（227ページ）の各ソフトウェアの紹介をご覧ください。

インターネット接続サービス

インターネット接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」（ISP）または単に「プロバイダ」と言います。（以下、プロバイダと記します。）
プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、ホームページを見たり、電子メールを送受信することができます。
また、ADSLなどインターネットに高速で常時接続するブロードバンド接続サービスを利用するには、それらのサービスを提供している接続業者へ申し込むことが必要です。接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約する接続業者にお問い合わせください。

インターネット上のトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。
インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。
ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。
また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。
ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス（コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム）が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。
見知らぬ人から電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、プログラムを実行せずに削除してください。
また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。
ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。
また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信用のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。

知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続する

本機はさまざまな通信方法に対応しており、ご家庭や外出先などお使いになる環境にあわせて通信方法を選ぶことができます。契約したプロバイダから送られてくる資料やお使いになる通信機器の取扱説明書をご覧になり、接続するための設定を行ってください。

ここでは本機の NETWORK（ネットワーク）コネクタを使った、代表的な接続例をご紹介します。

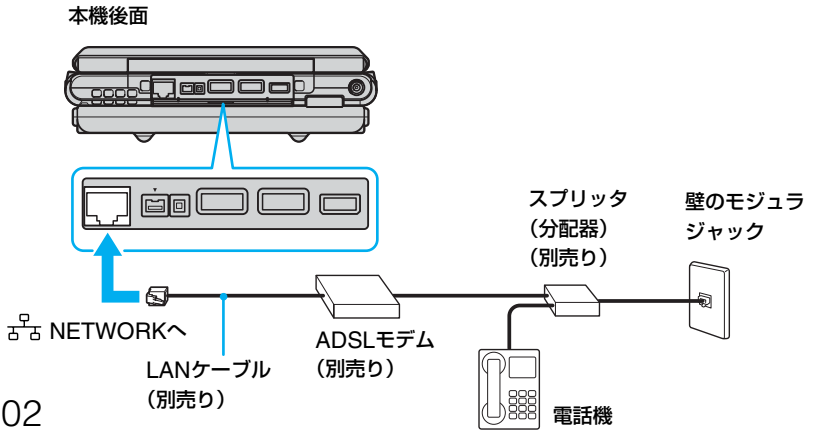
NETWORK（ネットワーク）コネクタを使えば、ADSLなどインターネットに高速で常時接続するブロードバンド接続サービスを利用することができます。これらのサービスを利用するには、サービスを提供している接続業者に申し込むことが必要です。接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約する接続業者にお問い合わせください。

ご注意

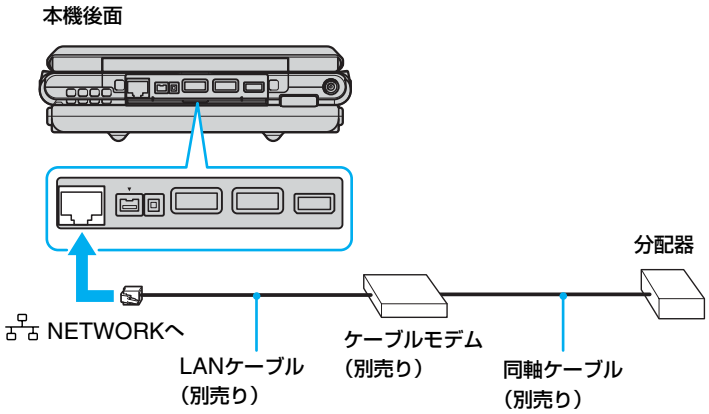
本機の NETWORK（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障の原因になります。特に、ホームテレホンやビジネスホンなどの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

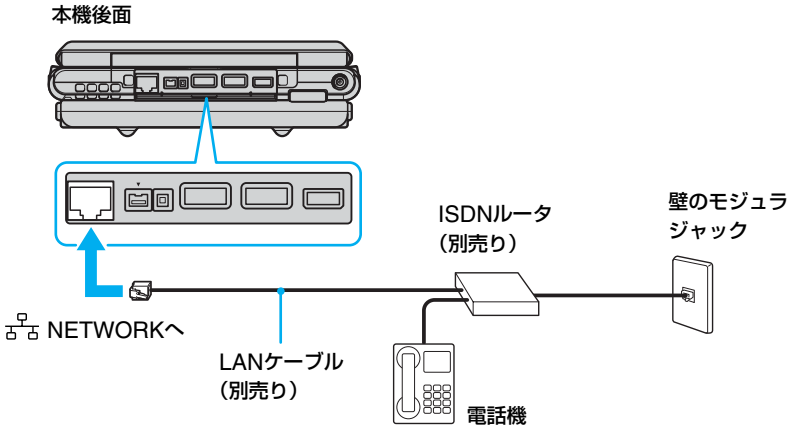
ADSLモデムにつなぐ場合



ケーブルモデムにつなぐ場合



ISDNルータにつなぐ場合



別売りのモデムカードやPHSカードなどを介してインターネットに接続することもできます。詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機は内蔵モデムを搭載しておりません。
- プロバイダによってはCD-ROMを使って設定する場合があり、その際は別売りの専用ドライブ（90ページ）が必要です。
  また接続する際、LANケーブルなどお客様ご自身でご用意していただくものがあります。詳しくは、契約したプロバイダなどから送られてくる資料をご覧ください。

なお、「FlyingPointer」ソフトウェアでファイル交換する場合に、他のコンピュータと接続するには、HUBやブロードバンドルーター、LANケーブルなどが必要になることがあります。詳しくは「コンピュータをネットワークに接続する」（134ページ）をご覧ください。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

次の操作をする前に、デスクトップ画面右下の通知領域に が表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、次の操作を行うと、「新しい接続ウィザード」が起動します。インターネットに接続し、 を表示させてください。詳しくは、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

[1]「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

1 デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして、［インターネット］をクリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。

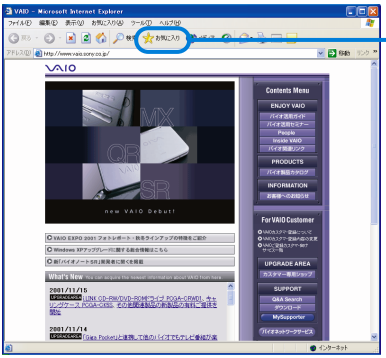
ホームページが表示されなかった場合は、「困ったときは：インターネット」(205ページ) をご覧ください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

[2] 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

1 **画面上部の［お気に入り］をクリックする。**



メニューが表示されます。

2 **［バイオを楽しむためのサイト］にポインタを合わせ、［VAIOホームページ］→［SUPPORT（サービス・サポート情報）］の順にクリックする。**

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

[3] ホームページのURLを入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）を見てみます。

1 **アドレスバーに「http://vcl.vaio.sony.co.jp/」と入力する。**

2 **キーボードのEnter（エンター）キーを押す。**
VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

[4] リンクをたどる

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。
ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

1 **ワイドスティックに触れて指を動かし、（ポインタ）を［ENJOY VAIO］に移動して、に変わったらクリックする。**
ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

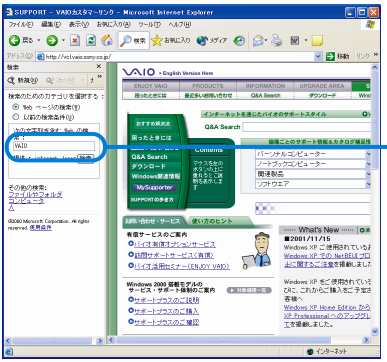
ホームページの中で、（ポインタ）がに変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

[5] 目的のホームページを検索して見る

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。
ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

1 **ツールバーの［検索］をクリックする。**
検索画面が表示されます。

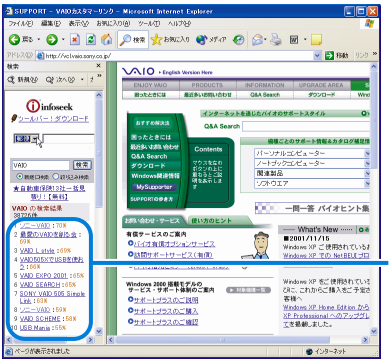
2 **検索画面の中央上にある の中に「VAIO」と入力する。**



3 **［検索］をクリックする。**

該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

4 **見たいホームページをクリックする。**



クリックしたホームページが表示されます。

［6］ よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。

ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

1 **アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。**

2 **キーボードのEnter（エンター）キーを押す。**

Sony online Japanのホームページが表示されます。

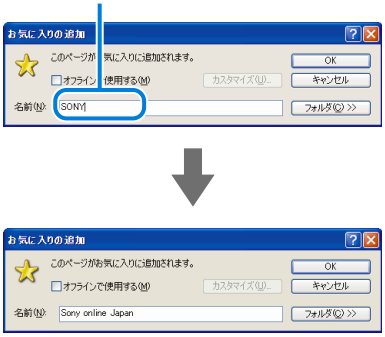
3 **メニューバーの［お気に入り］をクリックし、次に［お気に入りに追加］をクリックする。**

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4 「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、［OK］をクリックする。

ここでは「Sony online Japan」と入力します。

ここに「Sony online Japan」と入力する。



Sony online Japanホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

［7］「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の［ファイル］にポインタを合わせ、クリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 ［閉じる］にポインタを合わせ、クリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わった後などは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、「Microsoft Internet Explorer」画面上部の［ヘルプ］をクリックしてください。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

[1]「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

1 デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

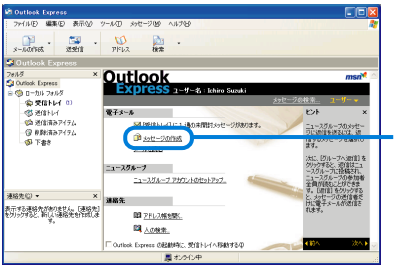
「ダイヤルアップの接続」画面で［キャンセル］をクリックするとオフライン作業となります。

[2] 電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

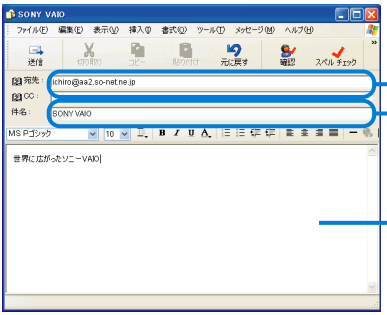
1 ［メッセージの作成］をクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。



電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットに接続していない状態（オフライン作業）の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

2 メッセージを作成する。



ここでは、メッセージに「世界中にひろがったソニーVAIO」と入れてみます。

タイトルは「SONY VAIO」にしましょう。

3 画面左上の［ファイル］をクリックし、［オフライン作業］をクリックする。

「オフライン作業」の前のチェックマークが消えます。

4 画面左上の［送信］をクリックする。

「（ダイヤルアップ接続名）に接続中」画面が表示されたのち、［接続］をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

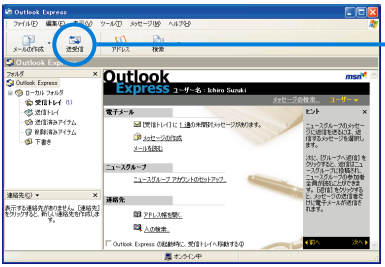
オフライン（インターネットに接続していない状態）で［送信］をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」画面左上の［送受信］をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

次のページにつづく

[3] 電子メールを受信する

手順［2］で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

1 インターネットに接続した状態で、画面左上の［送受信］をクリックする。



ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）のときは、「オフライン作業しています。オンラインに切り替えますか？」というメッセージが表示されます。この場合は、［はい］をクリックしてください。

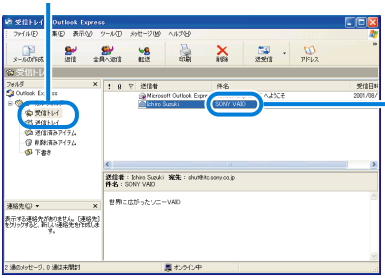
- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう（109ページ）。

[4] 受け取った電子メールを見る

手順［3］で届いた電子メールを見てみます。

1 画面左側の［受信トレイ］をクリックし、［SONY VAIO］をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。



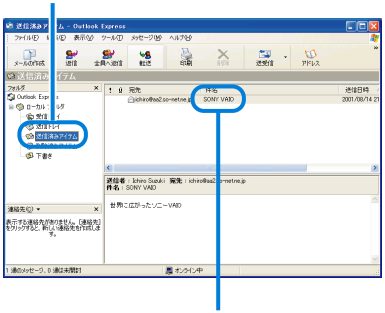
[5] 送った電子メールを見る

手順 [2] で送った電子メールを見てみます。

1 画面左側の［送信済みアイテム］をクリックし、［SONY VAIO］をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「困ったときは：インターネット」（205ページ）をご覧ください。

[6]「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の［ファイル］をクリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 ［終了］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

外出先でインターネットにアクセスする

デジタル携帯電話を使って接続するには

デジタル携帯電話が使えるところではどこからでも、また移動中でもアクセスできますが、携帯電話にあわせた接続キットが必要です。

ご注意

接続キットや接続のしかたについて詳しくは、お使いのデジタル携帯電話の電話会社にお問い合わせください。

PHSを使って接続するには

通信速度が速く、PHSが使えるところではどこからでもアクセスできますが、PHSにあわせた接続キットが必要です。また、PIAFS（ピアフ）方式で接続するときは、契約しているプロバイダなどがPIAFSに対応している必要があります。

ご注意

- 接続キットや接続のしかたについて詳しくは、電話会社にお問い合わせください。本機のPCカードスロットに直接装着できるPHSもあります。
- PIAFS方式でアクセスするときは、接続しようとしている電話番号がPIAFS方式に対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。

モデムカードを使って接続するには

本機のPCカードスロットに市販のモデムカードを装着すれば、電話回線や携帯電話につなげるところではどこからでもアクセスできます。

ご注意

接続や設定のしかたについて詳しくは、モデムカードのメーカーにお問い合わせください。

VAIOを楽しむ

「ThumbPhrase」ソフトウェアで文字を入力する

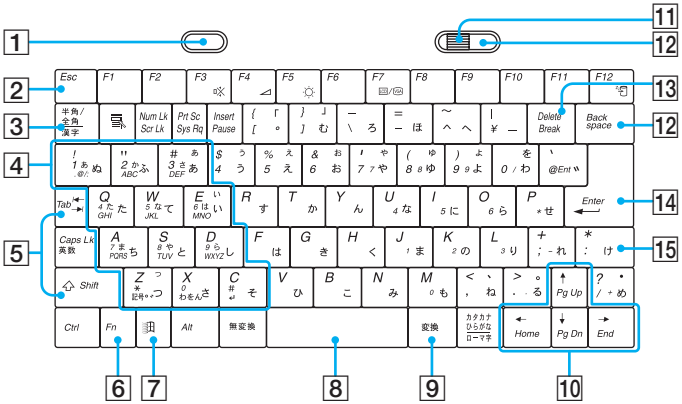
付属の「ThumbPhrase」ソフトウェアは、携帯電話のように簡単なキー操作で文字入力ができるソフトウェアです。本機を両手に持った状態（モバイルグリップスタイル）で入力できますので、屋外でも気軽に操作することができます。

また、「ThumbPhrase」ソフトウェアは予測変換機能により、入力された文字から変換候補を予測して表示します。

予測変換は学習機能を備えていますので、一度入力した文字は次回から優先して変換候補に表示されます。使えば使うほどジョグダイヤルによる変換文字の選択をスムーズにし、キー入力が少ない文章作成を可能にします。

使用するキーやボタン

「ThumbPhrase」起動中に機能するキーやボタンは以下の通りです。他のキーは押しても動作しません。（ただし、Fnキー、Windowsキーとあわせて押した場合に限り動作するものがあります。）



1 ThumbPhraseボタン

「ThumbPhrase」の起動や終了を行います。

2 ESCキー

入力中表示部の文字を全て削除します。

3 半角/全角キー、カタカナ/ひらがなキー

入力する文字の種類を切り替えます。

4 文字入力キー

携帯電話と同じ方法で文字を入力します。

キーボード上でオレンジ色で表記されているキーと1、2、3キーが有効になります。

5 Tabキー＋Shiftキー

Tabキーを押すと入力中表示部のカーソルが右へ移動します。Shiftキーを押しながらTabキーを押すと左へ移動します。

6 Fnキー

キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。詳しくは65ページをご覧ください。

7 Windowsキー

他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。詳しくは64ページをご覧ください。

8 **スペースキー**
入力中表示部に文字が表示されている場合は、一時的に通常モードによる変換を行います。文字が表示されていない場合は、空白（スペース）を入力します。

9 **変換キー**
一時的に通常モードによる変換を行います。

10 **←→↑↓キー**
カーソルを移動します。

11 **ジョグダイヤル**
変換候補や機能の選択と決定をします。

12 **BACKボタン、Back space キー**
カーソル位置の文字を消去します。カーソルが文字列の最後の位置にあるときは、直前の文字を消去します。押し続けると、文字を連続して消去します。

13 **Deleteキー**
カーソル位置の文字を消去します。押し続けると、文字を連続して消去します。

14 **Enterキー**
選んだ変換候補を決定します。

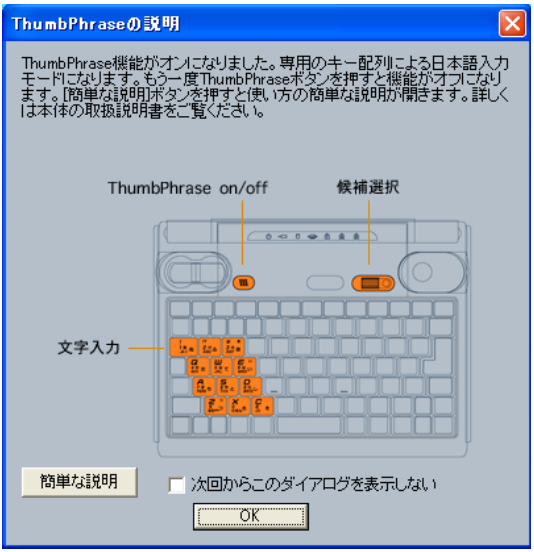
15 **「:」キー**
文字の変換順序を逆周りします。

「ThumbPhrase」ソフトウェアを起動する／終了する

「ThumbPhrase」ソフトウェアを起動するには

1 ThumbPhraseボタンを押す。

「ThumbPhrase機能の説明」画面が表示されます。



2 「OK」をクリックする。

「ThumbPhrase」が起動し、「ThumbPhrase」入力画面が表示されます。

- 「簡単な説明」をクリックすると、「ThumbPhrase」についての説明をご覧になれます。
- 「次回からこのダイアログを表示しない」をクリックしてチェックすると、次回からは直接「ThumbPhrase」を起動することができます。

「ThumbPhrase」ソフトウェアを終了するには

ThumbPhraseボタンを押して入力画面を閉じます。

入力画面右上の （120ページ）をクリックしても終了できます。

「ThumbPhrase」入力画面

1 入力中表示部
入力中の文字を表示します。

2 変換候補表示部
文字の変換候補をリスト表示します。

3 [閉じる] ボタン
「ThumbPhrase」ソフトウェアを終了します。

4 [ヘルプ] ボタン
オンラインヘルプを表示します。

5 文字モードボタン
現在の入力文字モードを表示します。クリックすることにより入力文字モードを変更できます。
（121ページ）

入力文字モードを切り替える

以下の種類の入力文字モードがあります。
ひらがな（漢字・ひらがな）、全角カタカナ、半角カタカナ、全角数字、半角数字、全角英字、半角英字、全角記号、半角記号

半角/全角 漢字 または カタカナ ひらがな ローマ字 を押すごとに入力文字モードが切り替わります。

- 入力できる文字については「文字入力割当一覧表」（131ページ）をご覧ください。
- 次の手順でも切り替えることができます。

①入力文字モードボタンをクリックする。

「文字モードの選択」画面が表示されます。

次のページにつづく

②ジョグダイヤルを回す、または↑↓キーを押して入力文字モードを選択する。

③ジョグダイヤルまたはEnterキーを押して確定する。
入力文字モードが切り替わりました。

文字を入力する

「ThumbPhrase」ソフトウェアでは予測変換機能により、変換候補を予測して表示し、表示されたリストから入力します。予測変換機能には、一度入力した文字は優先してリスト表示されるという学習機能があるので、使えば使うほどキー入力が少なくなり、ジョグダイヤルでのスムーズな文章作成ができます。

「本日の議題」と入力する場合

1 ThumbPhraseボタンを押して「ThumbPhrase」ソフトウェアを起動する。

2 文字を入力したいソフトウェアを起動し、入力位置にカーソルを移動する。

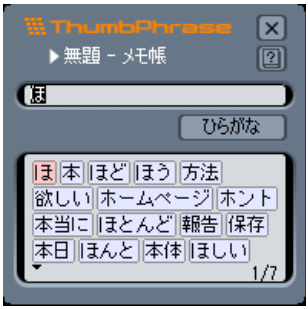
ご注意

- すでに入力したいソフトウェアを起動している場合は、入力したい位置にカーソルがあるか確認してください。
- いくつもソフトウェアを起動している場合は、入力したいソフトウェアのウィンドウを選んでいることを確認してしてください。

3 E いろはい MNO を5回押して「ほ」を入力する。

予測される変換候補が表示されます。

入力したい文字がない場合は、次の かな を入力してください。



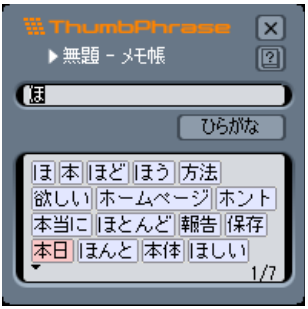
- 押しすぎた場合は、「:」キーを押すと逆周りになり、前の文字に戻ります。（118ページ）
- 文字の入力中に ← キーを押すと、カーソル位置までの文字に応じた変換候補に切り替わります。

次のページにつづく

4 ジョグダイヤルを回す、または↑↓キーを押して、入力したい文字を選ぶ。

文字候補が多い場合は、変換候補表示部の右下にページ数が表示されます。

Fnキーを押しながら↑または↓キーを押すと、次の文字候補のページに切り替わります。



目的の文字が候補にない場合、一時的に通常変換入力に切り替えて入力できます。（130ページ）

5 ジョグダイヤルまたはEnterキーを押して、文字を確定する。

確定した文字が、手順2で起動したソフトウェアの画面に入力されます。

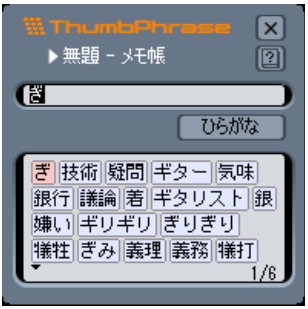
6 W を5回押して「の」を入力し、ジョグダイヤルまたはEnterキーを押して確定する。

手順5で入力した文字の続きに入力されます。

7 " を2回押し、Z を1回押して「ぎ」を入力します。

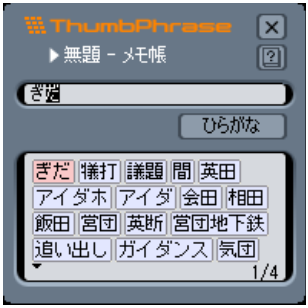
予測される変換候補が表示されます。

入力したい文字がない場合は、次の かな を入力します。



8 [Q] を1回押し、[Z] を1回押して「だ」を入力します。

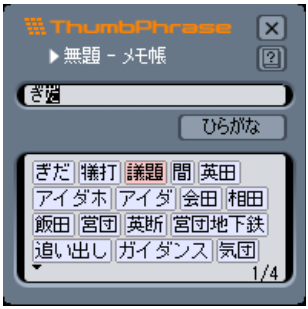
予測される変換候補が切り替わります。



9 **ジョグダイヤルを回す、または↑↓キーを押して、入力したい文字を選ぶ。**

文字候補が多い場合は、変換候補表示部の右下にページ数が表示されます。

Fnキーを押しながら↓または↑キーを押すと、次の文字候補のページに切り替わります。



10 **ジョグダイヤルまたはEnterキーを押して、文字を確定する。**

手順6で入力した文字の続きに入力されます。

濁点・半濁点を入力するには

「ば」や「ぱ」のような濁点・半濁点の文字を入力するときは、濁点・半濁点を付けることのできる文字を入力したあとに [Z] を押します。押すごとに、「ば」→「ぱ」→「は」→「ば」→…と変わります。

同じキー内の文字を続けて入力するには

「メモ」や「青（あお）」のように同じキーの文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力したら、Tabキーまたは→ キーでカーソルを右に移動させて、次の文字を入力します。

スペースを入力するには

X を数回押す（数字入力モード時を除く。131ページ）か、またはスペースキーを押します。

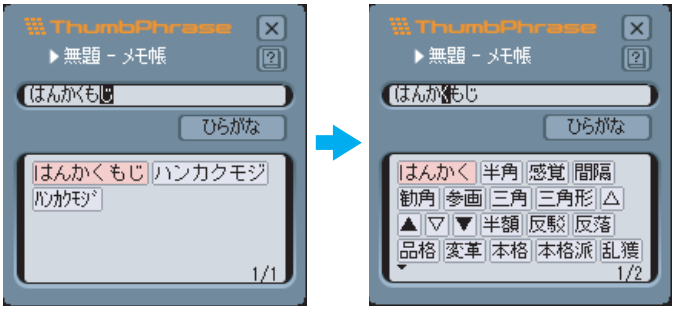
改行を入力するには

C を押します（「ThumbPhrase」入力画面の入力中表示部に文字がない場合のみ）。

文節の区切りを変更する

1 **← → キーでカーソルを文節の終わりに移動します。**

カーソル位置までの文字に応じた変換候補に切り替わります。



2 **ジョグダイヤルを回す、または ↑↓ キーを押して、入力したい文字を選ぶ。**

3 **ジョグダイヤルまたはEnterキーを押して、文字を確定する。**

確定した文字が、指定しているソフトウェアの画面に入力されます。

記号を入力する

「全角記号」「半角記号」で入力できる記号については、132ページをご覧ください。

1 半角/全角漢字 または カタカナ ひらがな ローマ字 を押して、全角記号モードにする。

2 ジョグダイヤルまたは↓↑キーを押して入力したい記号を選ぶ。

- ジョグダイヤル、↓↑キーで行を移動します。

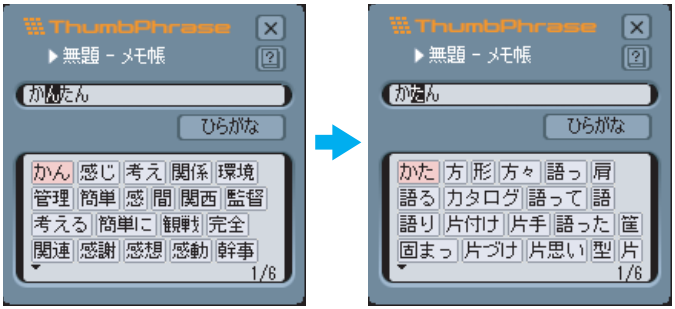
3 ジョグダイヤルまたはEnterキーを押す。

選んだ記号が、指定しているソフトウェアの画面に入力されます。

文字を消去する

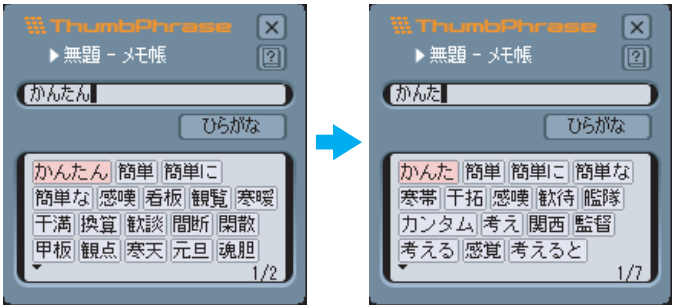
BACKボタン、Back spaceキー、Deleteキー

カーソル位置の文字を消去します。



次のページにつづく

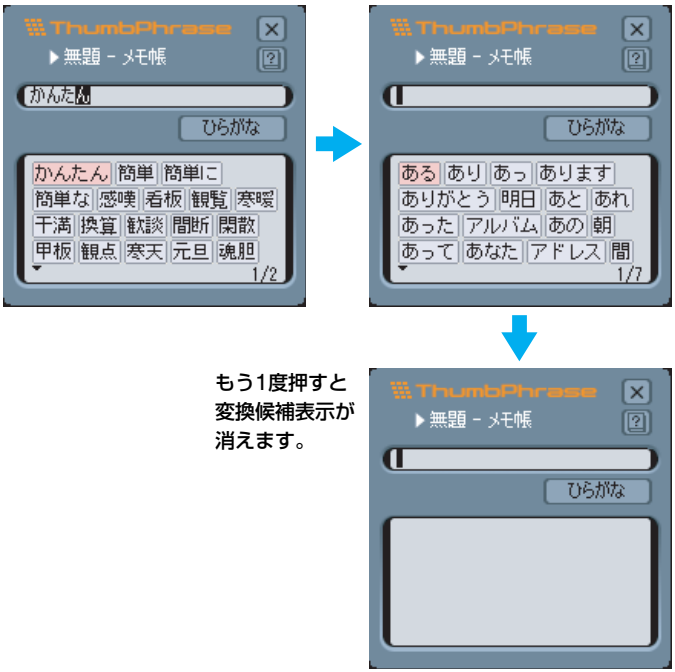
カーソル位置が文字列の最後の位置にあるときにBACKボタンまたはBack spaceキーを押すと、直前の文字を消去します。



文字が消去されると、それに応じた変換候補に切り替わります。

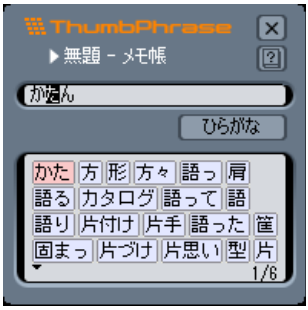
Escキー

「ThumbPhrase」入力画面の入力中表示部の文字をすべて消去します。



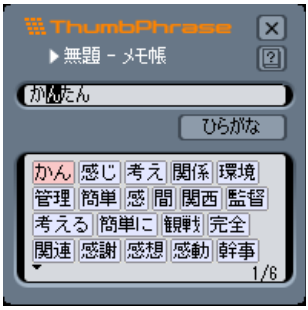
文字を挿入する

1 **カーソルを挿入したい場所の後ろの文字に移動する。**



2 **文字を入力する。**

文字が挿入されると、カーソルの位置までの文字に応じた変換候補に切り替わります。



3 **ジョグダイヤルを回す、または↓↑キーを押して、入力したい文字を選ぶ。**

文字候補が多い場合は、変換候補表示部の右下にページ数が表示されます。

Fnキーを押しながら↓または↑キーを押すと、次の文字候補のページに切り替わります。

4 **ジョグダイヤルまたはEnterキーを押す。**

選んだ文字が、指定しているソフトウェアの画面に入力されます。

通常変換で入力する

目的の文字が候補にない場合は、一時的に通常変換モードにできます。

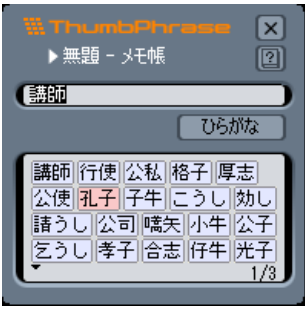
1 **変換キーを押す。**

予測変換表示が通常変換表示に変わります。

2 **ジョグダイヤルを回す、または↓↑キーを押して、入力したい文字を選ぶ。**

文字候補が多い場合は、変換候補表示部の右下にページ数が表示されます。

Fnキーを押しながら↓または↑キーを押すと、次の文字候補のページに切り替わります。



3 **ジョグダイヤルまたはEnterキーを押して、文字を確定する。**

確定した文字が、指定しているソフトウェアの画面に表示され、予測変換に戻ります。

文字入力割当一覧表

入力文字モードごとに割り当てられている文字や記号は以下の通りです。

キー／入力文字モード	漢字・ひらがな（全角）	カタカナ（全角／半角）	英字（全角／半角）	数字（全角／半角）
! 1 あ ぬ .@/:	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ｱｲｳｴｵ	．@／：	1
" 2 か ふ ABC	かきくけこ	カキクケコヵヶ （「ヵ」「ヶ」は全角入力のみ）	ａｂｃ ＡＢＣ	2
# ぁ 3 さ あ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ｄｅｆ ＤＥＦ	3
Q 4 た た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	ｇｈｉ ＧＨＩ	4
W 5 な て JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ｊｋｌ ＪＫＬ	5
E ぃ 6 は ぃ MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ｍｎｏ ＭＮＯ	6
A 7 ま ち PQRS	まみむめも	マミムメモ	ｐｑｒ ＰＱＲ	7
S 8 や と TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ｔｕｖ ＴＵＶ	8
D 9 ら し WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ｗｘｙｚ ＷＸＹＺ	9
X 0 わをん さ	わをんゎ 空白	ワヲンヮ 空白 （「ヮ」は全角入力のみ）	空白	0
Z っ * 記号 。、 つ	゛゜、。・ー	ﾞﾟ､｡･-「」 （「」は半角入力のみ）	！？－，゛＿～ !?-,';()"_~&¥	*
C # ↵ そ	改行を入力します。 （入力中文字列に表示がない場合のみ）			#

❑ 全角記号

	、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	゜	´	`	¨	^	￣	_	ヽ	ヾ
ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	-	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“
”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋
−	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥	$
¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽
▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	¬	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰
#	♭	♪	†	‡	¶	◯	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N
Ξ	O	Π	P	Σ	T	Y	Φ	X	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι
κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д
Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч
Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к
л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю
я	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							

❑ 半角記号

ﾟ	°	、	。	・		.	@	-	_	/	:	!	?	~	(	)	*	#	+
,	^	;	<	=	>	$	¥	%	&	[	]	’	`	{	|	}	”		

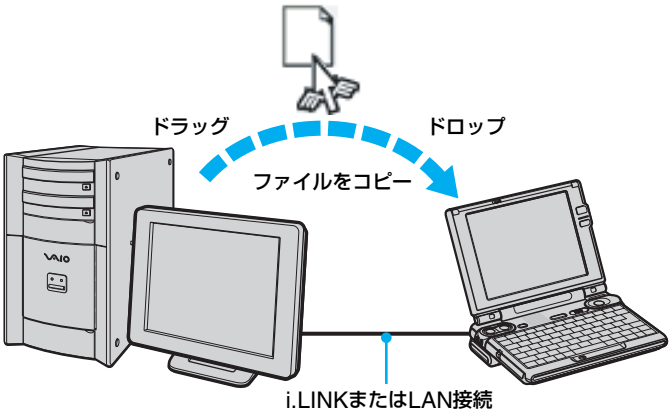
「FlyingPointer」ソフトウェアでファイルをコピーする

付属の「FlyingPointer」ソフトウェアを使うと、本機とネットワークでつながったVAIOまたは他社製コンピュータとの間でファイル交換が容易になります。

画面上のファイルをドラッグアンドドロップするだけでファイルを別のコンピュータへ簡単にコピーすることができます。例えば、ご家庭のコンピュータで作業中に外出しなければならなくなったときなど、本機に即座にデータをコピーできるので、外出先で作業続行することが可能です。

ファイルの交換を行うには、相手先のコンピュータ*にも「FlyingPointer」ソフトウェアがインストールされ、ネットワーク接続されていることが必要です。相手先のコンピュータに「FlyingPointer」をインストールするには、134ページをご覧ください。

操作について詳しくは、「FlyingPointer」のヘルプもあわせてご覧ください。



相手のコンピュータは、Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XP Home Edition、Windows XP Professionalのいずれかの OSで動作している必要があります。

次のページにつづく

ご注意

- 「FlyingPointer」ソフトウェア起動中にデュアルディスプレイ（181ページ）に設定した場合、ポインタの動きは「FlyingPointer」の機能が優先されます。
- Windows XPの「ネットワークブリッジ」、Windows 2000の「インターネット接続の共有」を使用している環境では、「FlyingPointer」は使用できません。「ネットワークブリッジ」および「インターネット接続の共有」について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- タッチパネルでの操作が可能なコンピュータで、ペンなどを使って直接画面上でファイルのドラッグ操作を行っても、本機などコピー先のコンピュータにコピーすることはできません。

「FlyingPointer」ソフトウェアをインストールする

本機とファイルの交換を行うには、本機に付属のリカバリ CDを使って、相手のコンピュータに「FlyingPointer」ソフトウェアをインストールする必要があります。

1 **相手のコンピュータのドライブに、本機付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.3 of 3」を入れる。**

2 **「このリカバリディスクは1枚目ではありません。リカバリをする際は1枚目のディスクをお入れください。」というメッセージが表示されるので、[OK] をクリックする。**

3 **「このディスクにはサポート用の「VAIOフォルダ」が含まれています。「VAIOフォルダ」を開きますか？」というメッセージが表示されるので、[はい] をクリックする。**

4 **[Applications] → [FlyingPointer] → [Disk1] → (Setup.exe) を順にダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。**

コンピュータをネットワークに接続する

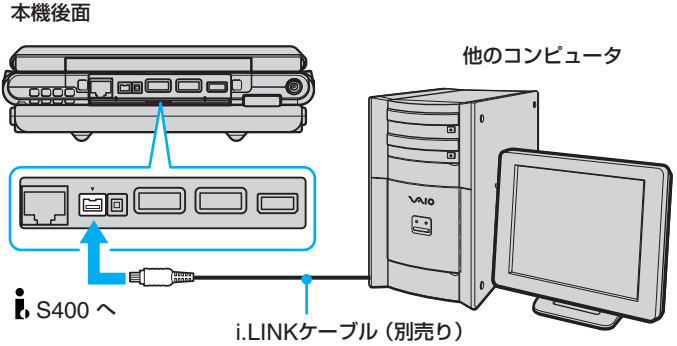
「FlyingPointer」ソフトウェアを使ってファイルの交換を行うには、2台のコンピュータがネットワークに接続されていることが必要です。
ネットワークに接続するには、下記の方法があります。

- i.LINKケーブルでの接続
- LANケーブル経由のLAN環境

ご注意

- 「FlyingPointer」を使って相手先のコンピュータと接続中は、i.LINKケーブルやLANケーブルなどを抜かないでください。
- 「FlyingPointer」の起動中に省電力動作モード（スタンバイや休止状態）にすると、省電力動作モードから復帰したときに「FlyingPointer」での接続に数分かかることがあります。

i.LINKケーブルでの接続



本機と、Windows XPを搭載したVAIO、または「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアに対応したVAIOを別売りのi.LINKケーブルで接続します。

- Windows XPを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合
  i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。
- 「Smart Connect」を搭載したVAIOと本機をつなぐ場合
  接続先の「Smart Connect」のバージョンをご確認ください。
  – 「Smart Connect Ver.3.0」以降の場合
    「Smart Connect Ver.3.0」の通信モードを「STDモード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」のヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。
  – 「Smart Connect Ver.2.2」以前の場合
    「Smart Connect Ver.3.0」無償アップグレードサービスにより、「Smart Connect」をアップグレードすることでデータのやり取りができます。

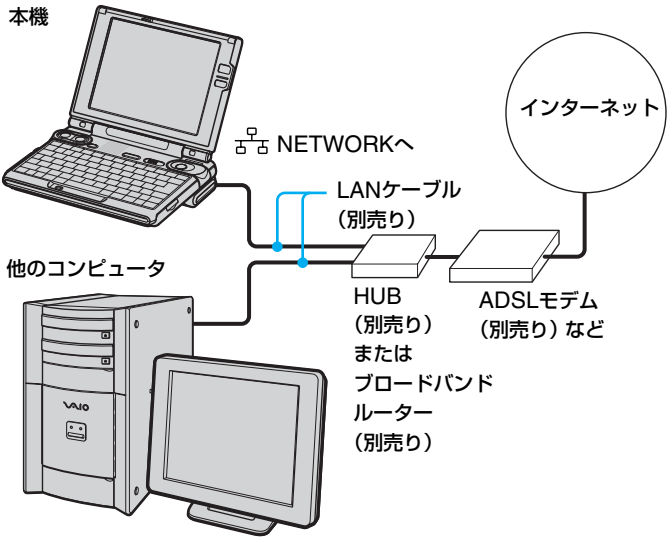
  詳しくは、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/Download/Smart/index.html）をご覧ください。

ご注意

- 一部アップグレード対象外の機種があります。
- 本機とアップグレード対象外の機種とでは、データのやりとりはできません。

LANケーブル経由のLAN環境

LANケーブル経由で家庭内にLANを構築できます。接続にはLANケーブル（別売り）をお使いください。



ファイルをコピーする

本機と相手のコンピュータそれぞれで「FlyingPointer」を起動し、ファイルをコピーします。

1 本機と相手のコンピュータそれぞれで「FlyingPointer」を起動する。

本機では、［スタート］ボタンをクリックし、［FlyingPointer］をクリックします。

相手のコンピュータでは、デスクトップ画面上の をクリックします。

「FlyingPointer」を初めて起動したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、［同意する］をクリックしてください。

2 「FlyingPointerへようこそ」画面の内容を確認し、本機と相手のコンピュータそれぞれで［OK］をクリックする。

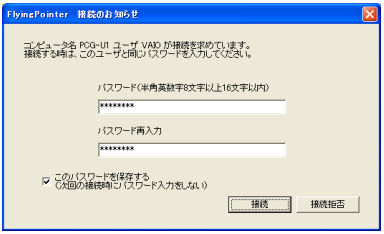
「相手を選んで接続」画面が表示されます。

3 「コンピュータ名」から相手のコンピュータを選び、［接続］をクリックする。

相手のコンピュータにパスワード入力画面が表示されます。

4 相手のコンピュータでパスワードを2度入力し、［接続］をクリックする。

パスワードは、半角英数字8～16文字以内で入力してください。



本機にパスワード入力画面が表示されます。

5 手順4で入力したパスワードと同じものを入力し、［接続］をクリックする。

デスクトップ画面右下の通知領域にある が に変わり、お互いのコンピュータが接続されました。

を右クリックして表示されるメニューから［メインパネルを表示］を選ぶとメニュー画面が表示され、接続状況を確認できます。

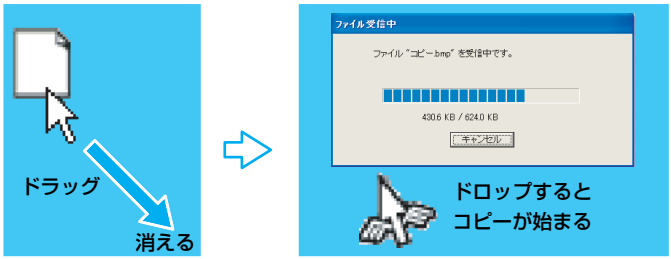
6 ファイルをコピーする。

① コピーしたいファイルをドラッグしてデスクトップ画面の端まで移動する。

デスクトップ画面上からポインタが消えます。

次のページにつづく

② 相手のコンピュータのデスクトップ画面上に（「FlyingPointer」のポインタ）が表示されたら、デスクトップ画面上の任意の場所で左ボタンから指を離す。
コピーが始まります。



本機　　相手のコンピュータ

手順4で「このパスワードを保存する」のチェックがついた状態で［接続］をクリックすると、2回目以降はパスワードを入力せずに接続でき、手順1～3と6を行うだけでファイルをコピーできます。

ご注意

- フォルダや複数のファイル、またサイズが2Gバイト以上のファイルをコピーすることはできません。
- 他のソフトウェアやWindowsが使用中のファイルはコピーできないことがあります。

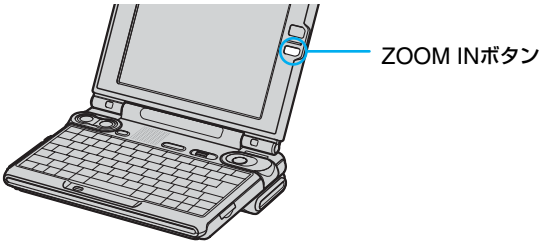
「FlyingPointer」ソフトウェアを終了する

デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして［終了］を選びます。

便利な機能を使う

画面を拡大して表示する

液晶ディスプレイに表示される文字などが小さい場合には、ZOOM INボタンを押すことにより、即座に画面を拡大して見やすくすることができます。



画面を拡大して表示するには

ZOOM INボタンを押すと、解像度が変更され、画面が拡大表示されます。もう1度押すと前の設定に戻ります。

- 液晶ディスプレイの解像度は、標準では 1,024 × 768 ドット、最高（32 ビット）に設定されています。拡大表示した場合には、解像度は800 × 600 ドットになります。
- 拡大表示した画面は1,024 × 768ドットの液晶に800 × 600ドットを拡大表示（補完表示）しているため、ややぼやけた感じの画面となります。
- CPUに高い負荷のかかるソフトウェアを実行中に、ZOOM INボタンを押すと、不具合が生じることがあります。このような場合は、ZOOM INボタンをお使いにならないことをおすすめします。

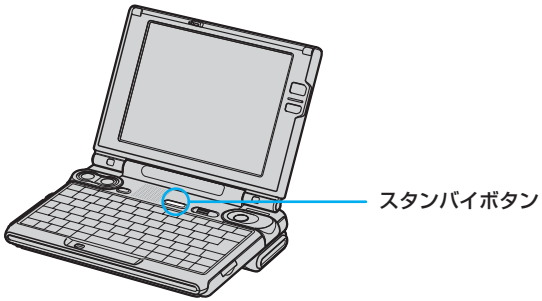
ご注意

- ZOOM INボタンは解像度を変更するため、動作中の画面解像度変更に対応しないソフトウェアでは不具合が生じることがあります。この場合は、ソフトウェアをいったん終了してからZOOM INボタンを押してください。
- ZOOM INボタンは解像度を変更することで画面の拡大表示を行っているため、画像などの表示には効果がないことがあります。
- 複数のユーザーを登録して本機を使用する場合、ZOOM INボタンを押して解像度を800 × 600ドットの状態にしたまま他のユーザーに切り替えると、その後ZOOM INボタンが使用できなくなります。ユーザーを切り替える際は、ZOOM INボタンを押して解像度をもとの設定に戻してから行ってください。
- ZOOM INボタンは解像度を変更するため、拡大表示時や元の設定に戻ったときに、ソフトウェアのウィンドウの位置やサイズが変更されていることがあります。

スタンバイモードにする

現在作業中の状態を保持したまま、省電力動作モードに入ります。ちょっと席をはずすときなどには、こまめにスタンバイモードにすることで、バッテリを節約できます。
なお、省電力動作モードについて詳しくは「省電力動作モードについて」（175ページ）をご覧ください。

スタンバイボタンを押すとスタンバイモードになって液晶ディスプレイが暗くなります。通常モードに戻すには、もう1度スタンバイボタンを押します。
また、電源が切れているときにスタンバイボタンを押すと電源が入り、本機を起動させることができます。



ご注意

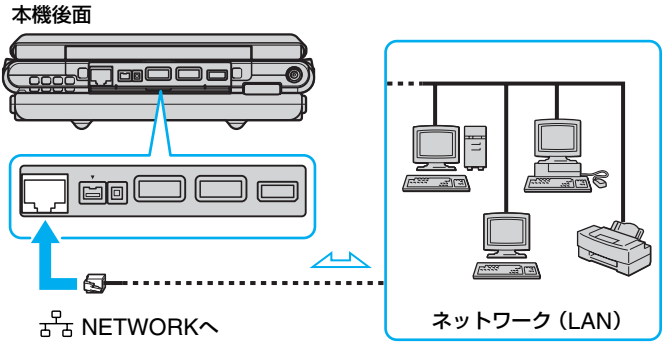
バッテリのみでの使用中、スタンバイモード時にバッテリが消耗すると、スタンバイモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

拡張する

他の機器とデータをやりとりする 142
周辺機器を接続する 149
本体を拡張する 155

ネットワーク経由でデータをやりとりする

本機後面の NETWORK（ネットワーク）コネクタとADSLモデムや家庭内、オフィスなどのネットワーク（LAN）を直接接続して、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。
10BASE-T と 100BASE-TX タイプのネットワークに接続できます。
ネットワークに接続するために必要な周辺機器や設定については、お使いになるADSLモデムの取扱説明書や契約している接続業者、またオフィスなどのネットワークのシステム管理担当者にご相談ください。



ご注意

本機の NETWORK（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障の原因になります。特に、ホームテレホンやビジネスホンなどの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

インターネット経由や付属の「FlyingPointer」ソフトウェアでデータをやりとりすることもできます。詳しくは「インターネットに接続する」（97ページ）「「FlyingPointer」ソフトウェアでファイルをコピーする」（133ページ）をご覧ください。

i.LINK対応機器とデータをやりとりする

i.LINK対応機器について

下記のi.LINK対応機器に接続し、データをやりとりしたり、画像をデジタルのまま取り込むことができます。

（2002年1月10日現在）

- i.LINKコネクタを持つソニーパーソナルコンピュータ
- i.LINKコネクタを持つソニーノートブックコンピュータ *

  * 別売りのドッキングステーションやポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルもあります。詳しくは、お使いのノートブックコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ソニーが2001年12月末日までに日本国内で発売したDV端子付きの家庭用DV機器（メディアコンバーターおよびDigital 8デジタルビデオカメラレコーダーを含む。ツーリストモデルは除く。）
- その他、ソニー製のVAIOブランドのi.LINK対応機器の最新情報は、VAIOカスタマーリンク ホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

ご注意

- i.LINKコネクタを持つソニーパーソナルコンピュータまたはソニーノートブックコンピュータとデータをやり取りする場合は、「i.LINK接続でデータをやりとりする」（145ページ）をご覧ください。
- 本機はDTLAコピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキなどのDTLAコピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することはできません。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア（OSを含む）・ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで、接続を行うコンピュータ周辺機器類（ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど）は、OSによっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

i.LINK対応機器をつなぐ

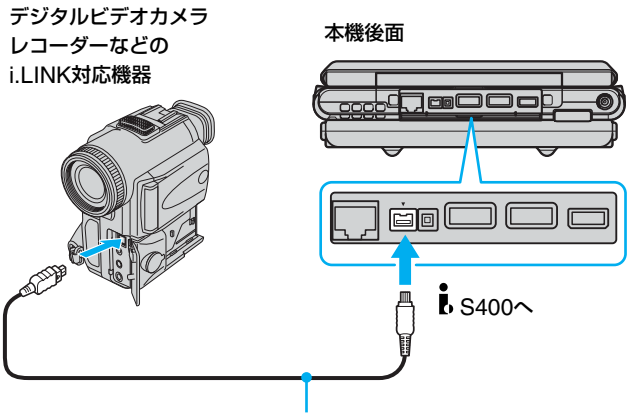
本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、ソニー製i.LINKケーブル「VMC-IL Series」（別売り）をお使いください。

主なケーブル

- VMC-IL4415A（4ピン ←→ 4ピン、1.5 m）
- VMC-IL4615A（4ピン ←→ 6ピン、1.5 m）

ご注意

DVケーブルはご使用になれません。



ご注意

- 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、i.LINK対応機器からデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（172ページ）をご覧ください。
- 一度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは1台のみです。同時に2台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機のi.LINKコネクタは、i.LINK対応機器に電源を供給しません。i.LINKコネクタからの電源供給が必要な一部の機器は、正しく使用できないことがあります。
- 本機のi.LINKコネクタは最大400 Mbpsのデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続したi.LINK対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続するi.LINK対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK対応機器の取扱説明書や、本機に付属している「DVgate」などの各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

i.LINK接続でデータをやりとりする

本機と、Windows XPまたはWindows Meを搭載したVAIO、または「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアに対応したVAIOを別売りのi.LINKケーブルで接続すると、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。

「FlyingPointer」ソフトウェアを使うと、2台のマシン間でファイルの交換を行うことができます。ファイルの交換について詳しくは、「「FlyingPointer」ソフトウェアでファイルをコピーする」（133ページ）をご覧ください。

また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。

i.LINK接続について詳しくは、「i.LINK対応機器をつなぐ」（144ページ）をご覧ください。

- Windows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合
  i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。
- 「Smart Connect」を搭載したVAIOと本機をつなぐ場合
  接続先の「Smart Connect」のバージョンをご確認ください。
  - 「Smart Connect Ver.3.0」以降の場合
    「Smart Connect Ver.3.0」の通信モードを「STDモード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」のヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。
  - 「Smart Connect Ver.2.2」以前の場合
    「Smart Connect Ver.3.0」無償アップグレードサービスにより、「Smart Connect」をアップグレードすることでデータのやりとりができます。詳しくは、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/Download/Smart/index.html）をご覧ください。

ご注意

- 一部アップグレード対象外の機種があります。
- 本機とアップグレード対象外の機種とでは、データのやりとりはできません。
- i.LINK接続でデータのやりとりをするには、Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有（Windows XP）、またはネットワーク共有サービス（Windows 98、Me）のインストールおよび設定が必要です。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- 「FlyingPointer」ソフトウェアを使用してファイルの交換を行う場合、相手先のコンピュータはWindows 2000 ProfessionalまたはWindows XP Home Edition、Windows XP Professionlのいずれかの OSで動作している必要があります。

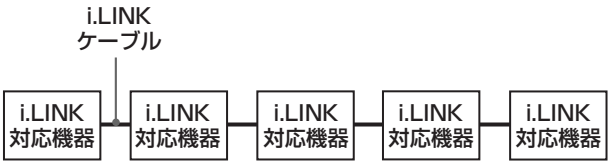
i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINKコネクタを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKでの接続について

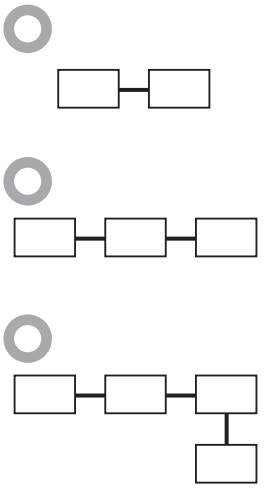
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。このような接続のしかたを「デイジーチェーン」と呼びます。



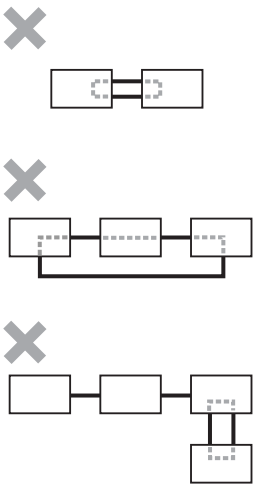
接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。

正しい接続例



ループの接続例



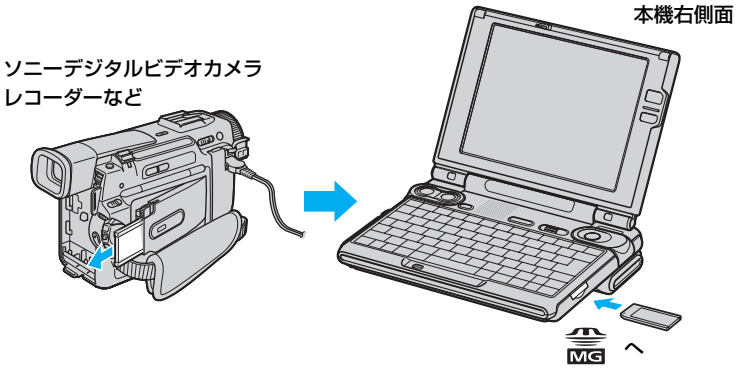
接続についてのご注意

- コンピュータなど一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINKコネクタの周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100／200／400 Mbpsが定義されており、200 MbpsのものはS200、400 MbpsのものはS400と表記されます。
  最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア（OSを含む）・ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで、接続を行うコンピュータ周辺機器類（ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど）は、OSによっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

“メモリースティック”を使ってデータをやりとりする

ソニーデジタルビデオカメラレコーダーやデジタルスチルカメラなどの“メモリースティック”対応機器で“メモリースティック”に動画や静止画を取り込み、その“メモリースティック”を本機のメモリースティックスロットに差し込むことにより、画像データファイルとして取り込むことができます。本機に取り込んだ画像を、付属の「PictureGear」ソフトウェアを使って編集することができます。

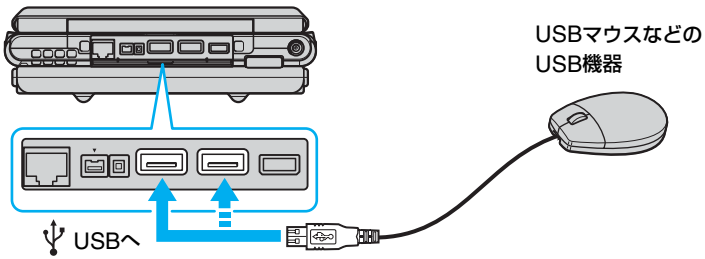
詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書および、「PictureGear」のヘルプをご覧ください。



USB機器をつなぐ

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機左側面



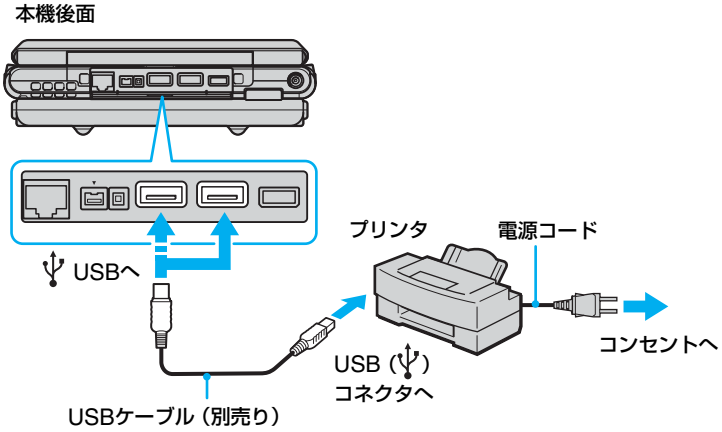
- 別売りのソニー製USBマウスPCGA-UMS1 SeriesやUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5などを接続できます。本機にはあらかじめドライバがインストールされているので、接続するだけでご使用になれます。

ご注意

- PCGA-UMS1 Series以外のUSBマウスは本機で使用できないものがあります。詳しくは、マウスの販売元または販売店にご確認ください。
- シリアルマウスおよびPS/2マウスは、直接本機に接続できません。
- USB接続のスピーカーやヘッドホンなどで音を聞くと雑音が混じることがあります。この場合は、「PowerPanel」の「CPU制御」で「パフォーマンス」または「省電力」を選んでください。なお、CPUに高い負荷のかかるソフトウェアを使用する場合は、「パフォーマンス」を選んでください。（171ページ）

プリンタをつなぐ

USB対応のプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。



ご注意

- Windows XPに対応していないプリンタを本機につないでも、正常に動作しないことがあります。
- プリンタの取扱説明書などでUSBコネクタの形状をご確認の上、USBケーブルをご購入ください。
- プリンタドライバのインストールおよび設定方法については、お使いのプリンタの製造元にお問い合わせください。
- パラレルポートに接続するタイプのプリンタは、直接本機に接続できません。

プリンタを使用する前の準備

プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。
詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

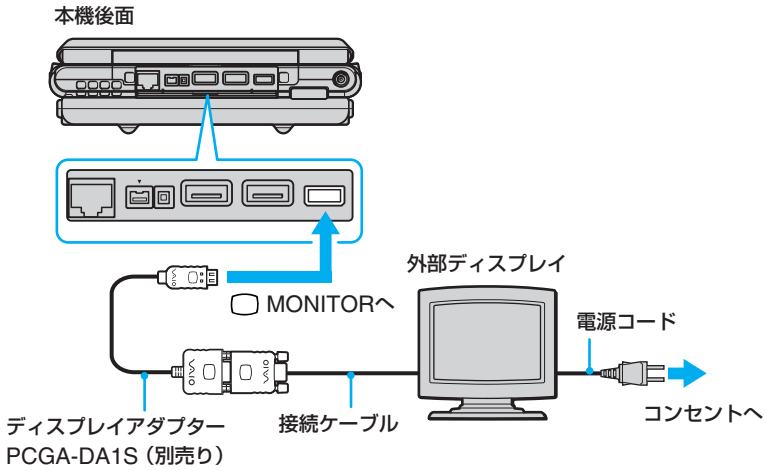
外部ディスプレイをつなぐ

大きな画面で内容を確認したいときなどは、別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って、本機に外部ディスプレイをつなぎます。本機のコネクターカバーを開けて、接続してください。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、外部ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。

スピーカーなどが内蔵されていない通常のディスプレイにつなぐときは、ディスプレイの他に外部アクティブスピーカーやマイクなどをつなぐことでAV環境をよりお楽しみいただけます。



ディスプレイに表示するには

下記のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと、接続した外部ディスプレイなどとの表示を切り替えられます。

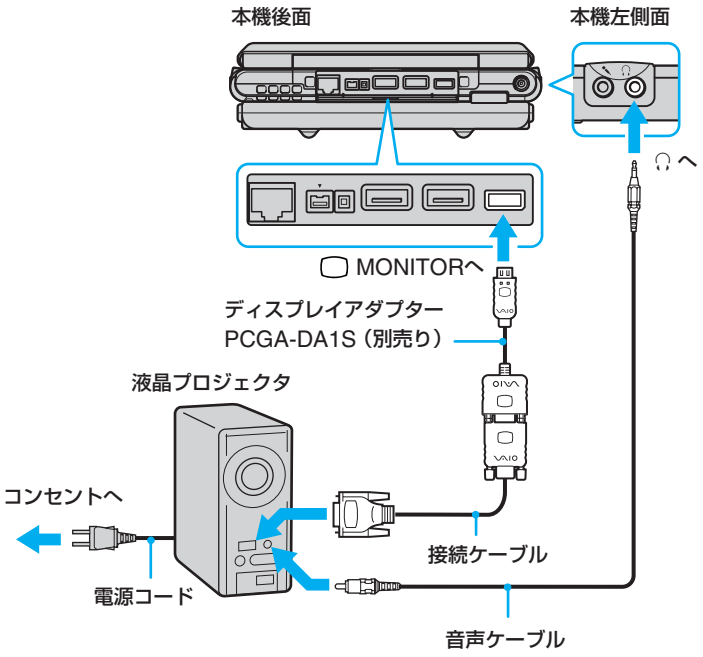
- 「画面のプロパティ」画面で設定する（179ページ）。
- Fnキーを操作する（65ページ）。

液晶プロジェクタをつなぐ

液晶プロジェクタを使うと、プレゼンテーションをするときなどに便利です。接続のしかたは機器によって異なります。詳しくは、液晶プロジェクタの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。



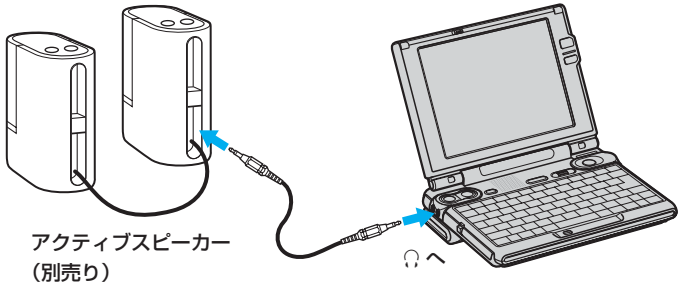
液晶プロジェクタに表示するには

下記のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと接続した液晶プロジェクタなどとの表示を切り替えられます。

- 「画面のプロパティ」画面で設定する（179ページ）。
- Fnキーを操作する（65ページ）。

外部スピーカーをつなぐ

スピーカーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

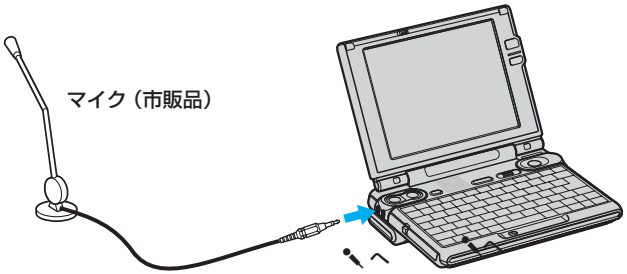


ご注意

- 電源を入れるときは、外部スピーカーの音量を最小にしてください。
- 外部スピーカーの上にフロッピーディスクなどを置かないでください。スピーカーの磁気によりディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。

マイクをつなぐ

プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。
マイクの取扱説明書もあわせてご覧ください。



メモリを増設する

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが1つあり、最大384 Mバイトまでメモリを増設できます。*
メモリ容量が大きいと、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理が速くなります。

* 本機は、工場出荷時に128Mバイト メモリモジュールが1枚取り付けられています。

メモリモジュールを取り付けるには

ご注意

- メモリモジュールを取り付ける前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリモジュールの取り付けや取りはずしは注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。メモリモジュールの取り付けや取りはずしに関するご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュールPCGA-MM128T/MM256T以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。他のメモリモジュールをお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。

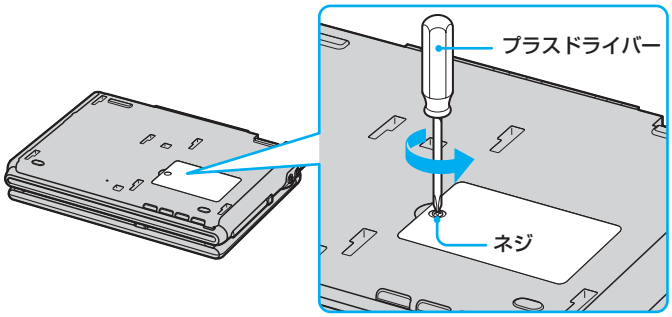
メモリモジュール取り付け時のご注意

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部分には触れないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

次のページにつづく

1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。**

2 **本機を裏返し、底面のネジを1本はずしてふたを開ける。**



ご注意

- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

3 **本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。**

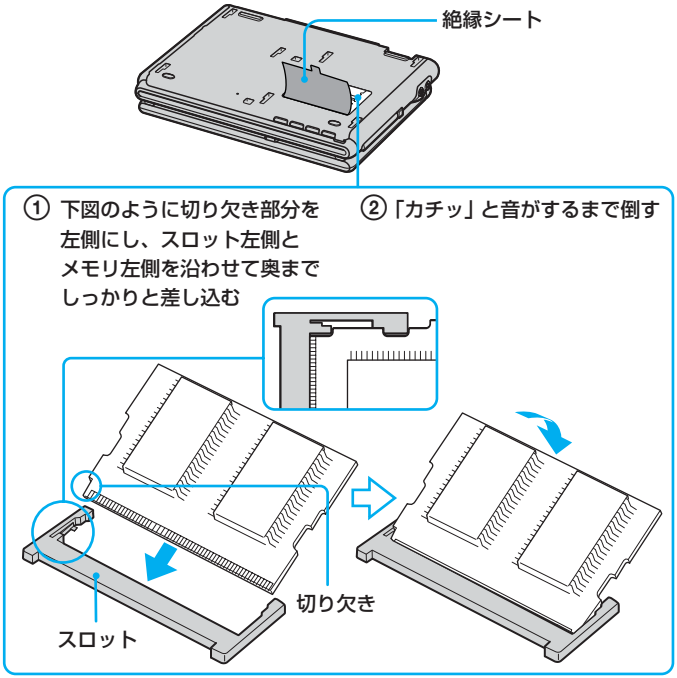
ただし本機内部の金属部にさわらないようご注意ください。

4 絶縁シートをめくって、メモリモジュールを取り付ける。

① 本機を下図の向きに置いた状態で、メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分を左側にして、斜めにスロットの奥までしっかりと差し込む。

②「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。倒れにくいときは、再度スロットに奥までしっかりと差し込んでから倒してください。

メモリモジュールの両端が固定されます。



ご注意

メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。

5 絶縁シートとふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

次のページにつづく

6 **メモリの増設を確認する。**

① 本機の電源を入れる。

② [スタート] ボタンをクリックして [すべてのプログラム] をクリックする。

③「VAIOソフトウェアはこちら」→「ユーティリティ」→「Sony Notebook Setup：ハードウェアの設定」をクリックする。「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

④ [システム情報] タブをクリックして、「システム メモリ」の項目を確認する。

増設した分のメモリ容量が増えていれば、メモリの増設は完了しました。メモリ容量が増えていないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリモジュールを取りはずすには

ご注意

メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部分には触れないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。**

2 **「メモリモジュールを取り付けるには」(155ページ) の手順2を行う。**

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

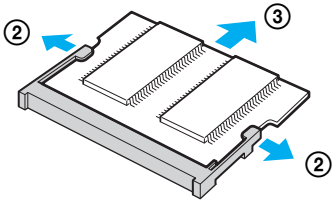
ただし本機内部の金属部にさわらないようご注意ください。

① 絶縁シートをめくる。

② メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

タブからメモリモジュールがはずれて起きあがります。

③ メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。



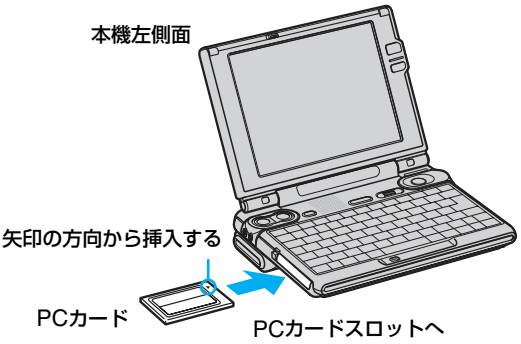
4 絶縁シートとふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

PCカードを使う

本機では、PC CardタイプIIに準拠したPCカードが使えます。
また、本機のPCカードスロットは16ビットCardおよびCard Busに対応しています（ZV（Zoomed Video）Portには対応していません）。

PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。
下図のように、スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。
カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。



取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。
- PCカードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
  PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。
- PCカードスロットからはみ出るPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入してお使いになる場合は、以下の点にご注意ください。
  - PCカードを挿入した状態で本機を移動する場合は、PCカード部に衝撃や力が加わらないようご注意ください。移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機またはPCカードが破損するおそれがあります。
  - PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機またはPCカードが破損するおそれがあります。
  - PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機またはPCカードが破損するおそれがあります。
  - モバイルグリップスタイル時に、ワイヤレスLAN PCカードなどのアンテナ部を手で覆わないようご注意ください。通信の妨げとなります。

PCカードを取り出す

ご注意

本機の電源が入っているときにカードを取り出すときは、必ず次の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、そのままPCカードスロットのイジェクトボタンを押してボタンを出し、もう1度イジェクトボタンを押してPCカードを取り出します。このときカードの端を持って、スロットから引き抜いてください。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。

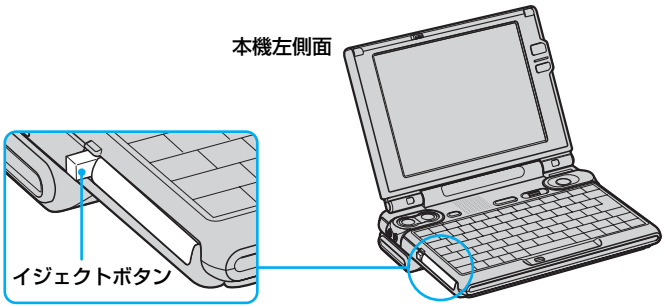
2 リストから取り出したいPCカードを選び、［停止］をクリックする。

3 確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［OK］をクリックする。

次のページにつづく

4 通知領域に「……は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、PCカードスロットのイジェクトボタンを押してボタンを出し、もう1度イジェクトボタンを押してPCカードを取り出す。

カードの端を持って、スロットから引き抜いてください。



ご注意

- PCカードを取り出したあとは、イジェクトボタンが本体に収納されていることを確認してください。収納されていない場合は、イジェクトボタンを再度押して、本体に収納してください。
- PCカードご使用中に誤ってイジェクトボタンを押してボタンを出してしまった場合は、上記の手順に従っていったんPCカードを取り出し、ボタンを収納してください。

設定を変更する

本機の使用環境を設定する 164
バッテリの消費電力を節約する 171
画面表示の設定を変更する 178
本機を再セットアップする 186

本機に付属の「Sony Notebook Setup」ソフトウェアを使って、本機の製品情報を確認したり、使用環境の設定を変更できます。

本機のシステム情報を確認する

本機の製品情報や、メモリの容量などのシステム情報を確認することができます。
なお「Sony Notebook Setup」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ起動できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→「VAIOソフトウェアはこちら］を順にクリックする。**

2 **［ユーティリティ］をクリックして［Sony Notebook Setup：ハードウェアの設定］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **［システム情報］タブをクリックする。**
本機の製品情報やハードウェア情報を確認できます。

確認が終わったら

［OK］をクリックします。

メガベースの設定を変更する

メガベース（高低音増幅機能、ヘッドホン使用時のみ）の設定変更や効果の確認ができます。
なお「Sony Notebook Setup」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ起動できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→「VAIOソフトウェアはこちら］を順にクリックする。**

2 **［ユーティリティ］をクリックして、［Sony Notebook Setup：ハードウェアの設定］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **［メガベース］タブをクリックする。**
メガベースの設定項目が表示されます。

4 **好みにあわせて設定を変更する。**
メガベースのオン／オフの切り替えができます。
プリセットデータは、あらかじめ「マックス」、「ミドル」、「カスタム」の3種類が用意されています。「カスタム」を選ぶと、高音と低音の増幅度合いをそれぞれ調節することができます。
また、「サウンドファイル」のリストからサンプルを選び、再生しながら切り替えると、高低音増幅機能の効果を確認できます。

5 **［OK］をクリックする。**

- Fnキーを押しながらBキーを押しても（66ページ）、メガベースのオン／オフを切り替えることができます。
- 本機に外付けスピーカーやヘッドホンをつないでお使いになると、よりメガベースの効果を体感できます。

起動時の設定を変更する

起動ドライブや、起動時に流れる音楽の音量の設定を変更できます。
なお「Sony Notebook Setup」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ起動できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→「VAIOソフトウェアはこちら］を順にクリックする。**

2 **［ユーティリティ］をクリックして［Sony Notebook Setup：ハードウェアの設定］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **［起動時設定］タブをクリックする。**
設定画面が表示されます。

4 **好みに合わせて設定を変更する。**
- 起動デバイスの優先順位 ： 順序を変更したいドライブを上下にドラッグします。リスト表示中の上にあるドライブから先に本機が起動します。
- 初期化時の音量 ： スライダを使って、ロゴアニメーションを表示するときに流れる音楽の音量を設定できます。
- 起動時にロゴアニメーションを表示する ： 起動時にVAIOロゴを表示するように設定できます。

5 **［OK］をクリックする。**
次に電源を入れるときは、手順4で設定した順位の高いドライブから本機が起動し、ロゴアニメーションを表示するときに設定した音量で音楽が流れます。

本機をCD-ROMドライブなどから起動するには

下記の専用ドライブのいずれかが必要です。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

パスワードを登録する

パスワードを登録して、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。大切なデータを守りたいときなどに便利です。
ここで登録したパスワードは、本機を起動してSonyのロゴマークが表示されたあとに入力します。
なお「Sony Notebook Setup」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ起動できます。

ご注意

パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→「VAIOソフトウェアはこちら］を順にクリックする。**

2 **［ユーティリティ］をクリックして［Sony Notebook Setup：ハードウェアの設定］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **［パワーオンパスワード］タブをクリックする。**
パスワードの設定項目が表示されます。

4 **［新規登録］をクリックする。**
確認画面が表示されます。

5 **［はい］をクリックする。**
登録をやめるときは、［いいえ］をクリックします。

6 **登録したいパスワードを入力してから、［OK］をクリックする。**
パスワードは半角の英数字7文字以内で入力します。1文字入力するごとに、「*」が表示されます。

7 **手順6で入力したパスワードをもう1度入力してから、［OK］をクリックする。**

8 **[OK] をクリックする。**
入力したパスワードが登録されます。

パスワードを変更するには

1 **[スタート] ボタンをクリックして [すべてのプログラム] → 「VAIOソフトウェアはこちら] を順にクリックする。**

2 **[ユーティリティ] をクリックして [Sony Notebook Setup : ハードウェアの設定] をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **[パワーオンパスワード] タブをクリックする。**
パスワードの設定項目が表示されます。

4 **[パスワード入力] をクリックする。**
パスワード入力画面が表示されます。変更前のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

5 **[変更] をクリックする。**
パスワード入力画面が表示されます。

6 **登録したいパスワードを入力してから、[OK] をクリックする。**

7 **手順6で入力したパスワードをもう1度入力してから、[OK] をクリックする。**
パスワードが変更されます。

8 **[OK] をクリックする。**

パスワードを削除するには

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→「VAIOソフトウェアはこちら］を順にクリックする。**

2 **［ユーティリティ］をクリックして［Sony Notebook Setup：ハードウェアの設定］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **［パワーオンパスワード］タブをクリックする。**
パスワードの設定項目が表示されます。

4 **［パスワード入力］をクリックする。**
パスワード入力画面が表示されます。削除したいパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

5 **［削除］をクリックする。**
確認画面が表示されます。

6 **［はい］をクリックする。**
パスワードが削除されます。
削除をやめるときは、［いいえ］をクリックします。

7 **［OK］をクリックする。**

工場出荷時の設定に戻す

「Sony Notebook Setup」を工場出荷時の設定に戻します。
「Sony Notebook Setup」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ起動できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→「VAIOソフトウェアはこちら］を順にクリックする。**

2 **［ユーティリティ］をクリックして［Sony Notebook Setup：ハードウェアの設定］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 **画面右下の［デフォルト］をクリックする。**

4 **［OK］をクリックする。**

ご注意

［デフォルト］をクリックしても、登録したパスワードの設定は戻りません。

バッテリで本機を使用しているときは、本機のハードディスクや液晶ディスプレイを自動的に停止させたり、バッテリでの動作時間をのばすことができます（パワーマネージメント機能）。

「PowerPanel」を起動する

本機を起動すると、 がデスクトップ画面右下の通知領域に表示されます。（55ページ）
「PowerPanel」はジョグダイヤルを使って操作します。
なお「PowerPanel」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ使用できます。

「PowerPanel」アイコンの見かた

通知領域に表示される「PowerPanel」アイコンで、CPUのパフォーマンスを知ることができます。

PowerPanelアイコン	CPU制御
	パフォーマンス：最大のCPUクロック周波数で動作します。 （工場出荷時の状態でAC電源使用時は、この設定になっています。）
	自動調節：本機の使用状況に応じてCPUのクロック周波数を変化させます。 （工場出荷時の状態でバッテリ使用時は、この設定になっています。）
	省電力：CPUクロック周波数および電源電圧を下げて、消費電力を減らします。

本機の動作モードを設定する（プロファイル）

ジョグダイヤルランチャーを起動させ、ジョグダイヤルを回して「Jog Dial Navigator：ジョグダイヤルでVAIOを操作」を選び、ジョグダイヤルを押します。さらに、「PowerPanel：電源管理の設定」を選びジョグダイヤルを押すと、プロファイルが表示されます。
プロファイルを変更するには、ジョグダイヤルを回して設定したいプロファイルを選び、ジョグダイヤルを押して確定します。
なお「PowerPanel」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ使用できます。

AC

AC電源をつないで使用するとき、ここで設定した状態になります。
AC電源をはずすと、バッテリで使用していたときに選んでいた状態に戻ります。

ご注意

ACプロファイルが選択された状態でスタンバイに移行させたあとにACアダプタをはずしそのままバッテリが消耗すると、休止状態へ自動的に移行せず（工場出荷時の設定）に本機の電源が切れ、作業状態や保存していないデータが失われるおそれがあります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

ノーマル

消費電力を節約しつつ、できるだけ通常の動作状態を保つよう、自動的に調整します。

スタミナ

バッテリを長時間使用できるように動作状態を自動的に調節します。工場出荷時の設定では、バッテリ動作時には自動的に「スタミナ」プロファイルが選択されます。

スーパースタミナ

バッテリを最大限に長時間使用できるように動作状態を自動的に調節します。

「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、i.LINK対応機器を本機に接続して使用することはできません。

音楽

音楽再生に適したプロファイルです。音楽を再生するときはこのプロファイルを選択してください。

パワーマネージメント オフ

パワーマネージメント機能を無効にします。このプロファイルの内容は変更できません。

- バッテリ動作時にいずれかのプロファイルを選択すると、そのプロファイルのパワーマネージメント機能が有効になり、以後バッテリ動作時には自動的にそのプロファイルが選択されます。
- プロファイル選択メニューには上記の他にもいろいろなプロファイルが用意されています。お使いになるソフトウェアに合わせてプロファイルを選択することができます。
- 「プロファイル自動選択」を選択すると、使用中のソフトウェアに合わせて自動的にプロファイルが切り替わります。
- 工場出荷時の設定では、バッテリ動作時（「スタミナ」プロファイル）の液晶ディスプレイの明るさは、暗めの設定になっています。
  一時的に液晶ディスプレイの明るさを調節するには、Fnキーを押しながらF5キーを押してください（65ページ）。また、特定のプロファイルで液晶ディスプレイの明るさ設定を保存するには、プロファイルの設定を変更してください（174ページ）。
- 「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、i.LINK対応機器（i.LINK接続のドライブなど）を使って本機にデータが取り込めなかったり、「DVgate」などお使いになるソフトウェアによって正しく動作しないことがあります。
  これらの場合は、「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選択してください。
- 「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「URecSight」ソフトウェアでライブ配信できないことがあります。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選択してください。

プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する

使用環境にあわせて、プロファイルのシステムタイマーや画面の輝度などのパワーマネージメント設定を変更することもできます。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。（67ページ）
なお「PowerPanel」は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ使用できます。

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして、表示されたメニューから［プロファイルの編集／作成］をクリックする。**
「プロファイルエディタ」が起動します。

2 **画面左から設定を変更したいプロファイルをクリックする。**

3 **画面右から変更したい項目をダブルクリックする。**
設定値のリストが表示されます。
現在有効な設定値がチェックされています。

4 **好みの設定値をクリックする。**

5 **「ファイル」メニューをクリックし、［保存］をクリックする。**

6 **「ファイル」メニューをクリックし、［終了］をクリックする。**
「プロファイルエディタ」が終了し、手順4で選んだ設定値が有効になります。

- 新しくプロファイルを作成して追加することもできます。詳しくは「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。
- 「メモリースティックポート節電」の設定を「オン」にすると、“メモリースティック”を挿入していないときには、本体の電力消費を抑えることができます。

省電力動作モードについて

バッテリでの使用時間をのばすため、使用状況に合わせて省電力動作モードを使い分けてください。
工場出荷時の設定では、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると自動的に休止状態になります。

通常モード

(⏻ (パワー) ランプ点灯：グリーン)
通常の動作モードですが、液晶ディスプレイやハードディスクなどをそれぞれ省電力動作モードに移行させて、消費電力を節約することもできます。

LCD/Videoスタンバイ

本機を一定時間以上操作しないと、自動的に液晶ディスプレイの電源を切ったり、外部ディスプレイを省電力動作モードに移行します。ワイドスティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

省電力動作モード

本機には、次の2つの省電力動作モードがあります。より使用状況に合った使い分けをしてください。

スタンバイ

(⏻ (パワー) ランプ点滅：アンバー (赤褐色))
現在作業中の状態を保持したまま、省電力状態に入ります。ちょっと席をはずすときなどに便利です。

- スタンバイにするには
  スタンバイボタンを押します。
  または、次の手順でスタンバイにすることもできます。
  ① [スタート] ボタンをクリックする。
  [スタート] メニューが表示されます。
  ② メニューの [終了オプション] をクリックする。
  「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

次のページにつづく

③［スタンバイ］をクリックする。

- 通常モードに戻すには
  再度、スタンバイボタンを押します。
  または、キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを押しても戻ります。

ご注意

- ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまいますのでご注意ください。
- スタンバイ時にバッテリが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
  なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

休止状態

（⏻（パワー）ランプ消灯）

現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。しばらく本機を使わないようなときに便利です。

- 休止状態にするには
  Fnキーを押しながらF12キーを押します。または、⏻（パワー）ボタンを押して設定することもできます（工場出荷時の設定）。
  次の手順で休止状態に入ることもできます。
  ①［スタート］ボタンをクリックする。
  「スタート」メニューが表示されます。
  ②メニューの［終了オプション］をクリックする。
  「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。
  ③Shiftキーを押す。
  「コンピュータの電源を切る」画面内の「スタンバイ」が「休止状態」に変わります。
  ④［休止状態］をクリックする。
  ▭（バッテリ）ランプが⏻（パワー）ランプと同時に点滅するか、「バッテリが少なくなりました」というメッセージがあったら、休止

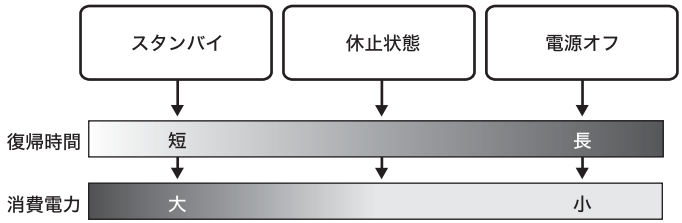
状態にすることをおすすめします。

- 通常モードに戻すには
  スタンバイボタンを押して本機の電源を入れ直します。電源を入れると、前回の作業状態に戻ります。電源オフ（41ページ）からの起動よりも早く復帰できます。
  または、⏻（パワー）ボタンでも電源を入れ直すことができます。

ご注意

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるよう工場出荷時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
また、制限ユーザーでご使用中の場合にも、自動的には休止状態になりません。
長時間席をはずされるときなどに、バッテリが消耗した際、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れ、作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

復帰時間と消費電力について



ディスプレイの設定を変更する

液晶ディスプレイの解像度は、標準では 1,024 × 768 ドット、最高（32 ビット）に設定されています。
Windowsのヘルプもあわせてご覧ください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［デスクトップの表示とテーマ］アイコンをクリックする。**

3 **［画面］アイコンをクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **［設定］タブをクリックする。**

5 **「画面の解像度」のスライダで解像度を、「画面の色」リストで色数をそれぞれ設定する。**

6 **［OK］をクリックする。**
「モニタの設定」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。
変更した設定が有効になります。

ご注意

- 設定によっては本機を再起動する必要があるものもあります。画面に表示される指示に従ってください。
- 動画を再生中に上記手順やZOOM INボタンで解像度や色、表示するディスプレイなど画面の設定を変更しようとした場合、変更ができなかったり、まれに本機の動作が不安定になることがあります。
  画面の設定変更は、動画再生ソフトウェアを終了させてから行ってください。

色数について

- 手順5の「画面の色」リストの設定と実際に表示される色数は以下の通りです。
  中（16 ビット）→ 65,536 色
  最高（32 ビット）→ 約1,677 万色 *
  * 本機の液晶ディスプレイではグラフィックアクセラレータのディザリングにより実現。

ZOOM INボタンを押すだけで、解像度を800 × 600ドットに切り替えることができます。詳しくは「画面を拡大して表示する」（139ページ）をご覧ください。

表示するディスプレイを選ぶ

本機はATIビデオコントローラを使用しています。別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って本機に外部ディスプレイなどをつないでいる場合には、どのディスプレイに表示するか設定できます。
なおこの設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーで行ってください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［デスクトップの表示とテーマ］アイコンをクリックする。**

3 **［画面］アイコンをクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **［設定］タブをクリックする。**

5 **［詳細設定］をクリックする。**
「Mobility Radeonのプロパティ」画面が表示されます。

6 **［画面］タブをクリックして、表示するディスプレイを設定する。**
ディスプレイの左上にある をクリックし、［OK］をクリックすると、どのディスプレイに表示させるかを設定できます。
詳しくは画面右下の［ヘルプ］をクリックし、表示されるヘルプをご覧ください。

7 **［はい］をクリックする。**

Fnキーとファンクションキーを組み合わせて押しても（65ページ）、表示するディスプレイを切り替えられます。

次のページにつづく

ご注意

- 外部ディスプレイなどと本機をケーブルでつないでから、179ページの設定を行ってください。
- 動画を再生中に179ページの手順やZOOM INボタンで解像度や色、表示するディスプレイなど画面の設定を変更しようとした場合、変更ができなかったり、まれに本機の動作が不安定になることがあります。
  画面の設定変更は、動画再生ソフトウェアを終了させてから行ってください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- 外部ディスプレイで動画やDVDビデオなどを表示できない場合は、以下の手順で表示させたいディスプレイをプライマリに設定してください。

  1 手順1～5(179ページ)を行う。

  2 [画面]タブをクリックし、「モニタ」の (プライマリ)をクリックし、[OK]をクリックする。

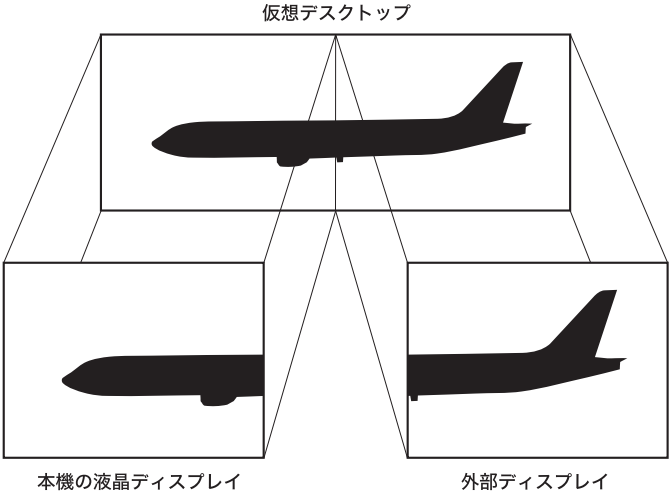
  3 [はい]をクリックする。

  変更した設定が有効になります。
- 電源を入れるときは、外部ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから、本機の電源を入れてください。

2つのディスプレイを使って仮想デスクトップを構築する（デュアルディスプレイ）

デュアルディスプレイとは、複数のディスプレイを使って、ひとつの大きな仮想デスクトップを実現する機能です。

仮想デスクトップの例



画面が広く使えるだけでなく、片方の画面にソフトウェア本体を置き、もう片方の画面にツールパレットやアイコンバーを置くなど、工夫次第で画面を効率よく使うことができます。

デュアルディスプレイを設定するには

本機では、液晶ディスプレイと外部ディスプレイの組み合わせで、デュアルディスプレイを利用できます。

ご注意

- 外部ディスプレイと本機の液晶ディスプレイの色数を異なる設定にした場合、ウィンドウを両方のディスプレイにまたがるように配置すると、ソフトウェアが正しく動作しないことがあります。色数を異なる設定にする場合は、ウィンドウを両方のディスプレイにまたがるように配置しないでください。
- デュアルディスプレイを使用しているときは、本機がスタンバイや休止状態に入らないようにご注意ください。本機が通常の動作モードに戻らないことがあります。
- 設定によっては本機を再起動する必要があるものもあります。画面に表示される指示に従ってください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［デスクトップの表示とテーマ］アイコンをクリックする。**

3 **［画面］アイコンをクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **［設定］タブをクリックする。**

5 **2と書かれているモニタの絵を右クリックする。**

6 **ポップアップメニューから［接続］をクリックする。**

7 **［OK］をクリックする。**

ご注意

ソフトウェアによっては、両方のディスプレイをご使用になれないことがあります。

画面の色と解像度を変更する

仮想デスクトップを構成する各ディスプレイごとに、画面の色数と解像度を設定できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［デスクトップの表示とテーマ］アイコンをクリックする。**

3 **［画面］アイコンをクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **［設定］タブをクリックする。**

5 **変更したいモニタの絵をクリックし、「画面の解像度」のスライダで解像度を、「画面の色」リストで色数を設定する。**

6 **［OK］をクリックする。**
「モニタの設定」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。
変更した設定が有効になります。

ご注意

高い解像度と高い色数の組み合わせによっては、正しく表示できない場合があります。高い解像度を選んだ場合は、色数を「中（16 ビット）」に設定するなどしてお使いください。

仮想デスクトップのつながりを変更する

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［デスクトップの表示とテーマ］アイコンをクリックする。**

3 **［画面］アイコンをクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

次のページにつづく

4 [設定] タブをクリックする。

5 2と書かれているモニタの絵をドラッグし、1と書かれている
モニタと接するように移動させ、[OK] をクリックする。

デュアルディスプレイを解除するには

1 [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] を
クリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [デスクトップの表示とテーマ] アイコンをクリックする。

3 [画面] アイコンをクリックする。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 [設定] タブをクリックする。

5 2と書かれているモニタの絵を右クリックする。

6 ポップアップメニューの [接続] をクリックする。

7 [OK] をクリックする。

ご注意

ソフトウェアによっては、両方のディスプレイをご使用になれないことがあります。

ウィンドウのデザインを変更する

「UI Design Selector」ソフトウェアに対応したソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを好みに合わせて変更することができます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**
「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **画面左側の「関連項目」から「コントロール パネルのその他のオプション」アイコンをクリックする。**

3 **［UI Design Selector］アイコンをクリックする。**
「UI Design Selector」画面が表示されます。

4 **［<<］または［>>］をクリックして、デザインを選ぶ。**

5 **［適用］をクリックする。**
「UI Design Selector」画面のデザインが変わります。ソニー製ソフトウェアのウィンドウもこの画面と同じデザインになります。

6 **デザインを選び直すときは、［<<］または［>>］をクリックする。**

7 **［OK］をクリックする。**
ソニー製ソフトウェアのウィンドウのデザインが変更され、「UI Design Selector」画面が閉じます。

リカバリ CDで本機を再セットアップする

ここでは、付属のリカバリ CDを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

リカバリ CDでできること

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。
  詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（192ページ）をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindowsだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って行ってください。上記の操作を行わないと、本機の動作が不安定になる場合があります。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-RW、CD-Rにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップする。
  本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「本機を再セットアップするには」の手順に従って操作すると、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「本機を再セットアップするには」の手順14で［オプションリカバリ］を選び、表示された画面で［出荷時状態へリカバリ］または［パーティションサイズを変更してリカバリ］を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めすべて消えてしまいます。

本機を再セットアップするには

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタと本機専用ドライブのみを接続してから、作業を行ってください。
本機を再セットアップするには、下記の専用ドライブが必要です。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（192ページ）をご覧ください。

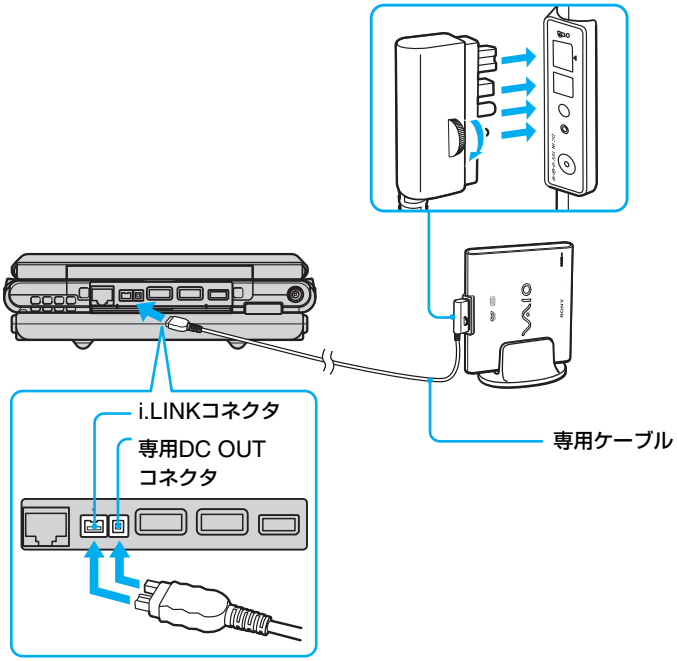
次のページにつづく

ご注意

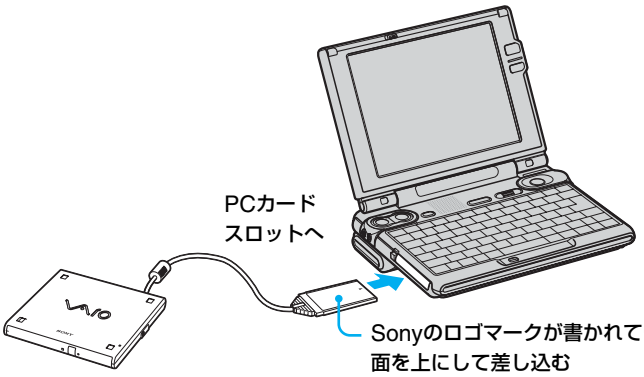
- i.LINK接続のドライブとPCカード接続のドライブを同時に接続してご使用にならないでください。本機の故障の原因になります。
- 再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップを行う前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。
- 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、PCGA-CRWD1などのi.LINK接続のドライブは使用できません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。（172ページ）

1 ドライブを本機に取り付ける。（91ページ）

i.LINK接続のドライブをお使いの場合



PCカード接続のドライブをお使いの場合



2 本機をACアダプタにつなぎ、電源を入れる。（33ページ）

3 付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1」をドライブに入れる。

4 [スタート]、[終了オプション] を順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る] をクリックして本機の電源を切る。

Windowsが正常に動作していない場合は、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して本機の電源を切ってください。

5 本機の電源を入れる。

6 Sonyのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

ディスプレイ画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

7 Escキーを押す。

8 ↑または↓キーで [Get Default Values] を選択し、Enterキーを押す。

9 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

次のページにつづく

10 **[Exit (Save Changes)] が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。**

11 **「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**
リカバリ CDから本機が起動し、しばらくすると「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます（画面が表示されるまで数分かかる場合があります）。

12 **内容をよく読み、［次へ］をクリックする。**
「はじめに」画面が表示されます。

13 **引き続き内容をよく読んでから［次へ］をクリックする。**
「メイン メニュー」画面が表示されます。

14 **［システムドライブをリカバリ］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。**
「実行確認」画面が表示されます。

15 **表示された内容をよく読んでから［次へ］をクリックする。**
リカバリ開始確認画面が表示されます。

16 **［はい］をクリックする。**
「リカバリ」画面が表示され、再セットアップが始まります。
再セットアップ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。
再セットアップを中止するときは、リカバリ開始確認画面で「いいえ」をクリックし、続いて「実行確認」画面で［キャンセル］をクリックします。

17 **「「システムリカバリ」の処理が完了しました。」と表示されたら［OK］をクリックし、「リカバリ」画面で［次へ］をクリックする。**

18 表示された画面の指示に従ってディスクを取り出してから、[完了] をクリックする。

[完了] をクリックすると、自動的に本機が再起動します。
Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。
「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでの間は（ポインタ）だけが表示されていますが、そのままお待ちください。
途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

19 「Windowsを準備する」（36ページ）の手順に従って、Windows のセットアップを行う。

20 付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。

21 [OK] をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

22 アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK] をクリックして本機を再起動する。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（工場出荷時）。付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。

動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなく、D:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはフロッピーディスクやCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 「本機を再セットアップするには」（187ページ）の手順1〜13を行う。

2 「メイン メニュー」画面が表示されたら、［オプションリカバリ］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。

「オプション メニュー」画面が表示されます。

3 ［パーティションサイズを変更してリカバリ］を選んでクリックし、［次へ］をクリックする。

「パーティション メニュー」画面が表示されます。

4 **C:ドライブのパーティションサイズをリストから指定し、［次へ］をクリックする。**

「実行確認」画面が表示されます。

5 **表示された内容をよく読んでから［次へ］をクリックする。**

リカバリ開始確認画面が表示されます。

6 **［はい］をクリックする。**

「リカバリ」画面が表示され、再セットアップとパーティションサイズの変更作業が始まります。

再セットアップ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

パーティションサイズの変更を中止するときは、リカバリ開始確認画面で「いいえ」をクリックし、続いて「実行確認」画面で［キャンセル］をクリックします。

7 **「「システムリカバリ」の処理が完了しました。」と表示されたら［OK］をクリックし、「リカバリ」画面で［次へ］をクリックする。**

8 **表示された画面の指示に従ってディスクを取り出してから、［完了］をクリックする。**

［完了］をクリックすると、自動的に本機が再起動します。

Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでの間は（ポインタ）だけが表示されていますが、そのままお待ちください。

途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

9 **「Windowsを準備する」（36ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。**

10 **付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。**

11 **［OK］をクリックする。**

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

次のページにつづく

12 アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わると
メッセージが表示されるので、[OK] をクリックして本機を再起
動する。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

困ったときは

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　この説明書やヘルプで調べる

- 「主なトラブルとその解決方法」（199ページ）をチェックする。
- ソフトウェアのヘルプ
- Windowsのヘルプ
  デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［ヘルプとサポート］をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。
- VAIOハードウェア診断ツール
  CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障があるかどうかを診断するソフトウェアです。

手順2　VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

手順3　VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

197ページのお問い合わせ先にご相談ください。

VAIOカスタマーリンク お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク
電話番号　（0466）30-3000
お問い合わせには、「VAIOカスタマーID」が必要です。（43ページ）
受付時間
平日　10時～20時
土、日、祝日　10時～17時
（年末年始は除く）

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェア一覧」（227ページ）に記載しています。
- Windows XP Professional 搭載モデルをお使いの場合、技術的なお問い合わせについては、本機のご購入から90日間無料で対応いたします。ご購入日から91日以降は、「アドバンストサポート」による有償でのサポートメニューをご用意しております。
  詳しくは、付属の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

① お客様のVAIOカスタマーID
② 本機の型名：IDラベル（24ページ）または、保証書に記載されています
③ 本機の製造番号：保証書などに記載されている7桁の番号です
④ カスタマー登録していていただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している周辺機器名：メーカー名と型名

次のページにつづく

⑥ 表示されたエラーメッセージ
⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン
⑧ トラブルが発生する前または直前に行った操作
⑨ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか
⑩ その他お気づきの点

修理の場合は
⑪ VAIOカルテ：修理をお申し込みになるとき
⑫ 筆記用具：修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」（41ページ）の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

- 電源（200ページ）
- Windowsの起動（203ページ）
- インターネット（205ページ）
- カスタマー登録（206ページ）
- 液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ（207ページ）
- ポインティング・デバイス（209ページ）
- キーボード（210ページ）
- フロッピーディスク（212ページ）
- CD-ROM・DVD-ROM（213ページ）
- “メモリースティック”（214ページ）
- DV機器・i.LINK機器（214ページ）
- プリンタ（216ページ）
- PCカード（216ページ）
- スピーカー・ヘッドホン（217ページ）
- マイク（219ページ）
- パスワード（220ページ）
- 省電力動作モード（221ページ）
- ハードディスク（222ページ）
- ソフトウェア（223ページ）
- 文字入力（224ページ）
- プロセッサ（CPU）（225ページ）
- ZOOM INボタン（225ページ）

付属の「VAIOハードウェア診断ツール」ソフトウェアを使うと、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障があるかどうか自動的に診断できます。

電源

電源が入らない。(⏻ (パワー) ランプがつかないとき)

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタやバッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合
プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ (28ページ) を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合
本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所 (80 %以上) でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

→ スタンバイ中に電源が切れた場合
スタンバイ中に何らかの理由で電源が切れた場合、電源が入らないことがあります。
この場合は、ACアダプタとバッテリを一度はずし、5分程してから再度取り付け直して電源を入れてください。

電源が入らない。(⏻ (パワー) ランプ (グリーン) が点灯するとき)

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタやバッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ (28ページ) を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（65ページ）をご覧ください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。

→ 使用中のソフトウェアをすべて終了する。

→ PCカードをお使いの場合は、「PCカードを取り出す」（161ページ）の手順に従ってPCカードを取り出す。

→ USB機器を接続しているときは取りはずす。

→ 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windows XPは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

→ 「電源を切る」（41ページ）の操作をしても、「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合

まず、Enterキーを押します。それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

次のページにつづく

→［スタート］メニューから［終了オプション］を選んでも電源が切れない場合

Altキーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、［電源を切る］をクリックしてください。
Altキーを押しながらF4キーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面を表示させます。「シャットダウン」メニューをクリックし、［コンピュータの電源を切る］をクリックしてください。
それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

→ 本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（28ページ）を押してください。
シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

→ 上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリをはずしてください。

これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」（41ページ）の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

電源が勝手に切れた。

→ バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、注意を促すメッセージが画面に表示され、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

Windowsの起動

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブに起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。（192ページ）

電源を入れると「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。

→ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。

本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして ⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、🄰1（Num Lock）ランプや 🄰A（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

次のページにつづく

CD-ROMから起動できない。

→ 下記の専用ドライブ以外からは、本機を起動できません。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリが消耗している。
以下の操作を行ってください。

1 電源を入れ、Sonyのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

①「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2002年1月31日と設定するには、
1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2002＋Enterキーの順で入力します。

②↓キーで「System Time」を選び、時刻を入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、
14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

3 Escキーを押す。

4 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

5「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

6［Exit(Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

7「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

起動時にVAIOロゴが表示されない、音が鳴らない。

→「Sony Notebook Setup」で起動時の設定を変更してください。

インターネット

接続できない。

→ ADSLモデムやモデムカード、PHSカードなどお使いになる機器が本機に正しく接続されているか、また使用できる状態になっているか確認してください。詳しくは、お使いになる機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ホームページが表示されない。

→ Webブラウザの設定を確認してください。

プロバイダによっては、Webブラウザの設定が必要な場合があります。契約したプロバイダから送られてくる資料などをご覧になり、設定を確認してください。

→ アドレスバーに表示されているURLが正しく入力されているか確認してください。URLは半角英数字で入力してください。

電子メールを送受信できない。

→「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合

次の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認してください。

1 [スタート] ボタンをクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[Outlook Express] をクリックする。

「Outlook Express」が起動します。

「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[オフライン作業] をクリックします。

2 画面上部の [ツール] をクリックし、表示されるメニューから [アカウント] をクリックする。

「インターネット アカウント」画面が表示されます。

3 [メール] タブをクリックする。

4 お使いのアカウントをクリックして選び、[プロパティ] をクリックする。

5 各タブをクリックし、各項目が正しく入力されているか確認する。

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

次のページにつづく

→「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合。

それぞれのソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧になり、正しく設定されているか確認してください。

電子メール送受信について詳しくは、「電子メールをやりとりする」（110ページ）をご覧ください。

モデムカードなどを使って接続できない。

→ お使いになる機器や接続アダプタなどに付属の取扱説明書をご覧になり、設定を確認してください。

→ 下記の手順で所在地情報を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2［プリンタとその他のハードウェア］アイコンをクリックする。

3［電話とモデムのオプション］アイコンをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 設定されている所在地をクリックして選び、［編集］をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

5［全般］タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」など実在しない番号を入力する。

カスタマー登録

オンラインでカスタマー登録できない。

→ 本機は内蔵モデムを搭載しておりません。VAIOオンラインカスタマー登録をご利用いただくには、本機の NETWORK（ネットワーク）コネクタや別売りのモデムカード、PHSカードなどを使ってあらかじめインターネットに接続していることが必要です。

→ ADSLモデムやモデムカード、PHSカードなどお使いになる機器が本機に正しく接続されているか、また使用できる状態になっているか確認してください。

詳しくは、お使いになる機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ

液晶ディスプレイに何も表示されない。

→ LCD/Videoスタンバイになっている。ワイドスティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。（65ページ）

液晶ディスプレイが暗い。

→ Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。（65ページ）

→ 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ *1）。ワイドスティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイまたはスタンバイ *1）。さらに数分間操作をしないと、システムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります（休止状態 *1）。
元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻（パワー）ランプがグリーンで点灯（LCD/Videoスタンバイ）
  ワイドスティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す
- ⏻（パワー）ランプがアンバー（赤褐色）で点滅（スタンバイ）
  スタンバイボタンまたはキーボードのいずれかのキー、⏻（パワー）ボタンを押す *2。
- ⏻（パワー）ランプが消灯（休止状態または電源オフ）
  スタンバイボタンまたは⏻（パワー）ボタンを押す *2。

*1 詳しくは、「省電力動作モードについて」（175ページ）をご覧ください。
*2 ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

次のページにつづく

液晶ディスプレイの明るさ設定が変わってしまう。

→ 本機では「PowerPanel」ソフトウェアを使って、ACアダプタを抜き差したときなどに最適な動作モードになるよう、自動的にパワープロファイルが切り替わります（パワーマネージメント機能）。
Fnキーを押しながらF5キーを押すことで設定する液晶ディスプレイの明るさは、一時的なものです。特定のプロファイルで液晶ディスプレイの明るさ設定を保存したい場合は、下記の手順に従って操作してください。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして、表示されたメニューから［プロファイルの編集/作成］をクリックする。
「プロファイルエディタ」が起動します。

2 画面左から設定を変更したいプロファイルをクリックする。
工場出荷時の状態では、バッテリ動作時は自動的に「スタミナ」プロファイルが選択されます。

3 画面右から［LCDBrightness］をダブルクリックする。
設定値のリストが表示されます。現在有効な設定値がチェックされています。

4 好みの設定値をクリックする。

5「ファイル」メニューをクリックし、［保存］をクリックする。

6「ファイル」メニューをクリックし、［終了］をクリックする。
「プロファイルエディタ」が終了し、手順4で選んだ設定値が有効になります。

外部ディスプレイに何も表示されない。

→ 表示するディスプレイの設定を確認してください。（179ページ）

→ 本機を起動中、ユーザーの簡易切り替えを行うと、その後Fnキーを押しながらF7キーを押して表示するディスプレイを変更することができません。
本機起動時のユーザーでログオンし直すか、「表示するディスプレイを選ぶ」（179ページ）の手順に従って設定を変更してください。

液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVDビデオなどを同時に表示できない。

→ 液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVDビデオなどを同時に表示することはできません。
表示するディスプレイを選択してください。（179ページ）

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ 外部ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、外部ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

→ 外部ディスプレイや液晶プロジェクタと本機の液晶ディスプレイを同時に表示する場合は、画面表示の設定を変更してお使いください。（178ページ）

デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

→ ⊞ キーを押しながらDキーを2回押す。

ポインティング・デバイス

ワイドスティックに触れていないのに画面上のポインタが動く。

→ キーボードの矢印キーなどを押していないことを確認してください。

→ 通常の操作状態でワイドスティックを使っていないにもかかわらず、ポインタが自然に動くことがあります。これは「ドリフト」といい、故障ではありません。
しばらくワイドスティックから指を離しておけば、ポインタは止まります。
ドリフトは以下の場合に起こることがあります。

- 電源を入れた直後
- スタンバイから通常モードの状態に戻った直後
- ワイドスティックを長時間使用し続けたとき
- 温度が急激に変化したとき

画面上のポインタが動かない。

→ CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどにポインタが動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させ、「アプリケーション」タブでディスクの再生を強制的に終わらせ、次の手順で本機を再起動する。

→ ⊞ キーを押して［スタート］メニューを表示させ、↑キーを押して［終了オプション］を選んでEnterキーを押し、↑キーまたは↓キーを押して［電源を切る］または［再起動］を選び、Enterキーを押す。

→ 上記の操作で電源が切れないまたは再起動しない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させ、Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［コンピュータの電源を切る］または［再起動］を選び、Enterキーを押す。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切る。

次のページにつづく

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」画面を表示させ、Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［再起動］を選び、Enterキーを押して本機を再起動する。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切る。

「FlyingPointer」ソフトウェアを使って相手先のコンピュータと接続中なのに、相手のコンピュータに （「FlyingPointer」のポインタ）が表示されない。

→ 本機と相手先のコンピュータとが正しく接続されているか確認してください。（134ページ）

→ 本機と相手先のコンピュータそれぞれで「FlyingPointer」をいったん終了し（138ページ）、再度「FlyingPointer」を起動してから接続し直してください。

キーボード

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
🔒（Num Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（63ページ）

→ 次の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

3 ［システム］アイコンをクリックする。

4 「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

5 キーボードの項目が「日本語 PS/2キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認する。

→「ThumbPhrase」ソフトウェアが起動されている。「ThumbPhrase」入力は通常と入力方法が違います。ThumbPhraseボタンを押して「ThumbPhrase」ソフトウェアを終了してください。（119ページ）

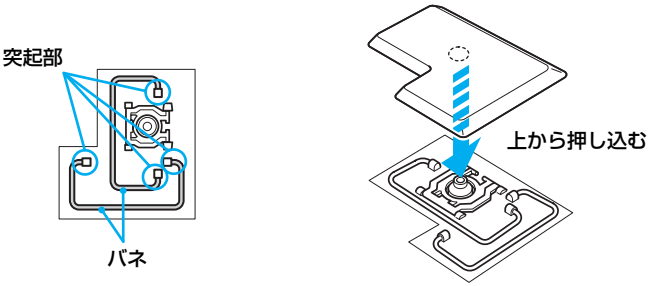
キートップがはずれた。

→ Enterキーとキーボード左側のShiftキー、スペースキーは下図に従って取り付けてください。
その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込んでください。

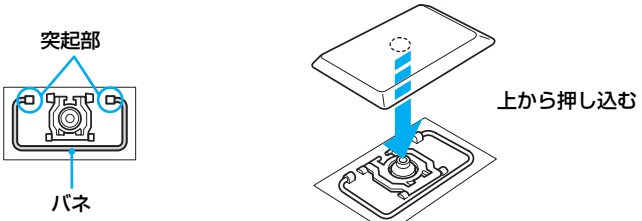
キートップの取り付けかた

キートップから針金のバネを取りはずして、突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせて「カチッ」と音がするまで上から押し込みます。

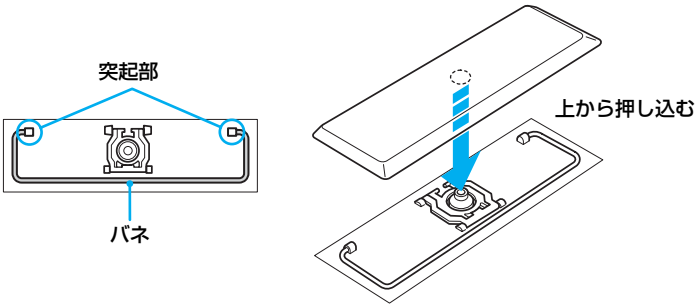
Enterキー



Shiftキー



スペースキー



ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

→ USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直す。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。（87ページ）

「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。（87ページ）

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認する。

→ 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容が画面で表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

ハードディスクから起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

フロッピーディスクにアクセスできない。

→ お使いになるフロッピーディスクのフォーマットなどをご確認ください。

本機で使用できるフロッピーディスクについては、「使用できるフロッピーディスク」をご覧ください。（89ページ）

CD-ROM・DVD-ROM

CD-ROMから起動できない。

→ 下記の専用ドライブ以外からは、本機を起動できません。専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

マイコンピュータにドライブアイコンが表示されない。

→ 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、PCGA-CRWD1などのi.LINK接続のドライブは使用できません。
「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。
(172ページ)

音楽CDを再生すると、音飛びが発生する。

→ CD-ROMドライブPCGA-CD51/Aをお使いの場合、音楽CDを再生すると、音飛びが発生する場合があります。
そのときは、下記手順をお試しください。

- 「Windows Media Player」の場合
  ①「ツール」メニューから［オプション］を選ぶ。
  ②［デバイス］タブをクリックして、「デバイス」欄にある［お使いのドライブ］をダブルクリックする。
  ③「再生」欄の［エラー訂正を使う］チェックボックスをクリックしてチェックする。
  ④［OK］をクリックする。
- 「SonicStage」の場合
  ①「ツール」メニューから［設定］を選ぶ。
  ②［CD録音/再生2］タブをクリックして、「CD再生方式」の右にある［設定］をクリックする。
  ③［MCI］をクリックしてチェックする。
  ④［OK］をクリックする。

“メモリースティック”

「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。

→ “メモリースティック”が書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。（82ページ）

“メモリースティック”を挿入すると、「このメディアは使用できません。著作権非対応のメディアか不正なメディアが挿入されています」などのメッセージが表示される。

→ “メモリースティック”内に保存されている静止画像などを表示／再生する場合は、次の手順で「SonicStage」ソフトウェアの設定を確認してください。

1 **［スタート］ボタンをクリックする。**

2 **［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［SonicStage］から、［SonicStage］をクリックする。**

3 **［ツール］メニューから［設定］を選んでクリックする。**

4 **［全般］タブをクリックする。**

5 **「SonicStage Startupをタスクトレーに追加する」がチェックされていないことを確認する。**

チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

6 **［OK］をクリックする。**

DV機器・i.LINK機器

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認する。詳しくは「i.LINK対応機器をつなぐ」（144ページ）をご覧ください。

→ i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

→ 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。（172ページ）

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。詳しくは「i.LINK対応機器をつなぐ」（144ページ）をご覧ください。

→「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。（172ページ）

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

→ DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。
さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。詳しくは、「メモリを増設する」（155ページ）をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる

→ 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。その場合は、メモリの増設をしてください。詳しくは、「メモリを増設する」（155ページ）をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込めない。

→「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。（172ページ）

次のページにつづく

i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。

→ お使いの機種によっては、本機とデータのやりとりができない場合があります。
詳しくは、「i.LINK対応機器とデータをやりとりする」（143ページ）をご覧ください。

→ i.LINKケーブルをいったん抜いてもう1度挿し直してください。しばらく待って接続できないときは再起動してください。

→ ネットワークの設定によっては、省電力動作モードから復帰後に接続できなくなることがあります。その場合は、省電力動作モードに入らないようにしてご使用ください。

→ i.LINKケーブルを接続したときに、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されることがありますが、接続には問題ありません。表示された場合は次の操作を行ってください。

1 **［次へ］をクリックする。**

2 **「このハードウェアをインストールできません」画面で、「このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない」のチェックボックスをクリックしてチェックする。**

3 **［完了］をクリックして終了する。**

プリンタ

プリンタで印刷できない。

→ Windows XP対応でないプリンタドライバではお使いになれません。

→ お使いのプリンタの製造元からWindows XPに対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

PCカード

PCカードが使えない。

→ Windows XP対応でないPCカードは使えないことがあります。

→ 以前使用できたPCカードが使用できなくなった場合は、次の手順でドライバの更新を行ってください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。**

2 **［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。**

3 **［システム］アイコンをクリックする。**

4 [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] をクリックする。

5 動作しないPCカードをダブルクリックして、プロパティ画面を表示する。

6 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] をクリックする。

→ ドライバの更新を行っても使用できない場合は、PCカード製造元にお問い合わせください。

スピーカー・ヘッドホン

スピーカーから音が出ない。

→ 本機の内蔵スピーカーが「切」になっている。Fnキーを押しながら、F3キーを押す。

→ 本機の内蔵スピーカーの音量が最小になっている。Fnキーを押しながら、F4キーを押したあと、↑または→キーを押して音量を上げる。(65ページ)

→ 再生音量を確認する。

→ 外部スピーカーをお使いの場合は、本機とスピーカーが正しく接続されているか確認する。

→ 外部スピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げる。詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ ∩ コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずす。

本機に接続したドライブで音楽CDを再生してもスピーカーから音が出ない。

→ CD-RW/DVD-ROMドライブ PCGA-CRWD1、DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1または、CD-ROMドライブ PCGA-CD51/Aをお使いの場合は、本機にドライブをつないだ状態で次の手順で設定を確認してください。

1 [スタート] ボタンをクリックして [コントロール パネル] をクリックする。

2 [サウンド、音声、およびオーディオ デバイス] をクリックする。

3 [サウンドとオーディオデバイス] をクリックする。

4 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイス] に表示されたリストからお使いのドライブを選んで [プロパティ] をクリックする。

5 [プロパティ] タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする] のチェックボックスがチェックされていることを確認する。

チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

次のページにつづく

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

→ 次の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、サウンドデバイスを使用できるように設定してください。

1 [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。

2 [パフォーマンスとメンテナンス] アイコンをクリックする。

3 [システム] アイコンをクリックする。

4 [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] をクリックする。

「Windows Media Player」ソフトウェアで録音すると雑音が混じる。

→ 次の手順で設定をしたあと、再度録音し直してください。

1 [スタート] ボタンをクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[Windows Media Player] をクリックする。

「Windows Media Player」ソフトウェアが起動します。

2 [ツール] メニューから [オプション] をクリックする。

3 [デバイス] タブをクリックする。

デバイスの一覧が表示されます。

4 [CDドライブ] をクリックし、[プロパティ] をクリックする。

5 「コピー」の [エラー訂正を使う] のチェックボックスをクリックしてチェックする。

6 [OK] をクリックする。

7 [OK] をクリックする。

PCカード挿入時の音など一部のシステム音が出ない。

→ 次の手順に従って操作し、オーディオドライバの省電力動作モード設定を「通常」または「部分的に節約」に設定してください。

1 [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 画面左側の「関連項目」から、[コントロール パネルのその他のオプション] アイコンをクリックする。

3 [ヤマハ AC-XG] アイコンをクリックする。

4 [省電力] タブをクリックする。

5 「電力消費の程度」を「通常」または「部分的に節約」に設定する。

6 [OK] をクリックする。

スピーカーやヘッドホンなどで音を聞くと雑音が混じる。

→「PowerPanel」ソフトウェアの「CPU制御」が「自動調節」になっているとき、まれに雑音が混じることがあります。この場合は、次の手順で「PowerPanel」の「CPU制御」を「パフォーマンス」または「省電力」に設定してください。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして、表示されたメニューから［プロファイルの編集／作成］をクリックする。

「プロファイルエディタ」が起動します。

2 画面左から設定を変更したいプロファイルをクリックする。

工場出荷時の状態では、バッテリ動作時は自動的に「スタミナ」プロファイルが選択されます。

3 画面右から「CPU制御」をダブルクリックする。

CPU制御のリストが表示されます。現在の設定にチェックがされています。

4「パフォーマンス」または「省電力」をクリックする。

CPUに高い負荷のかかるソフトウェアを使用する場合は、「パフォーマンス」を選んでください。

5「ファイル」メニューをクリックし、［保存］をクリックする。

6「ファイル」メニューをクリックし、［終了］をクリックする。

「プロファイルエディタ」が終了し、手順4での設定が有効になります。

スピーカー音量が大きいまたは小さい。

→ 次の手順で音量を調節してください。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。

2「Volume Control」の音量スライダを上下に動かして音量を調節する。

マイク

マイクが使えない。

→ 録音デバイスとしてマイクが選択されていない可能性があります。次の手順に従って選択してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2［サウンド、音声、およびオーディオ デバイス］をクリックする。

3 画面左側の「関連項目」から、［詳細ボリュームコントロール］をクリックする。

「ボリュームコントロール」画面が表示されます。

4［オプション］メニューから［プロパティ］を選ぶ。

次のページにつづく

5 「音量の調整」の［録音］と「表示するコントロール」のマイクの項目をチェックし、［OK］をクリックする。

6 マイクの項目の［選択］がチェックされていることを確認する。

チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

7 スライダを上下に動かして好みの音量に調整する。

→「Windows Media Player」などの音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

→ プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。

音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

→ 次の手順で操作して、マイクエコーを無効にしてください。

1［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2［コントロール パネルのその他のオプション］アイコンをクリックする。

3［ヤマハ AC-XG］アイコンをクリックする。

4［エコー］タブをクリックする。

5［有効］をクリックしてチェックをはずし、［OK］をクリックする。

→ 他の音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

マイク音量が大きいまたは小さい。

→ 次の手順で音量を調節してください。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。

2［オプション］メニューから［プロパティ］を選ぶ。

3「音量の調節」の［録音］をチェックして、［OK］をクリックする。

4 マイクの項目の［選択］がチェックされていることを確認する。

マイクの項目が表示されていない場合は、［オプション］メニューから［プロパティ］を選び、「表示するコントロール」のマイクの項目をチェックして、［OK］をクリックしてください。

5 マイクの項目の音量スライダを上下に動かして音量を調節する。

パスワード

パスワードを忘れた。

→ パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

省電力動作モード

バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。

→ 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
また、制限ユーザーでご使用中の場合にも、自動的には休止状態になりません。

休止状態に移行できない。

次の操作を行ってください。

→ プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

→ それでも休止状態に移行できない場合は、下記の手順で休止状態に設定されているか確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

2［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

3［電源オプション］アイコンをクリックする。
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4［休止状態］タブで「休止状態を有効にする」がチェックされているか確認する。
チェックされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックしてください。

5［詳細設定］タブをクリックする。

6「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」が「休止状態」になっているか確認する。
「休止状態」になっていないときは、 をクリックして［休止状態］を選び、［OK］をクリックしてください。

次のページにつづく

スタンバイに移行できない。

次の操作を行ってください。

→ プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

→ スタンバイボタンまたはFnキーを押しながらF12キーで移行できない場合は、下記の手順でスタンバイに設定されているか確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［コントロール パネル］をクリックする。

2［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

3［電源オプション］アイコンをクリックする。

「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4［詳細設定］タブをクリックする。

5「電源ボタン」の「コンピュータのスリープボタンを押したとき」が「スタンバイ」になっているか確認する。

「スタンバイ」になっていない場合は、 をクリックして［スタンバイ］を選び、［OK］をクリックしてください。

電源オプションの設定が有効にならない。

→ 付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使用して設定してください。本機では、「PowerPanel」で省電力動作モードを管理しています。
設定方法について詳しくは、「プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する」（174ページ）をご覧ください。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。（186ページ）

ハードディスクから起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

ソフトウェア

「SonicStage」ソフトウェアで音楽データが取り込めない。

→「SonicStage」ソフトウェアでハードディスクに取り込んだ音楽ファイルはD:ドライブに保存されるようにあらかじめ設定されています。本機のハードディスクのパーティションサイズを変更し、C:ドライブのみに割り当てた場合、以下の手順に従って、「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルの保存先を変更してください。

1 [スタート] → [マイコンピュータ] → [ローカルディスク (C:)] → [Documents and Settings] → [All Users] → [共有ドキュメント] → [共有ミュージック] に、音楽CDから取り込んだ音楽ファイルを保存するフォルダとEMDファイルを保存するフォルダをそれぞれ作成し、名前を付ける。

2 「SonicStage」ソフトウェアを起動する。

3 「SonicStage」の [ツール] メニューから [設定] を選ぶ。

「設定」画面が表示されます。

4 [CD録音/再生1] タブをクリックする。

5 「録音したファイルの保存先」の [参照] をクリックする。

6 手順1で作成した音楽CDから取り込んだ音楽ファイルを保存するフォルダを選択し、[OK] をクリックする。

7 「設定」画面の [インポート] タブをクリックする。

8 [EMDファイルの保存先設定] をクリックする。

「ファイルの保存先」画面が表示されます。

9 [参照] をクリックする。

10 手順1で作成したEMDファイルを保存するフォルダを選択し、[OK] をクリックする。

11 「ファイルの保存先」画面の [OK] をクリックする。

12 「設定」画面の [OK] をクリックする。

13 「SonicStage」ソフトウェアを再起動する。

設定が有効になります。

取り込んだ音楽ファイルの保存先を設定する際のご注意

- “C:¥Documents and Settings¥<ユーザー名>¥”の下など、特定ユーザーしかアクセスできないフォルダを音楽ファイルの保存先に設定しないでください。
- “C:¥Program Files”の下や“C:¥Windows”の下など、システムを正常に保つためのファイルが含まれているフォルダを音楽ファイルの保存先に設定しないでください。
- ドライブからのパス名が半角200文字を超える、階層の深いフォルダは、保存先として指定できません。

文字入力

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
1（Num Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（63ページ）

→ 次の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1［スタート］ボタンをクリックして、［コントロール パネル］をクリックする。

2［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

3［システム］アイコンをクリックする。

4「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

5 キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認する。

→「ThumbPhrase」ソフトウェアが起動されている。「ThumbPhrase」入力は通常と入力方法が違います。ThumbPhraseボタンを押して「ThumbPhrase」ソフトウェアを終了してください。（119ページ）

入力した文字が表示されない。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（ディスプレイ上では薄い色の画面になります。）画面のどこかをクリックするか、Alt キーとTabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする。

IME の言語バーが表示されない。

→ IME の言語バーが表示されない場合は、次の手順で操作し、言語バーを表示させてください。

1［スタート］ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックする。

2［日付、時刻、地域と言語のオプション］、［地域と言語のオプション］アイコンを順にクリックする。

「地域と言語のオプション」画面が表示されます。

3［言語］タブをクリックし、［詳細］をクリックする。

「テキスト サービスと入力言語」画面が表示されます。

4「言語バー」をクリックする。

「言語バーの設定」画面が表示されます。

5［言語バーをデスクトップ上に表示する］をクリックしてチェックし、［OK］をクリックする。

6「テキスト サービスと入力言語」画面、「地域と言語のオプション」画面でそれぞれ［OK］をクリックして画面を閉じる。

言語バー右上の （最小化ボタン）をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスクバーに常に表示させておくことができます。

プロセッサ（CPU）

「システムのプロパティ」画面でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。

→「システムのプロパティ」画面にはCPUのクロック周波数が低めに表示される場合があります。

ZOOM INボタン

ZOOM INボタンが機能せず、画面の解像度が切り替わらない。

→ 複数のユーザーを登録して本機を使用する場合、ZOOM INボタンを押して解像度を800 × 600ドットの状態にしたまま他のユーザーに切り替えると、その後ZOOM INボタンが使用できなくなります。ユーザーを切り替える際は、ZOOM INボタンを押して解像度をもとの設定に戻してから行ってください。

→「画面のプロパティ」で液晶ディスプレイの解像度を800 × 600ドットに設定した場合は、ZOOM INボタンを押しても切り替わりません。「画面のプロパティ」で他の設定に変更してください。
変更手順について詳しくは、「ディスプレイの設定を変更する」（178ページ）をご覧ください。

→ CPUに高い負担のかかるソフトウェアを実行中に、ZOOM INボタンを押すと、不具合が生じることがあります。このような場合は、ZOOM INボタンをお使いにならないことをおすすめします。

付属ソフトウェア一覧

ここでは、本機に付属しているソフトウェアについて簡単に説明しています。付属ソフトウェアに関する詳細のお知らせにつきましては、それぞれのヘルプをご覧いただくか、各お問い合わせ先へ直接ご連絡ください。お問い合わせ先は、各ソフトウェアの説明の下に記載されています。

付属ソフトウェアをお使いになる前のご注意

Windows XPは、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］→［ユーザーアカウント］を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

クリエーション

DigitalPrint Version 1.1

「DigitalPrint（デジタルプリント）」は、デジタルスチルカメラで撮った画像などを使って、オリジナルのフォトアルバムやCDやMDのラベルづくりなどを楽しめるソニーオリジナルソフトウェアです。ランチャーを採用したGUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）によるわかりやすい操作と、豊富なテンプレートで、手軽に作成・印刷*ができます。

* 印刷には市販のプリンタが必要です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［デジタルプリント］→［デジタルプリント］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「デジタルプリント」の画面下の「このソフトの使い方」からヘルプを開きます。

CDにラベルを貼り付ける際のご注意

- ラベルが均一に貼り付けられていないと、異音やデータが読み出せないなどの不具合の原因となることがあります。
- CD-RやCD-RWを使用したデータ書き込みの際に、ラベルを貼り付けたディスクを使用すると、エラーや故障の原因となることがあります。
  データを書き込むときは、ラベルを貼っていないディスクをご使用ください。
- DVD-RやDVD-RWは特に高い精度が求められますので、ラベルは貼り付けないでください。
- ラベルの貼り付けに起因する不具合やメディアの損失については、当社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。

DVgate Version 2.5

i.LINK（IEEE1394）コネクタまたはDV端子を持つデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器と映像をやりとりするためのソフトウェアです。i.LINK対応機器からコンピュータに動画や静止画を取り込んだり、コンピュータで作成した映像をi.LINK対応機器で録画したりできます。また、取り込んだ動画や静止画のカット編集を行うこともできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	目的に合わせて、［スタート］→［すべてのプログラム］→［DVgate］→［DVgate Assemble］、［DVgate Motion］、［DVgate Still］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［DVgate］→［DVgate ヘルプ］をクリックしてヘルプをご覧ください。

ご注意

「DVgate」ソフトウェアを使うには、データのスペースとしてD:ドライブが必要です。本機は、ハードディスクドライブがC:ドライブとD:ドライブの2つに分かれています（工場出荷時）。付属のリカバリCD-ROMを使って、パーティションサイズを変更できます。操作のしかたなど詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（192ページ）をご覧ください。

MovieShaker Version 3.3

デジタルビデオカメラレコーダーなどから動画を取り込み、手軽に編集し、楽しむためのソフトウェアです。
文字タイトルなどのさまざまな特殊効果を加えるなど、簡単に動画編集ができます。
また、作成したデータをデジタルビデオカメラレコーダーに録画したり、ホームページに掲載したり、ImageStationへアップロードすることができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [MovieShaker] → [MovieShaker] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [MovieShaker] → [MovieShaker ヘルプ] をクリックします。

商標について

この製品は、マクロメディア社のMacromedia® Flash™ Player ソフトウェア技術を採用しています。
Copyright © 1995-2001 Macromedia, Inc. All rights reserved.
MacromediaおよびFlashは、Macromedia, Inc.の商標または登録商標です。

PictureGear Version 5.1

いろいろな種類の画像や映像データを一括して表示し、管理・活用するためのソフトウェアです。動画から画像を合成したり、HTMLアルバムやスライドショーなど画像データを使って、いろいろなものを作ることができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [PictureGear 5.1] → [PictureGear 5.1] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「PictureGear Version 5.1」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開くか、[スタート] → [すべてのプログラム] → [VAIOソフトウェアはこちら] → [VAIOソフトウェアマニュアル] → [PictureGear マニュアル] をクリックして電子マニュアルをご覧ください。

PictureToy Version 1.1

写真や地図などの静止画を下敷きとして、その上に重ねてお絵描きができるソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [PictureToy 1.1] → [PictureToy 1.1] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「PictureToy」の [MENU] をクリックしてから [Help] をクリックしてヘルプを開きます。

VAIO Edit Components

「Adobe Premiere 6」に機能を追加するプラグインソフトウェアです。
ソニーオリジナルのDV software CODECを使用し、画質劣化を抑えたプレビューファイルの作成、およびAVIファイルへの出力を行うことができます。
また、編集中の画像をi.LINKにプレビュー出力することもできます。

ご注意

- 「DVgate」ソフトウェアを使ってDVテープに書き戻しを行う場合や、MPEG2に変換する際は、本プラグインを使ってムービー作成を行う必要があります。
- 本プラグインは、「Adobe Premiere 6.0」および「Adobe Premiere 6.0 LE」で動作します。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク
電話番号：(0466) 30-3000

お使いになるときは	このソフトは「Premiere 6.0」または「Premiere 6.0 LE」をご購入いただき、本機 にインストールした場合のみ使用できます。また、このソフトを使用する場合にはインストールが必要です。[スタート] → [すべてのプログラム] → [VAIO Edit Components] → [インストールVAIO Edit Components] をクリックし、画面の指示に従ってインストールをしてください。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [VAIO Edit Components] → [VAIO Edit Components ヘルプ] をクリックします。

オーディオ&ビジュアル

Beatnik Player Version 2.0

インターネット上で音楽やサウンドをインタラクティブに体験することを可能にする、ウェブブラウザ用のプラグイン・ソフトウェアです。
Beatnik対応のホームページを閲覧すると、アイコンにマウスポインタを合わせただけで音声やジングルが聞こえたり、瞬時に楽曲を試聴したり、音楽を編集して楽しむリミックスを体験することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先

電子メール：vaiouser@beatnik.com

操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Beatnik Player] → [ドキュメント（オンライン）] をクリックして表示します。インターネットに接続する必要があります。

商標について

Beatnik PlayerはBeatnik, Inc.の登録商標です。

PicoPlayer Version 5.0

「Giga Pocket」ソフトウェア（Version 4.0以降）が搭載されているVAIOと組み合わせて使用するソフトウェアです。ご利用にあたっては、本機の他に「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されているVAIOが必要です。
「Giga Pocket」ソフトウェアで録画したテレビ番組（MPEG1形式のみ）を再生したり、「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されているVAIOへ録画予約を設定することができます。
また、「Giga Pocket」ソフトウェア（Version 4.3 以降）が搭載されているVAIOと組み合わせて、放送中の番組を試聴することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［Giga Pocket］→［PicoPlayer］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［Giga Pocket］→［PicoPlayer ヘルプ］をクリックするか、［PicoPlayer］のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

QuickTime 5

QuickTimeは、マルチプラットフォーム対応マルチメディア・アーキテクチャーの業界標準です。
多くのソフトウェア会社やコンテンツ・クリエーターが、グラフィックスや音、映像、文書、音楽を提供するのに利用している技術です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	目的に合わせて、[スタート] →[すべてのプログラム] → [QuickTime] → [QuickTime Player]、[PictureViewer] をクリック、またはデスクトップ画面上の [QuickTime Player] をダブルクリックして起動します。

商標について

QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.

RealJukebox 2 Basic

音楽CDをハードディスクに取り込んで管理したり、インターネットを利用して音楽CDに関する音楽情報を見るのに適しているソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
リアルネットワークス株式会社　サポートセンター

電話番号：(03) 5302-2313

お使いになる前に	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Real] → [RealJukebox] → [RealJukeboxライセンス契約] をクリックして使用許諾契約書を開きます。
起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Real] → [RealJukebox] → [RealJukebox] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Real] → [RealJukebox] → [RealJukebox ヘルプ] をクリックするか、「RealJukebox」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

- 「SonicStage」と「RealJukebox」を同時に起動しないでください。
  本機や外部機器、“MGメモリースティック”内に収録された音楽ファイルが壊れ、正常に再生できなくなる場合があります。
- 本機で音楽CDのバックアップやオリジナルCDを作成するときには、「SonicStage」をご使用ください。
  ソニーは、RealJukeboxの「カスタムCD作成機能」は動作保証しておりません。お使いになる場合は、RealNetworks社のホームページのTrouble Shootingのページをご覧ください。

次のページにつづく

- 「RealJukebox」は、“MGメモリースティック”や外部機器に収録された「曲の移動 *」に対応した音楽ファイルを、本機のハードディスクに移動する機能には対応していません。
  「RealJukebox」を使って、“MGメモリースティック”や外部機器に収録された「曲の移動」に対応した音楽ファイルを削除してしまうと、データが完全に消去されてしまいますので、ご注意ください。
  「曲の移動」に対応した音楽ファイルを操作する場合は、「SonicStage」をお使いください。
  * 「曲の移動」について詳しくは、「SonicStage」のヘルプを開き、「外部機器・メディアの曲を操作する」の「MGメモリースティックからコンピュータに曲を移動する」をご覧ください。
- 「RealJukebox」は、OpenMGに対応した音楽配信サービスからダウンロードされた音楽ファイルを本機で再生することは可能ですが、外部機器やメディアへチェックアウトすることはできません。
  音楽配信サービスをお使いになる場合には、「SonicStage」をお使いください。
- 「RealJukebox」ソフトウェアで音楽CDをお使いになるときは、「RealJukebox」を起動する前にあらかじめ下記のいずれかの専用ドライブを取り付けておいてください。
  また、「RealJukebox」の起動中はドライブの着脱を行わないでください。「RealJukebox」が不正に終了することがあります。
  – CD-RW/DVD-ROMドライブ　PCGA-CRWD1
  – DVD-ROMドライブ PCGA-DVD1
  – CD-ROMドライブ PCGA-CD51/A

商標について

「RealJukebox」は、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。

RealPlayer 8 Basic

インターネットライブなど、インターネットで配信されているストリーミング動画を再生するソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
リアルネットワークス株式会社　サポートセンター

電話番号：(03) 5302-2313

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Real] → [RealPlayer] → [RealPlayer] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Real] → [RealPlayer] → [RealPlayer ヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

商標について

「RealPlayer」は、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。

SonicStage Version 1.1 for VAIO

お気に入りの音楽を本ソフトウェアで扱えるデータ形式に変換してハードディスクに取り込み、VAIOをジュークボックスのように楽しめるソフトウェアです。
ソニーの開発した著作権保護技術「OpenMG」を採用し、お手持ちの音楽CDの再生/録音や、インターネット上の音楽配信サービスの利用、オリジナルCDの作成、対応ポータブルプレーヤーへの書き出しまで、音楽を統合環境で快適に楽しめます。また、NetMDフォーマットと対応機器もサポートしています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社 VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466)30-3000

起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［SonicStage］→［SonicStage］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「SonicStage」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

- 「SonicStage」と「RealJukebox」を同時に起動しないでください。本機や外部機器、“MGメモリースティック”内に収録された音楽ファイルが壊れ、正常に再生できなくなる場合があります。
- CD-ROMドライブPCGA-CD51/Aをお使いの場合、音楽CDを再生すると、音飛びが発生する場合があります。
  そのときは、下記手順をお試しください。
  1 「ツール」メニューから［設定］を選ぶ。
  2 ［CD録音/再生2］タブをクリックして、「CD再生方式」の右にある[設定]をクリックする。
  3 ［MCI］をクリックしてチェックする。
  4 ［OK］をクリックする。

商標について

PrimoSDK for CD
Portial software replication technology by VERITAS Software Corporation.

Windows Media™ Player 8

本機のデフォルトの音楽・動画再生ソフトウェアです。音楽CDを手軽に再生するときなどに便利です。
WMA、MP3、MIDIなど、さまざまな形式の音楽ファイルの再生にも対応しています。
また、インターネットを利用してストリーミング動画配信サービスを楽しむためにも適しています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Windows Media Player] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Windows Media Player」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

CD-ROMドライブPCGA-CD51/Aをお使いの場合、音楽CDを再生すると、音飛びが発生する場合があります。
そのときは、下記手順をお試しください。

1 「ツール」メニューから [オプション] を選ぶ。
2 [デバイス] タブをクリックして、「デバイス」欄にある [お使いのドライブ] をダブルクリックする。
3 「再生」欄の [エラー訂正を使う] チェックボックスをクリックしてチェックする。
4 [OK] をクリックする。

エンターテインメント

MusicShaker Version 1.4

付属の「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲を楽しく再生するための、音楽ファイル再生ソフトウェアです。「SonicStage」に登録した曲以外にも、好みの音楽ファイル（WAVファイル、MP3ファイル）を選んで再生することもできます。曲を連続して再生し、曲が切り替わるときのつなぎ目に効果音をつけたり、曲にエフェクトをかけることができます。また、曲にあわせて映像効果も楽しむことができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［MusicShaker］→［MusicShaker］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［MusicShaker］→［MusicShaker ヘルプ］をクリックするか、「MusicShaker」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

コミュニケーション

Microsoft® Internet Explorer 6

インターネット用のブラウザです。インターネットのさまざまな情報を表示したり、コンピュータに保存されているファイルを見ることができます。指定した時刻の自動巡回やインターネットラジオの接続、検索アシスタントを用いた柔軟な検索などの優れた機能を搭載しています。また本機のデスクトップ環境をインターネット対応にする、電子メールの送受信、ネットニュースの購読、ビデオ会議などの機能が統合されています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

初めて使うときは	[スタート] → [インターネット] をクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	[スタート] → [インターネット] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「ホームページを見る」(105ページ) をご覧になるか、「Microsoft Internet Explorer 6」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

Microsoft® Outlook Express 6

電子メールを送受信するためのメールソフトです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

初めて使うときは	[スタート] → [電子メール] をクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	[スタート] → [電子メール] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「電子メールをやりとりする」(110ページ) をご覧になるか、「Microsoft Outlook Express 6」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

Q-ze Talk（キュゼ・トーク）Version 1.1

最大7人（自分含む）で同時にチャットなどを行いコミュニケーションを楽しむソフトウェアです。ソニー製バイオ用カメラやデジタルビデオカメラレコーダーを用いると動画チャットも行うことができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社 VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466)30-3000

起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［Q-ze Talk］→［Q-ze Talk］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［Q-ze Talk］→［Q-ze Talk ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます

Smart Capture Version 4.2

i.LINK（IEEE1394）コネクタまたはDV端子を持つデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器、またはソニー製バイオ用カメラなどから画像を取り込み、取り込んだ静止画を表示したり動画を再生したりするときに使うソフトウェアです。静止画や動画を電子メールで送信することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	目的に合わせて、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Smart Capture］→［Movie Player］、［Smart Capture］、［Still Viewer］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［Smart Capture］→［Smart Capture ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

URecSight Version 2.1

本機に接続されているデジタルビデオカメラレコーダーやソニー製バイオ用カメラなどを使って動画を撮影し、その映像を「パーキャスTV」サービスを利用して、ネット上にインターネット放送するときに使うソフトウェアです。ライブ映像と編集したファイル映像のスイッチングが可能です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [URecSight] → [URecSight 2-ライブ配信] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [URecSight] → [URecSight 2 オンラインヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

商標について

- 「CastaDrive」、および CastaDrive はソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」、および percasTV はソニー株式会社の商標です。

リファレンスツール

Adobe® Acrobat® Reader 5.0J

PDF（Portable Document Format）形式の書類を画面上で読むためのソフトウェアです。読むだけでなく、書類中の単語を検索したり、書類を印刷したりできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

初めて使うときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［Acrobat Reader 5.0］をクリックすると、「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。
起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［Acrobat Reader 5.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Acrobat Reader 5.0」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

商標について

Adobe、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Adobe® Acrobat® eBook Reader™

高精度な電子ブックを読むことができるソフトウェアです。テキスト検索機能やマーカーと注釈機能、ブックマーク機能などもあります。また、インターネットから電子ブックを購入できます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Acrobat eBook Reader] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	ライブラリにある「Adobe Acrobat eBook Reader はじめに」をご覧ください。

商標について

Adobe、Acrobat eBook ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

MapCutter Version 2.0

Navin' You専用マップをパーソナルエンターテインメントオーガナイザーCLIEで持ち出し活用するための地図切り出しソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [MapCutter 2.0] → [MapCutter 2.0] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [MapCutter 2.0] → [MapCutter Help] をクリックしてヘルプを開きます。

Navin' You Version 5.5

本機で地図を見たり、インターネットから店舗情報を検索したり、地図上で路線の探索などが行えるソフトウェアです。
株式会社ゼンリンの「Navin' You専用マップ」シリーズ、または、株式会社アルプス社の「プロアトラス」シリーズの地図CD-ROMを表示することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Navin' You 5.5] → [Navin'You 5.5] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Navin' You 5.5] → [Navin' You Help] をクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

- お使いになる地図によっては機能の制限があります。
- 別売りのハンディGPSレシーバーをお使いになる場合は、初めて本機に接続する前に、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Navin' You 5.5] → [Handy GPS Utilities 2.1のインストール] をクリックしてインストールを行ってください。

Navin' You専用グルメ&ドライブスポット327 by Walkerplus.com

Navin' You専用グルメ&ドライブスポット327 by Walkerplus.comは株式会社ウォーカープラス・ドット・コムの製品です。
詳しくは「Navin' You」の電子マニュアルをご覧ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社ウォーカープラス・ドット・コム編集制作部

ファックス番号：(03) 3234-4613

電子メール：webmaster@walkerplus.com

Navin' You専用マップ2サンプル版

Navin' You専用マップ2サンプル版は、東京23区／名古屋市／大阪市エリアの機能限定版です。
このサンプル版では機能の制限があります。詳しくは、「Navin' You」の電子マニュアルをご覧ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社ゼンリン　お客様ご相談窓口

電話番号：(03) 5259-5077

受付時間：10時～12時／13時～17時　月～金（祝日は除く）

乗換案内 時刻表対応版

「乗換案内」は日本全国の鉄道、飛行機の最適な経路、運賃、所要時間を簡単操作で検索できる経路検索ソフトです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ジョルダン株式会社 お客様ご相談窓口

電話番号：(03) 5389-1712

受付時間：10時～12時/13時～17時　月～金曜日
（祝日は除く）

起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［乗換案内］→［乗換案内 時刻表対応版］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［乗換案内］→［乗換案内マニュアル（PDF）］をクリックするか、「乗換案内」のヘルプメニューをクリックします。

ユーティリティー

FlyingPointer（フライングポインター）

ネットワークで接続された2台のコンピュータ（VAIO同士、またはVAIOと他社製コンピュータ）の間で、直感的な操作により手軽にファイルコピーを行うソフトウェアです。
デスクトップ画面上のファイルをドラッグし、接続先のコンピュータにポインタを移動して指を離すだけで簡単にファイルをコピーすることができます。複数のコンピュータを使用している方に大変便利なソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［FlyingPointer］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［FlyingPointer］→［FlyingPointerのヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

Jog Dial Navigator

本機のジョグダイヤルを使ってできる操作のガイドを表示します。ジョグダイヤルを使ってさまざまなソフトウェアの画面をスクロールしたり、ジョグダイヤルを押した後、回すことにより使用中のソフトウェアの操作をジョグダイヤルで行うことができます。
また、Ctrlキーを押しながらジョグダイヤルを押すことで、ジョグダイヤルランチャーからソフトウェアを起動することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

操作がわからなくなったときは	「ジョグダイヤルを使う」（67ページ）をご覧ください。

Norton AntiVirus 2002

ノートン・アンチウイルス2002は電子メールやインターネットを通じてやってくるウイルスや悪質なスクリプトからあなたのパソコンを強力に守ります。インターネットを使って常にプログラムやワクチンを更新できるので最新ウイルスへの対策も万全です。

このソフトウェアの操作方法に関するお問い合わせ先：
シマンテックテクニカルサポートセンター

電話番号：(03) 3476-1118

受付時間：平日10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

FAX：(03) 3477-1118

なお、上記サポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

カスタマーID取得に関するお問い合わせ
シマンテック　カスタマーサービスセンター

電話番号：(03) 3476-1156

受付時間：平日10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

FAX：(03) 3476-1159

ご注意

Norton AntiVirusは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。
テクニカルサポート提供期間はウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく180日間となります。
ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

次のページにつづく

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック

電話番号：(03) 3476-1192

FAX：(03) 3780-9988

電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Norton AntiVirus] → [Norton AntiVirus 2002] をクリックして起動します。 **ご注意** 本機の2回目の起動時か、「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
操作がわからなくなったときは	画面右上にある ? をクリックし、[Norton AntiVirus ヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

商標について

Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusはSymantec Corporationの登録商標です。

2001 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

PowerPanel

バッテリの消費電力を調整したり、本機の動作モードを切り替えるためのソフトウェアです。
また、バッテリの残量を確認したり、あらかじめ設定した残量になると警告が表示されるように設定することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

操作がわからなくなったときは	「バッテリの消費電力を節約する」(171ページ) をご覧いただくか、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PowerPanel] → [ヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

商標について

PowerPanelは米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。

Sony Notebook Setup

本機をご使用になる環境や好みに合わせた動作環境をつくるためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Notebook Setup] → [Sony Notebook Setup] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「本機の使用環境を設定する」(164ページ) をご覧いただくか、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Notebook Setup] → [Sony Notebook Setup Online Help] をクリックしてヘルプを開きます。

ThumbPhrase（サムフレーズ）Version 1.0

本機を両手で持った状態でも、携帯電話のようなスタイルで文字入力ができます。
さらに、予測変換機能により変換候補を予測して表示し、表示されたリストから、手軽な操作ですばやく文字を入力することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	本機のThumbPhraseボタンを押して起動します。
操作がわからなくなったときは	「ThumbPhrase」入力画面右上の をクリックしてヘルプを開きます。

VisualFlow Version 2.1

“メモリースティック”に保存されている静止画像、動画、音声ファイルを表示し、選択したファイルを他のソフトウェアで表示／再生することができます。ハードディスクやMOディスクなど、他のメディアでも同じことができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［すべてのプログラム］→［VisualFlow 2.1］→［VisualFlow 2.1］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	画面下にあるツールバーの右端にポインタを移動し、表示されるサブツールバーにある をクリックしてヘルプを開きます。

カスタマーサポートツール

VAIOハードウェア診断ツール

VAIOハードウェア診断ツールは、お使いのVAIOに不具合が発生した際、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障があるかどうかを診断するソフトウェアです。
このソフトウェアは、VAIOの製造工場で使用されているものと同等の高い診断能力を持っています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	デスクトップ画面上の をダブルクリックするか、[スタート] → [すべてのプログラム] → [VAIOハードウェア診断ツール] → [VAIOハードウェア診断ツール] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「VAIOハードウェア診断ツール」画面左上の をクリックするか、[スタート] → [すべてのプログラム] → [VAIOハードウェア診断ツール] → [VAIOハードウェア診断ツール マニュアル] をクリックしてマニュアルを開きます。

その他

UI Design Selector

ソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを好みに合わせて変更するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [コントロール パネル] をクリックし、「関連項目」にある[コントロールパネルのその他のオプション]をクリックし [UI Design Selector] アイコンをクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「ウィンドウのデザインを変更する」(185ページ) をご覧ください。

VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーはバイオをご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサポート・サービスをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。
このソフトウェアを使うと画面の指示に従って必要事項を記入する手順でインターネットを介して登録手続きを行えます。登録情報を更新したい場合もこのソフトウェアで変更できます。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ先：
ソニーマーケティング株式会社
VAIOカスタマー専用デスク

電話番号：(03) 5977-7255

受付時間：月曜～金曜日 10時～18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

起動するときは	デスクトップ画面上の をダブルクリックして登録を行います。手順について詳しくは、「カスタマー登録する」(43ページ) をご覧ください。

VAIO＋AirH"で快適モバイル

128kbpsのデータ通信が使い放題のモバイルツール、DDIポケット（株）のAirH"をご優待価格でご契約いただけます。ご契約はクレジットカードによりオンライン申し込み、送料無料でご自宅までお届けします。

搭載コンテンツの内容についてのお問合せ先：
（株）マスターピース　MCダイレクト事務局

電話番号：(03) 3452-1482

営業時間：平日 10時～18時

電子メール：mcdinfo@m-piece.com

DDIポケットへの新規加入に関するお問い合わせ先：

エリア、サービスに関するお問い合わせ

DDIポケット（株）

電話番号：(0077) 775（無料）

受付時間：平日 9時～18時、土曜日 9時～17時

データ通信に関するお問い合せ

DDIポケット（株）

電話番号：(0077) 7-157（無料）
受付時間：平日、土曜日 9時～17時30分

初めて使うときは　デスクトップ画面上にある をダブルクリックして表示される情報をご覧ください。

オンラインサービスご紹介

デスクトップ画面上の （オンラインサービスご紹介）をダブルクリックすると、下記のオンラインサービスを選ぶことができます。

❑ UPGRADE AREA（アップグレードエリア）
ソニーマーケティング株式会社
お問い合わせ先：ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(03) 5783-1254
電子メール：vaio-upgradecenter@sony.co.jp

❑ ソニースタイル
ソニーマーケティング株式会社
お問い合わせ先：ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(03) 5783-1122
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@jp.sonystyle.com

❑ イメージステーション
❑ パーキャスTV
ソニーマーケティング株式会社
お問い合わせ先：ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：(0466) 30-3012
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@jp.sonystyle.com

イメージステーションのみ、
以下のメールアドレスでのお問い合わせも受け付けております。
info@imagestation.jp

❑ gu mantan WEB
デザインエクスチェンジ株式会社
お問い合わせ先：DEXインフォメーション
電子メール：info@dex.ne.jp

❑ **イープラス**

お問い合わせ先：（株）エンタテインメントプラス

ホームページ：http://eee.eplus.co.jp/

電話番号：（03）5749-9911

商標について

Copyright 2001 Entertainment Plus Inc. All Rights Reserved.

❑ **Norton AntiVirus ウイルス定義ファイル購入**

お問い合わせ先について詳しくは「Norton AntiVirus 2002」（251ページ）をご覧ください。

リカバリ CD-ROM

本機の操作中に誤ってハードディスクを初期化してしまったり、Windowsなどのシステムファイルを消してしまった場合に、ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すためのCD-ROMです。（186ページ）

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：

ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

ご注意

このリカバリ CD-ROMを使って、ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。

その他

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本体に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- バッテリコネクタ部には、クリップなどの金属物を接触させないようご注意ください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ディスプレイ部分を持って、本機を移動させないでください。本機の故障の原因となります。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。

- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。また、閉じた液晶ディスプレイの上に重いものを載せたり、強く押したりしないでください。本機の破損の原因となります。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 電源を入れたまま本機を動かす場合は、衝撃を与えないでください。
- 電源を入れたまま本機を動かす場合は、振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10 ℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

ハードディスクのバックアップをとる

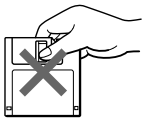
ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

次のページにつづく

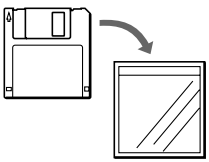
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

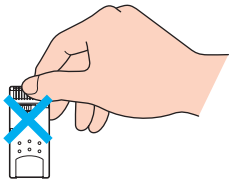


- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。



“メモリースティック”の取り扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。

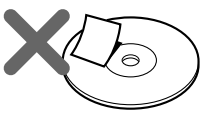


- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

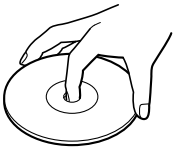
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないようにして持ちます。

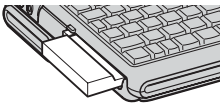


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水で濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

PCカードスロットからはみ出すPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。



次のページにつづく

- PCカードを挿入した状態で、本機を移動する場合は、PCカード部に衝撃や力が加わらないようご注意ください。
  移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機またはPCカードが破損するおそれがあります。
- PCカード部分も持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機またはPCカードが破損するおそれがあります。
- PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機またはPCカードが破損するおそれがあります。
- モバイルグリップスタイル時に、ワイヤレスLAN PCカードなどのアンテナ部を手で覆わないようご注意ください。通信の妨げになります。

ACアダプタについて

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータが失われます。
- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアがインストールされています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
「Norton AntiVirus」の操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

シマンテック テクニカルサポートセンター

電話番号：(03) 3476-1118
ファックス：(03) 3477-1118
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

シマンテック カスタマーサービスセンター

電話番号：(03) 3476-1156
ファックス：(03) 3476-1159
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

「Norton AntiVirus」は、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。
また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、180日間となります。ただし、有償アップデートのお申し込みを頂くとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。
ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html
ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック

電話番号：(03) 3476-1192
ファックス：(03) 3780-9988
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

次のページにつづく

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などを表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

DVDビデオを再生するときのご注意

本機で別売りのDVD-ROMドライブなどを使用してDVDビデオを再生する場合は、ソフトウェアを用いて再生します。
このため、ディスクによっては、操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で、音がとぎれたり、画像がコマ落ちしたりすることがあります。
また、ディスクによっては再生そのものに不具合が出る場合もあります。

お手入れ

本機のお手入れ

- 本機についたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

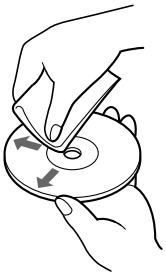
ご注意

- 濡れたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

CD-ROM、DVD-ROM ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

CD-RW、CD-Rディスクのお手入れ

- CD-RW、CD-Rディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを痛めることがありますので、使わないでください。
- CD-RW、CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有償修理とさせていただく場合がございます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではノートブック コンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：IDラベル（24ページ）または保証書に記載されています**
- **製造番号：本体底面または保証書に記載されています**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

Transmeta Crusoe™ プロセッサ
TM5800 867 MHz

キャッシュ（プロセッサに内蔵）
1次：128 Kバイト
2次：512 Kバイト

メインメモリ

256 Mバイト（128 Mバイト オンボード、SDRAM）
（16 Mバイトはシステムで使用）
最大384 Mバイトまで拡張可能

メモリバス
最大133 MHz
（CPUクロック 800 MHz動作時）

メモリスロット

マイクロDIMMスロット（1）
（128 Mバイトメモリが使用）

グラフィックアクセラレータ

デュアルディスプレイ対応
ATI Technologies社製
MOBILITY™ RADEON™-M PCI接続

ビデオメモリ

8 Mバイト（ビデオチップ内蔵）

液晶ディスプレイ

6.4 型、XGA対応、TFTカラー液晶

液晶ディスプレイ表示モード *1

1,024 × 768 ドット（約1,677万色）
800×600 ドット（約1,677万色）
*1 約1,677万色はグラフィックアクセラレータのディザリングにより実現

外部ディスプレイ表示モード *2

1,600 × 1,200 ドット（約1,677万色）
1,280 × 1,024 ドット（約1,677万色）
1,024 × 768 ドット（約1,677万色）
800 × 600 ドット（約1,677万色）
*2 外部ディスプレイによっては、使えない表示モードがあります。

ハードディスクドライブ

約20.0 Gバイト
Ultra ATA100対応
C:ドライブ 約10.0 Gバイト
D:ドライブ 約10.0 Gバイト
（工場出荷時）
（1 Gバイト＝10 億バイトで算出）

ネットワーク

IEEE 802.3 10BASE-T
IEEE 802.3u 100BASE-TX
オートネゴシエーション、全二重　対応

外部接続（本体）

i.LINK（IEEE1394）コネクタ
S400 4ピン（1）　S400＝400 Mbps

バイオ関連製品専用DC OUT（電源供給）コネクタ
専用コネクタ（1）

USBコネクタ
USB 4ピン（2）

マイクコネクタ
モノラル専用ミニジャック（1）
プラグインパワー対応

ヘッドホン出力コネクタ
ステレオミニジャック（1）

MONITORコネクタ
専用コネクタ

ネットワークコネクタ
RJ-45コネクタ（1）

インジケータ

パワーランプ（ ）
バッテリランプ（ ）
ハードディスクアクセスランプ（ ）
メモリースティックアクセスランプ（ ）
Num Lockランプ（ ）
Caps Lockランプ（ ）
Scroll Lockランプ（ ）

PCカードスロット

Type I／II、16 bit／CardBus対応（1）

メモリースティックスロット

マジックゲート対応メモリースティック
スロット（1）

オーディオ機能

ウィンドウズサウンドシステム互換、
AC97準拠、ソフトウェアMIDI音源、
内蔵モノラルスピーカー
モノラルマイク入力（プラグインパワー方式）
メガベース（高低音増幅機能）対応

入力デバイス

ワイドスティック式ポインティング・デバイス、
キーボード、バックボタン付ジョグダイヤル

電源・その他

電源
ACアダプタまたはバッテリ
DC端子入力 DC16.0 V、2.7 A

バッテリ駆動時間 *3
約2.5～4時間
*3 使用状況や設定などにより異なる場合があります。

外形寸法
約184.5 × 30.6 × 139 mm
（幅／高さ（バッテリ装着部は46.1 mm）／
奥行き、突起部含まず）

質量
約 820 g（標準タイプバッテリ装着時）

ACアダプタ *4

電源
AC100～240 V、50/60 Hz
（付属電源コードはAC100 V用）
*4 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。

バッテリ

出力電圧
11.1 V

付属品

「付属品を確かめる」（14ページ）をご覧ください。

別売り品

ACアダプター
PCGA-AC16V4

リチャージャブルバッテリーパック
PCGA-BP1U（標準タイプ）

USBフロッピーディスクドライブ
PCGA-UFD5

CD-RW/DVD-ROMドライブ
PCGA-CRWD1

DVD-ROMドライブ
PCGA-DVD1

CD-ROMドライブ
PCGA-CD51/A

USBマウス
PCGA-UMS1/A

ディスプレイアダプター
PCGA-DA1S

128 MB増設メモリーモジュール
PCGA-MM128T

256 MB増設メモリーモジュール
PCGA-MM256T

キャリングポーチ
PCGA-CPU1

次のページにつづく

動作・保存環境

動作温度
5 °C～35 °C（温度勾配10 °C／時以下）

動作湿度
20 %～80 %（結露のないこと）ただし35 °Cにおける湿度は65 %以下（湿球温度29 °C以下）

保存温度
-20 °C～60 °C（温度勾配10 °C／時以下）

保存湿度
10 %～90 %（結露のないこと）ただし60 °Cにおける湿度は20 %以下（湿球温度35 °C以下）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

アプリケーション リカバリ CD-ROM 186, 191, 193
イープラス 259
イメージステーション 258
インターネット 98, 205
液晶ディスプレイ 25, 65, 207, 262
　設定を変更する 178
　表示するディスプレイを選ぶ 179
液晶プロジェクタ 152
音楽 173
音楽CD 93
オンラインカスタマーご登録 43, 206

カ行

外部ディスプレイ 65, 151, 207
カスタマー登録 43, 206
画面を拡大して表示する 139
キートップ 60, 211
キーボード 25, 60, 210
　ショートカット 64
休止状態 35, 176
クリック 58
　ダブルクリック 59
　右クリック 59
ケーブルモデム 103
結露 262
工場出荷時の設定 170
ごみ箱 29
コンピュータウイルス 266

サ行

再起動する 42
再セットアップ 186
サムフレーズボタン 25, 117
システム リカバリ CD-ROM 186, 189
省電力動作モード 140, 175, 221
ジョグダイヤル 25, 67, 118
　インジケートウィンドウ 68
　ジョグダイヤルウィンドウ 69
　ジョグダイヤルランチャー 70
　設定をする 73
　ソフトウェアを起動する 70
　ソフトウェアを操作する 71
スーパースタミナ 173
ズームインボタン 22, 24, 139
スタートボタン 29
スタミナ 172
スタンバイ 35, 175
　スタンバイボタン 22, 25, 35, 140
　スタンバイモード 140
スピーカー 65, 153, 217
　内蔵スピーカー 25
専用DC OUTコネクタ 27, 92, 188
ソニースタイル 258
ソフトウェア 223
　VAIOオンラインカスタマー登録 43
　ジョグダイヤルで起動する 70
　ジョグダイヤルで操作する 71
　不正コピー禁止について 268
　付属ソフトウェアー覧 227

タ行

タスクバー 29
ダブルクリック 59
通常モード 175
通知領域 30
ディスク
　お手入れ 269
　取り扱いについて 265
ディスプレイ 65, 207, 262
　液晶ディスプレイ 25
　設定を変更する 178
　表示するディスプレイを選ぶ 179
デスクトップ画面 29
デュアルディスプレイ 181
電源 200
　入れる 32
　切る 41
　再起動する 42
電源管理 172
電源コード 14, 33, 56
電子マニュアル 18
ドラッグ 59
ドラッグアンドドロップ 59

ナ行

内蔵スピーカー 25, 65, 217
ネットワーク 133, 142
ノーマル 172
乗換案内 249

次のページにつづく

ハ行
パーキャスTV 258
パーティションサイズを変更する 192
ハードディスク 222
　取り扱いについて 263
　パーティションを区切る 192
　ハードディスクランプ 24
　バックアップをとる 263
ハードディスクランプ 24
バイオ関連製品専用DC OUT（電源供給）
　コネクタ 27, 92, 188
パスワード 167, 220
　削除するには 169
　登録する 167
　変更するには 168
バッテリ 14, 32, 52
　残量を確認する 55
　取りはずしレバー 54
　バッテリコネクタ 28
　バッテリランプ 24, 55
　ロックレバー 33, 53
バッテリランプ 24, 55
パワーボタン 24, 34
パワーマネージメント オフ 173
パワーマネージメント機能 171
パワーランプ 24, 34
左ボタン 25, 58
付属ソフトウェア一覧 227
プリンタ 150, 216
プロセッサ 225
フロッピーディスク 84, 212
　使用できるフロッピーディスク 89
　初期化する 88
　データを誤って消さないようにする 87
　データを保存する 87
　取り扱いについて 264
　フロッピーディスクドライブ 84
プロファイル 172
ヘッドホンコネクタ 26, 152, 153
ポインタ 58
ポインティング・デバイス 58, 209
　クリックする 58
　ダブルクリックする 59
　ドラッグアンドドロップする 59
　ドラッグする 59
　左ボタン 58
　右クリックする 59
　右ボタン 58
　ワイドスティック 58

マ行
マイク 154, 219
マイクコネクタ 26
右ボタン 25, 58
メガベースの設定 165
メモリ
　メモリモジュールを取り付けるには 155
　メモリモジュールを取りはずすには 158
“メモリースティック” 76
　初期化する 83
　スロット 25, 78
　データを書き込み禁止にする 82
　データをやりとりする 148
　取り扱いについて 264
　メモリースティックスロット 25, 78
　メモリースティックランプ 24, 79
メモリを増設する 155
文字入力 224
　ThumbPhrase 116
　予測変換機能 116
モバイルグリップスタイル 20

ヤ行
予備用キャップ 14

ラ行
リカバリ CD 186
リカバリ CD-ROM 259
リセットスイッチ 28, 200, 202
ロックレバー 33, 53

ワ行
ワイドスティック 25, 58
　キャップ 14, 59

アルファベット順

A

AC 172
ACアダプタ 14, 33, 56, 266
Adobe Acrobat Reader 18, 246
Adobe eBook Reader 247
ADSLモデム 102, 136
AirH" 257

B

BACKボタン 25, 67, 118
Beatnik Player 234

C

Caps Lkキー 62
Caps Lockランプ 24, 62, 203
CD-R
　お手入れ 270
　取り扱いについて 265
CD-ROM 213
　お手入れ 269
　取り扱いについて 265
CD-ROMドライブ 90
CD-RW
　お手入れ 270
　取り扱いについて 265
CPU 225

D

DC INコネクタ 27, 33, 56
DC OUTコネクタ 92, 188
DigitalPrint 23, 229
DVD-ROM 213
　お手入れ 269
　取り扱いについて 265
DVgate 23, 230

F

FlyingPointer 21, 133
　コンピュータをネットワークに接続する 134
　ソフトウェアをインストールする 134
　ソフトウェアを終了する 138
　ファイルをコピーする 136
Fnキー 61, 65

G

gu mantan WEB 258

H

HUB 136

I

IDラベル 24, 197, 271
ISDNルータ 103
i.LINK 23, 143, 146, 214
　i.LINKコネクタ 27, 92, 135, 144, 188
　i.LINK対応機器をつなぐ 144
　データをやりとりする 143
i.LINKケーブル 135, 144

J

Jog Dial Navigator 67, 250

L

LAN 22, 136
LCD/Videoスタンバイ 35, 175

M

MapCutter 247
Microsoft Internet Explorer 243
Microsoft Outlook Express 243
MONITORコネクタ 27, 151, 152
MovieShaker 23, 231
MusicShaker 242

N

Navin' You 248
Navin' You専用グルメ＆ドライブスポット 327 by Walkerplus.com 248
Navin' You専用マップ2サンプル版 249
NETWORKコネクタ 27, 102, 136, 142
Norton AntiVirus 251, 267
Num Lkキー 62, 63
Num Lockランプ 24, 62, 63

P

PCカード 92, 160, 189, 216
　イジェクトボタン 162
　スロット 26, 92, 160
　取り扱いについて 265
PCスタイル 20
PicoPlayer 235
PictureGear 232
PictureToy 23, 232
PowerPanel 22, 171, 253

Q

QuickTime 236
Q-ze Talk 244

次のページにつづく

R
RealJukebox 95, 237
RealPlayer 239

S
Scroll Lockランプ 24
Smart Capture 244
SonicStage 22, 93, 95, 240
Sony Notebook Setup 164, 253

T
ThumbPhrase 21, 116
「ThumbPhrase」入力画面 120
記号を入力する 127
使用するキーやボタン 117
ソフトウェアを起動するには 119
ソフトウェアを終了するには 119
通常変換で入力する 130
入力文字モードを切り替える 121
文字入力割当一覧表 131
文字を消去する 127
文字を挿入する 129
文字を入力する 122
ThumbPhraseボタン 25, 117

U
UI Design Selector 256
UPGRADE AREA 258
URecSight 245
USB
USB機器をつなぐ 149
USBコネクタ 27, 149, 150
USBフロッピーディスクドライブ 84

V
VAIO Edit Components 233
VAIO＋AirH"で快適モバイル 257
VAIOオンラインカスタマー登録 256
VAIOカスタマーご登録 43
VAIOハードウェア診断ツール 255
VisualFlow 254

W
Windows 36, 203
Windows Media Player 95, 241
Windowsキー 61, 64

Z
ZOOM INボタン 22, 24, 139, 225

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate MemoryStick”(“マジックゲートメモリースティック”) および MG 、“MemoryStick”(“メモリースティック”)、 、“MagicGate”(“マジックゲート”)、MAGICGATE 、OpenMG、OpenMG はソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ “ ”は商標です。
- Transmeta, the Transmeta logo, Crusoe™ Processor, the Crusoe logo, Code Morphing™ Software, LongRun™ Power Management and combinations thereof are trademarks of Transmeta Corporation in the USA and other countries. Other product names and brands used in this document are for identification purposes only, and are the property of their respective owners.
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、OutlookおよびBookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付の
ソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会　ホームページ：http://www.baj.or.jp

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ
VAIOの最新サポート情報をご案内します。
● http://vcl.vaio.sony.co.jp/

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

Printed in Japan